



PANIGALE



本取扱説明書はモーターサイクルを構成する一部であり、使用期間中はモーターサイクルと併せて保管してください。所有者が変更される場合は、本取扱説明書も併せて新しい所有者に譲渡してください。ドゥカティモーターサイクルの品質と安全性は、デザイン、装備、アクセサリーの開発に伴い絶えず進化しています。本取扱説明書には印刷の時点での最新情報が記載されていますが、Ducati モーターホールディング社は本書内容を予告なしにいつでも変更する権利を有します。そのため、お客様がお持ちのモーターサイクルは本書に記載する参照図と異なる場合があります。本マニュアルの全部または一部を複製、配布することは禁じられています。すべての権利は Ducati モーターホールディング社に帰属しており、理由を明記したうえで(書面による)許可の申請をしなければなりません。車両の修理に関するお問い合わせや、その他のご質問等につきましては、ドゥカティ正規アシスタンスセンターにご連絡ください。

楽しいライディングを!

目次

概要 7 安全性ガイドライン 7 本マニュアルで使用されている警告シンボル 8 用涂 9 ライダーの義務 10 ライダーの教育 11 服装 11 安全のための"ベストプラクティス" 12 燃料の補給 14 最大積載時の運転 15 車両への積載に関する注意 15 危険物 - 警告 車両識別番号 18 エンジン識別番号 19 シリアル番号 20 Superleggera V4 21

インストルメントパネル (ダッシュボー ド) 23 インストルメントパネル 23 取扱説明書内で使用される頭字語および略語 26 技術用語集 26 機能ボタン 29 表示モード (Info Mode) 31 主な機能とサブ機能 37 車両速度表示 39 ギア表示 40 エンジン回転数表示 41 時計 44 エンジンクーラント温度 45 ライディングモード (Riding Mode) 47 パラーメーターとクイックレベル変更メニュ **—** 50 DTC表示 53 DWC 表示 59 DSC表示 65 EBC 表示 69 ABS 表示 74 DES 表示 80 DOS 表示 81 機能メニュー 83 **TOT 85**

TRIP 1 86 CONS. AVG 1 87 SPEED AVG 1 88 TRIP 1 TIME 89 T AIR 90	SETTING MENU - Riding Mode - All Default 127 SETTING MENU - Pin Code 128 SETTING MENU - Lap 133 SETTING MENU - Circuits 138 SETTING MENU - Backlight 143
TRIP FUEL 91 TRIP 2 93 CONS. I. 94 LAP (OFF / ON) 95	SETTING MENU - Date and Clock 144 SETTING MENU - Units 147 SETTING MENU - Service 151 SETTING MENU - Pit Limiter 152
PLAYER (OFF / ON) 96 LAST CALLS 100 SETTING MENU 101 SETTING MENU - Riding Mode 103	SETTING MENU - Tire Calibration 154 SETTING MENU - DRL 159 SETTING MENU - Bluetooth 160 SETTING MENU - DDA 165
SETTING MENU - Riding Mode - DAVC 106 SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DTC 109 SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DWC 111 SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DSC 112	SETTING MENU - Turn indicators 167 SETTING MENU - Info 168 ラップタイム (LAP) 169
SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - Default 113 SETTING MENU - Riding Mode - Engine 114	ピットレーンスピードリミッター 182 インフォテインメント 185 ライトコントロール 190
SETTING MENU - Riding Mode - ABS 115 SETTING MENU - Riding Mode - EBC 116 SETTING MENU - Riding Mode - DQS 117 SETTING MENU - Riding Mode - Info Mode 118 SETTING MENU - Riding Mode - DES 119 SETTING MENU - Riding Mode - Default 126	サイドスタンドの状態の表示 196 メンテナンス表示 (SERVICE) 197 エラー表示 201 注意および警告 202 キー 207 イモビライザーシステム 208

PIN CODE による車両の解除 209

運転時に必要なコマンド 210
コマンド類の配置 210
イグニッションスイッチ/ステアリングロック 211
ハンドルバー左側スイッチ 212
クラッチレバー 217
ハンドルバー右側スイッチ 218
スロットルグリップ 219
フロントブレーキペダル 221
ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルの調整 223

主要構成部品 / 装備 226 車両上の配置 226 燃料フィラープラグ 227 シートの取り外しおよび取り付け 228 サイドスタンド 230 Bluetooth コントロールユニット 232 ステアリングダンパー 234 フロントフォーク調整 235 リアショックアブソーバーの調整 237 サスペンション設定の選択 241

運転の方法 243 慣らし運転の方法 243 走行前の点検事項 246 エンジンの始動 249 車両の発進 251 ブレーキ操作 251 ABS システム 252 車両の停止 253 パーキング 254 燃料の補給 255 付属アクセサリー 257

主な整備作業とメンテナンス 259
フェアリングの取り外し 259
エアフィルターの交換 260
クーラントレベルの点検および補充 261
ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検 262
ブレーキパッドの摩耗点検 264
バッテリーの充電 265
冬季のバッテリー充電およびメンテナンス 272
トランスミッションチェーン張力の点検 274

チェーンの潤滑 276 ハイビーム/ロービーム電球の交換 281 リアターンインジケーター 281 ヘッドライトの光軸調整 282 リアビューミラーの調整 284 チューブレスタイヤ 285 エンジンオイルレベルの点検 290 車両の清掃 292 スパークプラグの清掃と交換 294 長期間の保管 295 重要注意事項 296

性能データ 309 スパークプラグ 309 燃料供給 309 ブレーキ 309 トランスミッション 310 フレーム 311 ホイール 311 タイヤ 311 サスペンション 311 エキゾーストシステム 312 カラーバリエーション 312 エレクトリカルシステム 313

メンテナンスプログラム 297 メンテナンスプログラム:ディーラーでおこなうメン 定期点検メモ 317 テナンス 297 メンテナンスプログラム:お客様がおこなうメンテナ ンス 302

定期点検メモ 317

テクニカル仕様 303 重量 303 サイズ 304 補給 305 エンジン 307 タイミングシステム 308

概要

安全性ガイドライン

この度は Ducati 製品をご購入いただきありがとうございます。お客様をドゥカティストの仲間としてお迎えできることは、私達にとって何よりの喜びです。この新しいバイクを日常的に利用されるだけではなく、ロングツーリングも楽しまれることと思います。Ducati モーターホールディング社は、そのライディン

Ducati モーターホールティンク社は、そのライティン グが常に快適で楽しいものであるよう願っておりま す。

お客様のモーターサイクルは、Ducati モーターホールディング社の絶え間ない研究と開発から得られたものです。定期点検を必ず実施し、純正スペアパーツを使用することで品質を維持することが大切です。

本取扱説明書には簡単なメンテナンス作業の実施方法が記載されています。より重要なメンテナンス作業は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでで覧いただけるワークショップマニュアルに記載されております。

お客様ご自身の安全のため、また製品の安全性、信頼性を保証するために、メンテナンスプログラムのすべての作業を Ducati 正規ディーラーまたはサービスセ

ンターで実施していただくことを強くお薦めしますページ 0 参照。

Ducati の熟練したスタッフが、どのような整備作業にも対応できる専用器具と適切な工具を備え、最適な互換性、円滑な作動、ロングライフを保証する Ducati 純正パーツのみを使用し、最善のサービスを提供いたします。

すべてのDucatiモーターサイクルには保証書が付属しております。車両を競技やそれに類する目的に使用する場合は保証の対象外となります。車両や部品の一部であっても改造または変更した場合、保証は適用されません。メンテナンスが正しく行われなかったり不十分であった場合、また純正ではないスペアパーツやDucatiが承認していないスペアパーツが使用されている場合、車両に損傷を招いたり、期待される性能が得られないばかりでなく、保証が適用されなくなることがあります。

お客様とその他の人の安全を守ることは非常に重要です。お客様が責任を持ってモーターサイクルをご使用 になられますようお願いいたします。

モーターサイクルを初めてご使用になる前に、本取扱 説明書を最初から最後までよくお読みになり、記載さ れているガイドラインに正しく従ってください。正し い使用方法とメンテナンスに関するすべての情報を得 ることができます。車両について不明な点、さらに詳 しくお知りになりたい点がある場合は、ご購入先の正 規ディーラーにお問い合わせください。

本マニュアルで使用されている警告シンボル

お客様または他の人に負わせる可能性のある危険について、以下のような異なる形式で記載されています。

- モーターサイクルの安全性に関するラベル
- 注意シンボル、および警告または重要シンボルの うちの一つで表わされる安全性に関するメッセー ジ

警告

■ これらの注意事項が守られない場合、ライダー や他の人に重大なけがや死亡事故を招くおそれがあり ます。

▲ 重要

▲・● 車両や車両構成部品に損傷を与える可能性があります。

の参

作業上の追加注意事項。

文中の「右」、「左」の表記は、車両の進行方向に向かっての左右を意味します。

用途

本モーターサイクルはアスファルト舗装、または平らで整備された路面状態の道路においてのみ使用してください。未舗装道路やオフロードでは本モーターサイクルを使用することはできません。

个警告

▲ 本車両はモノポスト (一人乗り) のホモロゲーションモデルです。

警告

オフロード走行に使用すると車両のコントロールを失い、車両の損傷、身体の傷害または死亡事故にいたるおそれがあります。

入警告

本モーターサイクルでのトレーラーのけん引やサイドカーの取り付けは行わないでください。車両のコントロールを失い、事故を招くおそれがあります。

入警告

車両総重量が絶対に 320 kg / 705.48 lb を超えないようにしてください。

▲ 重要

■ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

ライダーの義務

運転者は運転免許証を受けていなければなりません。

▲ 無免許運転は違法です。こうした行為は法律で 罰せられます。モーターサイクルを運転する前に、運 転免許証を携帯していることを必ず確認してくださ い。経験の浅い運転者や運転免許証を有しない人に運 転をさせないようにしてください。

アルコールまたは薬物の影響を受けている状態で運転しないでください。

入 警告

▼ アルコールや薬物の影響が残っている状態で運転するのは違法です。こうした行為は法律で罰せられます。

医師から副作用についての説明を受けずに、運転前に 薬を服用しないようにしてください。

A 警告

本記 薬によっては眠気やその他の症状を引き起こすことがあります。運転者が思うようにモーターサイクルを操縦できず、制御不能に陥り事故を招くおそれがあります。

一部の国では保険への加入が義務付けられています。

蒼 警告

型・ 現地の法律をご確認ください。保険に加入し、 保険証明書はモーターサイクルの他の書類と一緒に大 切に保管してください。

運転者および同乗者の安全を守るため、一部の国では 基準適合ヘルメットの着用が法律で義務付けられてい ます。

入警告

▼≛ 現地の法律をご確認ください。ヘルメットを着用せずに運転すると罰則が科せられることがあります。

人警告

事故が起こったときヘルメットを着用していないと、重大な傷害を受ける危険性が高くなり、最悪の場合死に至ることがあります。

警告

▲ ヘルメットが安全規格に適合していること、十分な視野が取れていること、頭に合ったサイズであること、で使用になる国の基準適合マークが貼付されてることを確認してください。道路交通法は各国で異なります。モーターサイクルを運転する前に現地の法律を確認し、必ずそれに従ってください。

ライダーの教育

多くの事故は経験不足のために起こります。運転、操作、ブレーキは他の車両とは違う方法で行わなければなりません。

警告

■■ ライダーの経験不足や車両の不適切な使用は、 コントロールを失い、死亡事故や重大な損傷の原因に なるおそれがあります。

服装

モーターサイクルを運転する際に着用する装備は安全を確保する上で大変重要な役割を果たします。モーターサイクルは自動車のように乗員を衝撃から守ることはできません。

適切な装備とは、ヘルメット、目を保護するもの、グローブ、ブーツ、長袖ジャケット、ロングパンツからなります。

- ヘルメットはページ 10 に記載されている要件を満たしていなければなりません。シールドが付いていないモデルの場合は、適切なゴーグルを着用してください。
- グローブは革製もしくは摩擦に強い素材を用いた もので、5本指のものを着用してください。

- 運転する際のブーツやシューズは、アンチスリップソールとアンクルプロテクターを装備しているものを着用してください。
- ジェケットとパンツ、もしくはプロテクトス一ツ については、革製のものか摩擦に強い素材を用い たもので、視認性を高めるカラーインサートが付 いているものを着用してください。

人重要

■ 車両の部品に巻き込まれるおそれがあるような、 ゆったりとした衣類やアクセサリーの着用は避けてく ださい。

/ 重要

▲ 安全のために夏冬季節に関係なく適切な装備を 着用してください。

安全のための"ベストプラクティス"

モーターサイクルの使用前後および使用中には、人の安全を確保し、モーターサイクルを最善の状態に維持するために大切な、簡単にできる作業は必ず実行してください。

▲ 重要

▲ 慣らし運転期間中は、本冊子の "使用規定" の章 に記載されている指示に従ってください。

この条件が遵守されなかった結果としてのエンジンの 損傷や寿命の短縮については、Ducatiモーターホール ディング社はいかなる責任も負うものではありませ ん。

▲ 警告

■ ≛ 基 連転する上で必要なコマンド類について十分な知識がない状態で運転を行わないでください。

エンジンを始動する前に、本冊子が定める点検を必ず 実施してください (ページ 251 を参照)。

▲ 警告

本記 これらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーに重大な傷害を招くおそれがあります。

▲ 警告

エンジンの始動は必ず換気の良い適切な場所で行ってください。閉めきった場所では絶対にエンジンを始動しないでください。

排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さら には死に至る危険性があります。

走行中は適切な姿勢を保ってください。

重要

▲ ライダーはハンドルから絶対に手を離さないでください。

人 重要

型ま行中、ライダーは必ず足をペダルに乗せてください。

人重要

▲ 私有地や駐車場からの出口、または高速道路の 入口などでの交差点では十分に注意してください。

▲ 重要

■ 相手から良く見えるように心がけ、前方車両の 死角に入って走行することは避けてください。

▲ 重要

▲ 重要

■■ モーターサイクルはサイドスタンドを使用して、他の邪魔にならないように駐車してください。路面の悪い場所や柔らかい場所には駐車しないでください。モーターサイクルが転倒する危険があります。

▲ 重要

▼ タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドに入り込んだ石や異物は取り除いてください。

人警告

エンジン停止後でもエンジン、エキゾーストパイプ、サイレンサーは高温な状態が続きます。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

入警告

₹ モーターサイクルの傍から離れる際は、必ずイグニッションキーを抜き取り、他人が勝手に使用できない場所にキーを保管してください。

燃料の補給

燃料の補給は屋外で、エンジンが停止している状態で 行います。

給油中は絶対に喫煙せず、火気を近付けないでください。

エンジンおよびエキゾーストパイプに燃料がかからないように注意してください。

給油の際は燃料タンクを完全に満タンにしないでください。燃料レベルは燃料タンクの給油口より低くなければなりません。

給油中は燃料の蒸気をできるだけ吸いこまないように し、目、皮膚、服に触れないようにしてください。

入 警告

10% この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

蒼 警告

燃料の蒸気を長時間吸い込み気分が悪くなった場合には、屋外にとどまり、医師に相談してください。目に入った場合は大量の水で洗い流し、皮膚に触れた場合は速やかに水と石鹸で洗ってください。

A 警告

最大積載時の運転

このバイクは最大積載時でも長距離を安全に走行できるように設計されています。

車両の重量配分は、安全基準を維持するため、また悪 路走行や急な進路変更時のトラブルを避けるためにと ても重要です。

人警告

■ 最大許容重量を超えないようにしてください。 また以下に記載されている車両への積載に関する注意 事項をよくお読みください。

車両への積載に関する注意

▲ 重要

人重要

■ 車両が不安定になりますので、ステアリングへ ッドやフロントマッドガード部に体積や重量のかさむ ものを固定しないでください。

▲ 重要

■ バッグなどの荷物は車体にしっかり固定してください。確実に固定されていないと、運転が不安定になる危険があります。

▲重要

車両の可動部分の妨げになるおそれがあります ので、フレームのすき間に絶対に物を挟まないでくだ さい。

入警告

● タイヤの空気圧が適正であり、コンディションが良好であることを確認してください。

"チューブレスタイヤ"の段落を参照してください。

危険物 - 警告

使用済みエンジンオイル

人警告

使用済みエンジンオイルが長期間わたり繰り返し表皮に触れると、上皮がんの原因になる場合があります。日常的に使用済みエンジンオイルを使用する場合、作業後すぐに水と石鹸で手を十分に洗ってください。お子様の手の届かないところに保管してください。

ブレーキダスト

ブレーキシステムの清掃に圧縮空気を噴射したり、乾いたブラシは絶対に使用しないでください。

ブレーキフルード

▲ 警告

■ 車両のプラスチック、ゴム製部品、塗装された 部品にブレーキフルードがかかると、部品が破損する 原因になる場合があります。作業をおこなう場合は、 毎回システムのメンテナンスを実施する前にきれいな 布をこれらの部品の上にかけてください。お子様の手 の届かないところに保管してください。

警告

ブレーキフルードは腐食性があります。万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でしっかりと洗い流してください。

クーラント

エンジンクーラントに含まれるエチレングリコールは 特定の条件下において可燃性があり、その炎は肉眼で は見えません。エチレングリコールが発火した場合、 その炎が肉眼では見えないため重大な火傷につながる おそれがあります。

警告

エンジンクーラントがエキゾーストシステムやエンジン部品にかからないようにしてください。

これらの部品はクーラントが発火するのに十分な熱を持っている場合があります。そのため、見えない炎で火傷を負うおそれがあります。クーラント(エチレングリコール)は皮膚刺激を起こすことがあります。また飲み込むと有害です。お子様の手の届かないところに保管してください。エンジンが熱いときは、ラジエーターキャップを外さないでください。クーラントは加圧された状態にあり、火傷を引き起こす原因となることがあります。

クーリングファンは自動的に起動しますので、手や衣 類を近づけないでください。

バッテリー

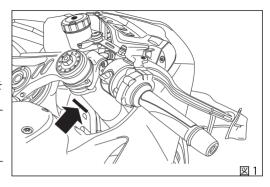
▲ 警告 バッテリーは爆発性のガスを放出します。火花 や炎、タバコを近づけないでください。バッテリーを 充電する際は、作業エリアが適切に換気されているこ と、気温が 40°C (104°F) を下回っていることを確 認してください。バッテリーは開けないでください。 本バッテリーには酸性液やその他の液体を充填する必 要はありません。

車両識別番号

参考 これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。

以下の欄に自身のモーターサイクルのフレーム番号を 控えておくことをお勧めします。

フレーム N.



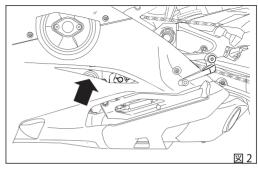
エンジン識別番号

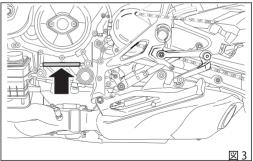
参考 これらの番号は車両モデルを識別するもので、 部品を注文する際にも必要です。

エンジン識別番号は車体フロント側、スターターモー ターとジェネレーターカバー付近のホリゾンタルシリ ンダー下側に記載されています。

以下の欄に自身のモーターサイクルのエンジン番号を 控えておくことをお勧めします。

エンジン N.



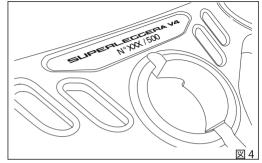


シリアル番号

本モデルはその特殊性から、限定数のみの生産となっ ております。

各モーターサイクルはステアリングヘッドとキーに印 されているシリアル番号とモデル名で識別されていま

参考 ステアリングヘッドとキーに印されているシリ アル番号は、フレーム識別番号の下3桁と一致します。

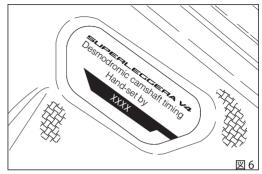


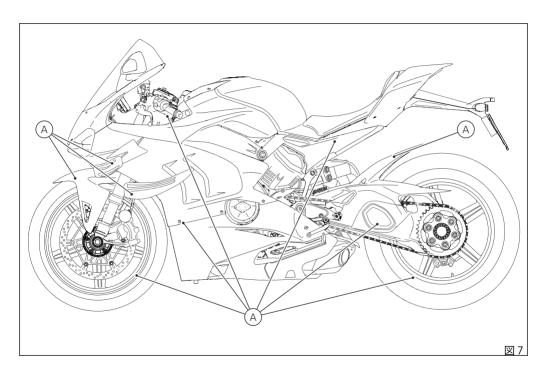


左ヘッドカバーには、モデル名と本車両を担当したメカニックの署名が印されたプレートが貼付されています。

Superleggera V4

お客様の Ducati Superleggera V4 は、カーボンファイバー製のフレーム、スイングアーム、サブフレーム、フェアリング、マッドガード、バイプレインウィング、ホイール (A) を標準搭載しています。通常使用される素材に比べて極めて優れた機械的特性を有する素材であるカーボンファイバーが、より軽量なバイクの実現に貢献しています。





インストルメントパネル (ダッシュボード)

インストルメントパネル

- 1) ディスプレイ
- 2) ニュートラルランプ (緑)
- 3) 一般的エラー警告灯 (琥珀色)
- 4) ハイビーム表示灯(青)
- 5) リザーブ燃料警告灯 (琥珀色)
- 6) ターンインジケーター表示灯(緑)
- 7) エンジンオイル圧警告灯(赤)

/ 重要

エンジンオイルランプが点灯し続ける場合は、 エンジンが破損するおそれがありますので車両を使用 しないでください。

- 8) DAVC ステータスランプ (琥珀色)
- ランプ OFF: DTC/DWC/DSC 機能作動中
- ランプ ON 点滅:DTC / DWC / DSC は起動しているが、性能が制限されている

ランプON:コントロールユニット不具合のため、 DTC/DWC/DSCは解除されているか作動していない

9) エンジン診断 - MIL ランプ (琥珀色) エンジンに関連するエラーがあると点灯しますが、場合によってはエンジン停止につながることもあります。

- 10) ABS ランプ (琥珀色)
- ランプ OFF: ABS 機能作動中
- ランプON点滅: ABS は自己診断中あるいは起動 しているが、性能が制限されている
- ランプ ON:ABS コントロールユニット不具合の ため、ABS が解除されているか作動していない

11) DRL ランプ(緑) (中国、カナダ、日本バージョンには装備されません)

- 12) DTC/DWC 介入 (琥珀色)
- ランプ消灯:DTC 介入なし
- ランプ点灯:DTC 介入
- 13) OVER REV / イモビライザー停止 (赤)

オーバーレブ:

- ランプ消灯:リミッターの介入なし
- ランプ点灯:リミッター介入

イモビライザー:

- 以上 Kev-OFF 状態
- ランプ点滅:車両 Key-OFF 状態

14) DES ランプ (琥珀色)

- ランプ消灯: DES システムが作動
- ランプ点滅:DES システムが機能制限モードにあ るか、初期化中の状態
- ランプ点灯: DES システムの不具合発生

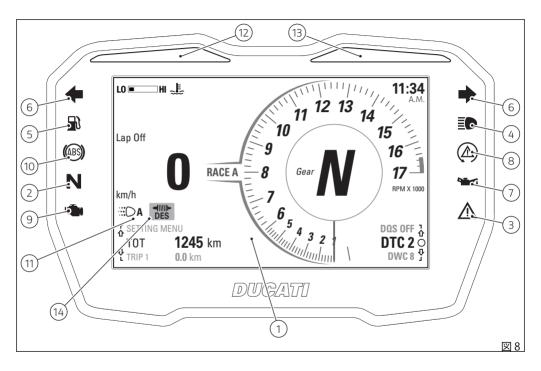
⚠ ディスプレイに "TRANSPORT MODE" の文字が表 示されている場合は、直ちにドゥカティ正規ディーラ ーにご連絡ください。正規ディーラーにてこの項目を 削除し、バイクの完全な機能の保証を受けてくださ (,)

起動時、インストルメントパネルに DUCATI のロゴと 読み込まれたパフォーマンスマップ (なし、RACING、 RACING EVO、RACING PRO) が表示され、LED ランプ のチェックを順番に実行します。

点検終了時、インストルメントパネルには Key-OFF 前 に使用していたモード (Info Mode Track、Info Mode Road、Info Mode RaceGP) のメイン画面が表示されま す。

点検中に車両速度が 5 km/h (3 mph) を超えると、イ ンストルメントパネルは以下の点検を中断します。

- ランプ消灯:車両 Key-ON 状態、または 24 時間 ディスプレイの点検。更新情報をスタンダードス クリーンに表示します。
 - 警告灯の点検。その時点で実際に起動しているも ののみ点灯します。



取扱説明書内で使用される頭字語および略

語

ABS

アンチロックブレーキシステム

BBS

ブラックボックスシステム

CAN

コントローラーエリアネットワーク

DDA+

ドゥカティデータアナライザープラス

DES

ドゥカティエレクトロニックサスペンション

DPL

ドゥカティパワーローンチ

DQS

ドゥカティクイックシフト

DRL

デイタイムランニングライト

DSB

インストルメントパネル

DSC

ドゥカティスライドコントロール

DTC

ドゥカティトラクションコントロール

DWC

ドゥカティウィリーコントロール

EBC

ドゥカティエンジンブレーキコントロール

ECU

エンジンコントロールユニット

GPS

グローバルポジショニングシステム

IMU

慣性計測ユニット

技術用語集

アンチロックブレーキシステム (ABS)

Panigale Superleggera V4が搭載する ABS は、設定レベルに応じた異なるストラテジーを適用して車輪がロックするのを防止するセーフティシステムです。ストラテジーのアクティブプレゼンスと介入レベルは選択レベルに準じます。ABS には3通りの介入レベルが用意されており、それぞれライディングモードと連動しています。

さらに、Panigale Superleggera V4が搭載する ABS は「コーナリング」機能を備えており、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。コーナリング機能は全 ABS レベルで作動します。Panigale Superleggera V4の ABS 設定レベルに応じて、リアホイールのリフトアップ制御を有効にでき、

制動距離を短くするだけでなく、制動時の高い安定性を確保します。

ドゥカティデータアナライザー (DDA+)

DDA+はドゥカティデータアナライザーの最新モデルで、GPS 信号を読み取り "バーチャルフィニッシュライン"を作成します。システムはライダーの操作なしに自動的にラップの終了を検知し、ストップウォッチ測定を中断します。GPS 信号を使用することでサーキットのマップ上に走行軌跡だけでなく、スロットル開度、スピード、エンジン回転数、ギア、エンジン温度、DTC介入といった車両の主要パラメーターを表示することができます。

ドゥカティパワーローンチ (DPL)

ドゥカティパワーローンチ (DPL) システムは、車両の 出力を制御することを目的として、停止状態からの急 発進時にライダーの微妙な操縦を可能にしてくれま す。

DPLシステムは3つの介入レベルを基に機能します。 各レベルでスタート時のアシストに対して異なる値が 設定されています。

ドゥカティクイックシフト (DQS)

UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッチを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可能です。レバーの作動機構内に統合された双方向マイ

クロスイッチからな成り、このマイクロスイッチがエンジンコントロールユニットにシフト操作に対応する 信号を送信します。システムはシフトアップとシフトダウンで動作が異なります。シフトアップシステムでは点火進角と燃料噴射に作用し、シフトダウン時にはスロットルバルブオープニングを制御します。

ドゥカティスライドコントロール (DSC)

ドゥカティスライドコントロール (DSC)システムは、リアタイヤのドリフトや横滑りを制御しやすくすることを目的とし、カーブ立ち上がりの加速時にライダーを支援します。タイヤの進行方向でのスリップを制御するDTC機能の介入と併せて、このシステムが極限状態の走行コンディションにおいてより完成度の高い支援を実現します。

ドゥカティトラクションコントロール (DTC) ドゥカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8つのレベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対して異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー用サーキット走行向けのレベル1は許容値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。

ドゥカティウィリーコントロール (DWC) ドゥカティウィリーコントロール (DWC) はウィリー制御を行い、8つの介入レベルを基に機能します。各レベルでウィリーの制御に対して異なる値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8ではウィリーの発生を防止し、ウィリーが発生するとそれを制御するために最大限の介入を行います。熟練ライダー専用のレベル1ではウィリー防止を最小限にとどめ、ウィリーが発生した場合の制御も最小限に抑えられます。

エンジンブレーキコントロール (EBC) エンジンブレーキ調整システム (EBC) はアンチホッピ ングクラッチと連動して機能し、急激なシフトダウン の際のリアホイールのブロックを防止します。 3 レベルのオペレーションシステムを装備し、EBC は3 つのライディングモードに組み込まれています。

ピットレーンスピードリミッター ピットリミッターが作動すると、ピットレーン走行中 の車両速度を自動的に制限します。制限速度は、専用 メニューから最低 40 km/h (25 mph) から最高 80 km/ h (50 mph) の範囲で変更することができます。

ライドバイワイヤ (RbW)

ライドバイワイヤシステムはスロットル開閉をコントロールする電子制御装置です。スロットルグリップとスロットルボディが機械的に接続されておらず、エンジンコントロールユニットがスロットルの開度をコントロールし、出力を調整します。

ライドバイワイヤにより、選択したライディングモードに合わせて出力とパワーデリバリーを変更することが可能になります。また、エンジンブレーキ (EBC) のタイムリーな管理が可能になるため、リアホイールのスリップ制御 (DTC) に貢献します。

Riding Mode

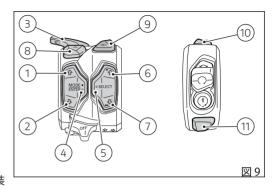
Panigale Superleggera V4 ではライダーは3 つの初期 設定 (ライディングモード) からライディングのスタイルや道路状況に最も適したモードを選択することができます。さらに、カスタマイズ可能な5 つのライディングモードも利用できます。ライディングモードで、スロットルボディの挙動 (HIGH、MEDIUM、LOW) を変更するエンジン出力、ABS、DTC、DQS、EBC、DWC、DSC、DESの各介入レベル、インストルメントパネルの表示を瞬時に変更することができます。ライダーはそれぞれのライディングモードの初期設定を自由に変更することができます。

機能ボタン

- 1) コントロールボタン UP
- 2) コントロールボタン DOWN
- 3) フラッシャーランプ / LAP ボタン
- 4) ENTER / ライディングモード変更ボタン
- 5) クイックセレクトボタン
- 6) クイックセレクトボタン UP
- 7) クイックセレクトボタン DOWN
- 8) ハザードボタン
- 9) DRL ボタン (中国、カナダ、日本バージョンには装備されません)
- 10) ピットリミッターボタン
- 11) DPL (ドゥカティパワーローンチ) ボタン

UP ボタン (1)、DOWN ボタン (2)、ENTER ボタン (4) は、インストルメントパネルのブラウジング、機能の操作、メニュー操作に使用します。

本書内では、UPボタン(1)およびDOWNボタン(2)を「ブラウズボタン」と呼びます。



警告 走行中にクイックセレクトボタン (6) または (7) ボタンを操作すると、トラクションコントロール (DTC)、ドゥカティウィリーコントロール (DWC)、エ ンジンブレーキコントロール (EBC) などボタンに連動 する機能の介入値が直ちに変更されるため、危険な状 況を招くおそれがあります。ボタン操作はスロットル コマンドの位置とは関係なく行うことができます。そ のため危険な状況を招かないよう、操作は恒重に行っ てください。一般道の走行中は、絶対に UP ボタンや DOWN ボタンを操作しないでください。お客様や第 三者が行った運転補助機能の手動による解除や設定に 起因するいかなる損害についても、ドゥカティ社は一 切の責任を負いません。

表示モード (Info Mode)

メイン画面には次の3種類の表示モード (Info Mode) があります。Track、Road、RaceGP (アクセサリー)。"SETTING MENU"内の"Info Mode"機能から、使用中のライディングモードの表示モードを設定できます ("SETTING MENU - Riding Mode - Info Mode"の章をご覧ください)。

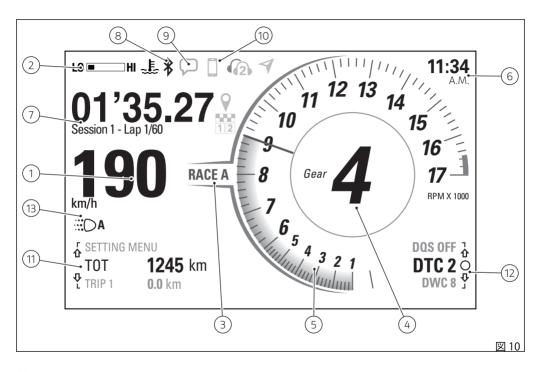
また、"SETTING MENU"内の"Backlight"機能から、メイン画面の背景色を"Day" モードまたは "Night" モードのいずれかに設定することができます ("SETTING MENU - Backlight" の章をご覧ください)。

Info Mode Track

Track 表示モードはライディングモード Riding Mode Race A、Race B と、ライディングモード Custom 1-5 のデフォルトに設定されています。 この表示モードでは以下の情報が表示されます。

- 1) 車両スピード
- 2) エンジンクーラント温度
- 3) 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 4) ギア表示
- 5) タコメーター
- 6) 時計
- 7) ラップタイム (Lap) (起動時のみ)
- 8) Bluetooth 表示 (搭載している場合)

- 9) 不在着信、または SMS / MMS / E メール受信表示 (Bluetooth が搭載されており、スマートフォン が接続されている場合のみ)
- 10) 接続デバイス表示(Bluetoothが搭載されており、 デバイスが接続されている場合のみ)
- 11) 機能メニュー
- 12) パラーメーターとレベル変更メニュー
- DRLステータス (中国、カナダ、日本バージョン には DRL は装備されません)
- 14) DDA 機能ステータス (DDA 装置が車両に接続されている場合のみ)

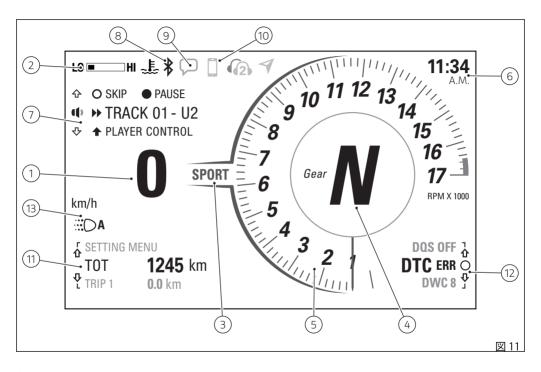


Info Mode Road

Road 表示モードは、ライディングモード Sport のデフォルトに設定されています。

この表示モードでは以下の情報が表示されます。

- 1) 車両スピード
- 2) エンジンクーラント温度
- 3) 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 4) ギア表示
- 5) タコメーター
- 6) 時計
- インフォテインメント プレーヤー (音量 / 曲 選択/曲操作) (Bluetooth が搭載されており、ス マートフォンが接続されプレーヤーが起動して いる場合のみ)
- 8) Bluetooth 表示 (搭載している場合)
- 不在着信、またはSMS/MMS/Eメール受信表示 (Bluetooth が搭載されており、スマートフォン が接続されている場合のみ)
- 10) 接続デバイス表示(Bluetoothが搭載されており、 デバイスが接続されている場合のみ)
- 11) 機能メニュー
- 12) パラーメーターとレベル変更メニュー
- 13) DRL ステータス (中国、カナダ、日本バージョン には DRL は装備されません)。



Info Mode RaceGP – アクセサリー

車両に Akrapovic チタン製レーシングエキゾーストを 搭載している場合は、インストルメントパネルに Info Mode RaceGP が起動します。

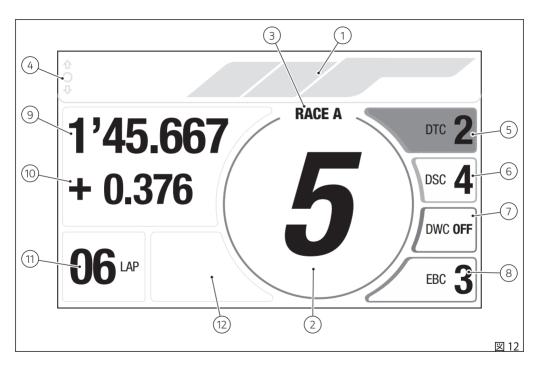
この表示モードでは以下の情報が表示されます。

- 1) タコメーター
- 2) ギア表示
- 3) 設定ライディングモード (Riding Mode)
- 4) 機能メニュー (スピード、TOT、TRIP FUEL、 SETTING MENU)
- 5) DTC
- 6) DSC

- 7) DWC
- 8) EBC
- 9) ラップタイム (Lap)
- 10) ラップタイム セッションの最終ラップとベス トラップとの差
- 11) セッションのラップ番号
- 12) Service 表示 (Annual、OIL、DESMO service)

人警告

Akrapovic チタン製レーシングエキゾーストキットを搭載する車両は、クローズドサーキット走行専用になりますので、公道を走行することはできません。



主な機能とサブ機能

スタンダードスクリーンに表示される機能

メイン機能

- 車両スピード
- エンジン回転数表示
- ギア表示
- 設定ライディングモード (Riding Mode)
- エンジンクーラント温度
- 時計
- パラーメーターとクイックレベル変更メニュー: DTC、DWC、DSC、EBC、ABS、DES、DQS。
- 機能メニュー:

TOT - オドメーター

TRIP 1 - トリップメーター 1

CONS. AVG 1 - 平均燃費

SPEED AVG 1 - 平均スピード

TRIP 1 TIME - トリップタイム

TAIR - 外気温

TRIP FUEL - 燃料リザーブトリップメーター

TRIP 2 - トリップメーター 2

CONS.I.-瞬間燃費

PLAYER (OFF / ON) - 音楽プレーヤー操作 -

Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、スマートフォンが接続されている場合の

み (Info Mode Road でのみ表示)

LAST CALLS - Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、スマートフォンが接続されている場合のみ (Info Mode Road でのみ表示) LAP (OFF/ON) - ラップタイム (Info Mode Track でのみ表示)

SETTING MENU — 設定メニュー

設定メニューのうち以下の機能はユーザーによる変更 が可能です。

- · ライディングモード (Riding Mode)
 - DAVC 設定 (DAVC)
 - DAVC 設定 DTC (DTC)
 - DAVC 設定 DWC (DWC)
 - DAVC 設定 DSC (DSC)
 - DAVC 設定 初期値の回復 (Default)
 - エンジン設定 (Engine)
 - ABS 設定 (ABS)
 - EBC 設定 (EBC)
 - DQS 設定 (DQS)
 - 表示モード設定 (Info Mode)
 - DES 設定 (DES)
 - 各ライディングモードの初期値回復 (Default)
 - 初期値の回復 (All Default)
- PIN コードの登録/変更 (Pin Code)
- ラップタイム (Lap)
 - 記録サーキットの管理 (Circuits)

- バックライトの調整 (Backlight)
- 日時の設定 (Date and Clock)
- 単位の設定 (Units)
- サービス情報 (Service)
- スピードリミッターの設定(リミッター)
- タイヤおよび減速比のキャリブレーション (Tire Calibration)
- DRLモード設定 (DRL)
- Bluetooth デバイス設定 アクセサリー (Bluetooth)
- DDA データ管理 (DDA)
- ターンインジケーターのモード設定 (Turn indicators)
- 情報 (Info)

サブ機能

- ラップライム表示 (Lap basic、Lap Evo)
- ローンチコントロール (DPL)
- インフォテインメント
- Pit Limiter
- DRL 自動モード表示
- メンテナンス表示 (SERVICE)
- 注意 / 警告表示
- サイドスタンドの状態
- エラー表示

車両速度表示

速度は 5% 増加した速度値と設定単位(km/h または mph) で表示されます。

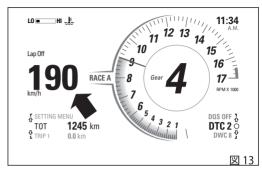
単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。

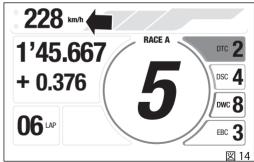
以下の場合には3本の点線"---"と単位が表示されます。

- 走行速度 299 km/h (186 mph) 以上
- スピードセンサーに異常がある場合 ("---" 点滅)

Info Mode RaceGP (アクセサリー、図14) のスピード表示(図14)

Info Mode RaceGP が起動している場合にスピードを表示するには、UP ボタンと DOWN ボタンを使用して、機能メニューの項目をスクロールして選択する必要があります。





ギア表示

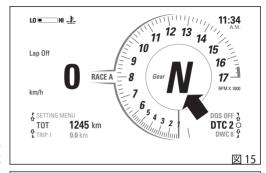
ギア表示 (1-6) は、Info Mode Track、Road のタコメーター中央 (図 15)、Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 16) の画面中央に表示されます。ニュートラルの時は "N" の文字が表示され、ニュートラルランプが点灯します。

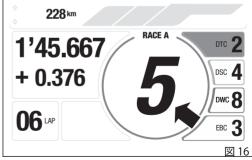
ギアセンサーエラーの場合は点線 "-" が表示され、ニュートラルランプが点滅します。

②参考

★線"-"が点灯し、ニュートラルランプが消えている場合は、ギアが機械的に安定した位置にない可能性があります。その場合は、ギアが正しく表示されるまで、ギアを操作してください。

の参考





エンジン回転数表示

タコメーターの目盛りは、Info Mode Track では (A) モードで表示され、Info Mode Road では (B) モードで表示されます。Info Mode の設定については、"SETTING MENU - Riding Mode - Info Mode" の章をご覧ください。

エンジン回転数は軌跡が色付きのタコメーターで表示されます (C)。 DAY モードではグレー、NIGHT モードではホワイトで表示されます。

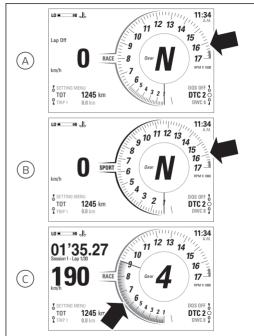
エンジン回転数表示の軌跡が琥珀色に変わると、シフトアップするタイミングであることを示します。 リミッターが作動すると、オーバーレブランプ15が 点灯し、軌跡が赤色に点滅します。

回転数が 1,000 rpm を下回っている場合は、軌跡は表示されません。

オドメーターが最初の1,000 km (620 mi) に達するまで (慣らし運転期間中)、もしくは初回定期点検までは、エンジン回転数の仮想リミッターが設定されています。

慣らし運転期間終了後、または初回定期点検の実施 後、仮想リミッターはエンジンが十分温まっていない 状態でエンジン回転数を抑える指示として表示されま す。

仮想リミッターはエンジン温度に応じて変化します。



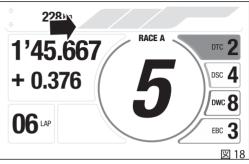
初回定期点検実施後の温度の限界値には次の2通りがあります。

- エンジン温度が 50°C (122°F) を下回っている 場合、回転数の限界値は 8,000 rpm です。
- エンジン温度が50°C(122°F)~60°C(140°F)の場合、回転数の限界値は9,000 rpmです。
- エンジン温度が 60°C (140°F) を上回っている 場合、回転数の限界値は 10,000 rpm です。



Info Mode RaceGP のエンジン回転数表示 (アクセサリー)

Info Mode RaceGP が起動している場合は、画面上側に表示されているバーでリミッター限界値に近づいていることを示します。リミッター限界値は、選択するギアに基づいて設定されています。

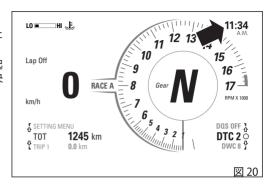




時計

時刻は「HH:MM (H:H:MM)」形式と、その後に"HM" または "HM" で表示されます。

電源供給が中断された場合 (Battery Off) は、次回の起動時に4本の点線"--:--"が点灯します。また、中央のコロンが点滅し、"AM"の文字が表示されます。 SETTING MENU から時計を設定してください。



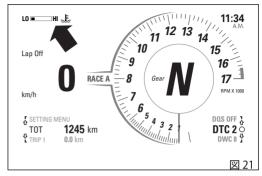
エンジンクーラント温度

インストルメントパネルはエンジン温度の情報を受信し、ディスプレイにデータを5つの目盛りと"LO"、"HI" マークで表示します。

エンジン温度の表示範囲は $+40^{\circ}$ C $\sim +215^{\circ}$ C $(+104^{\circ}$ F $\sim +419^{\circ}$ F) です。

エンジン温度が +166°C (+331°F)~ +200°C (392°F) の場合は、目盛の代わりに "HIGH" の文字が赤色に点滅します。

エンジン温度が $+201^\circ$ C ($+394^\circ$ F) \sim $+215^\circ$ C (419° F) の場合は、白色バーが目盛なしで点滅します。



Info Mode RaceGP (アクセサリー) が起動している場合は、高温アラームだけが表示されます。最初の5秒間は大きく表示され(図22)、その後小さく表示されます(図23)。

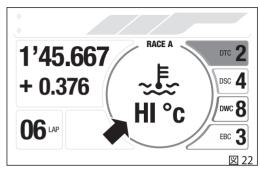
温度が下がるか、エンジンを止めるまで、アラームは 起動したままになります。

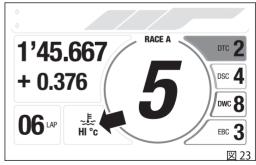
香性

■ 過熱状態の時は、冷却システムがエンジン温度を下げることができるように、できるだけ低速で走行してください。低速で走行できない交通状況の時は、停車してエンジンを切ってください。

エンジンが過熱した状態で車両を使用し続けると、深刻な損傷を引き起こすおそれがあります。

エンジンが通常の温度に戻ってから、インストルメントパネルの警告灯を確認しながら走行してください。





ライディングモード (Riding Mode)

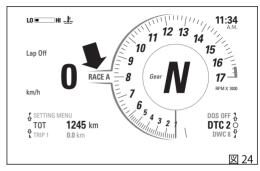
あらかじめ設定されている3通りのライディングモードRACE A、RACE B、SPORT と、5つのライディングモード Custom が用意されています。

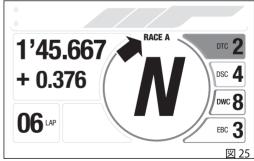
Info Mode Track および Road では、設定ライディング モード名がディスプレイ中央の速度とタコメーターの 間に表示されます (図 24)。Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 25)ではギア表示の上に表示されま す。

ライディングモード名とタコメーターは、それぞれの ライディングモードの色で表示されます。

各ライディングモードに関連するパラメーターは、 ENGINE、DTC、ABS、DWC、DSC、EBC、DQS、 DESです。

SETTING MENUの "Riding Mode" 機能から、各ライディングモードのパラメーターをカスタマイズできます ("SETTING MENU - Riding Mode" の章をご覧ください)。





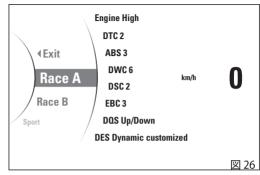
ライディングモードを変更するには、

- ENTER ボタンを 1 秒間長押しします。 選択可能なライディングモードをスクロールでき る画面が表示され、各パラメーターと設定値が表 示されます。
- ブラウズボタンを使用して、希望のライディング モードを選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。

変更を行わずにライディングモードの変更を終了する には、"Exit" を選択して ENTER ボタンを押します。

新しいライディングモードが決定されると、インストルメントパネルは以下の検証を行います。

- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリップが開いている場合、"Close throttle" (スロットルを閉じてください) の文字が表示されます。スロットルグリップが閉じられたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。
- 走行速度 5 Km/h (3 mph) 以下でスロットルグリップは閉じているが、ブレーキがかけられている場合、"Release brakes" (ブレーキを放してください) の文字が表示されます。ブレーキが放されたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。



- 上記の両方の状態にある場合は、"Close throttle and release brakes" (スロットルを閉じて、ブレーキを放してください) の文字が表示されます。両方の条件が満たされたときにのみ、新しいライディングモードが保存され、メイン画面に戻ります。

上記のいずれかの条件が表示されてから5秒以内にライディングモード変更を有効にする条件が満たされなかった場合は、選択手順は中止されます。インストルメントパネルは設定を変更せずにメイン画面に戻ります。

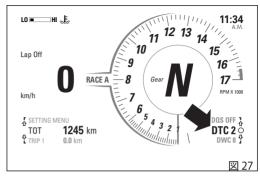
*** **警告**ライディングモードの変更は車両停止時に行う ことをお勧めします。運転中にライディングモードの 変更を行なう場合は十分にご注意ください(低速での 変更をお勧めします)。

パラーメーターとクイックレベル変更メニュー

メイン画面の右下の角に、レベルをクイック変更できるパラメーターメニューが表示されます。 以下のパラメーターとパラメーターの現在の設定値が表示されます。

- DTC
- DWC
- DSC
- EBC
- DFS
- DOS

クイックセレクトボタン UP (6、図 28) とクイックセレクトボタン DOWN (7、図 28) を使って、パラメーターをスクロールさせることができます。 パラメーターの右側に丸印が現れると、クイックセレクトボタン SELECT (5、図 28) を押してレベルを変更できることを示します。



レベル変更

以下のパラメーターについてレベルのクイック変更を 実行できます。DTC、DWC、DSC、EBC。

このモードでは、選択したパラメーターと現在の設定 レベルが表示されます。

ブラウズボタン UP (6) と DOWN (7) を使用して、変更中のパラメーターのレベルをスクロールすることができます。

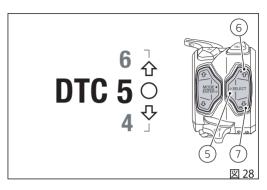
ボタン SELECT (5) を押すと選択したレベルを決定し、インストルメントパネルは前の画面に戻ります。 このように設定したレベルは、使用中のライディングモードに保存されます。

○ 参考

SETTING MENU (例: DTC、DWC、DSC) からパラメーターが「OFF」に設定されている場合は、「OFF」ステータスが表示され、クイック変更は実行できません。

の参考

✓ クイック変更からは、パラメーターレベルを
「off」に設定して機能を停止することはできません。



Info Mode RaceGP (アクセサリー) のパラメーターとレベル変更メニュー

Info Mode RaceGP が起動している場合は、画面右側に以下のパラメーターと現在の設定値が表示されます。

- DTC
- DSC
- DWC
- EBC

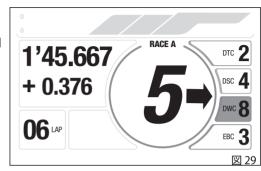
クイックセレクトボタン UP (6、図 28) とクイックセレクトボタン DOWN (7、図 28) を使って、パラメーターをスクロールさせることができます。

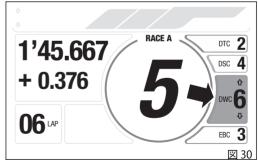
クイックセレクトボタン SELECT (5、図 28) を押して、 レベルを変更することができます。

選択したパラメーターのウィンドウが大きく表示され (図 30)、ボタン UP (6、図 28) とボタン DOWN (7、図 28) を使用して、変更中のパラメーターのレベルをスクロールすることができます。

ボタン SELECT (5、図 28) を押すと選択したレベルを 決定し、インストルメントパネルは前の画面に戻りま す。

このように設定したレベルは、使用中のライディング モードに保存されます。





DTC 表示

DTC の現在のレベルは、Info Mode Track、Road では パラメーターメニュー内に表示されます (図 31)。Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 32) では画面右側に 表示されます。

DTC が機能制限モードである場合は点滅表示され、さらに DTC/DWC ランプが点灯します。

DTC エラーの場合は、現在のレベルの代わりに "Err" の文字が赤色で表示され、さらに DTC/DWC ランプが 点灯します。

DTC を "OFF" に設定すると、DWC も自動的に "OFF" に設定され、DTC/DWC ランプが点灯します。

人警告

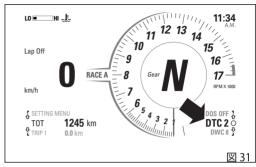
◆ システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

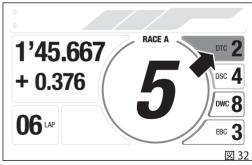
〇 参考

MC と DTC を "Off" に設定すると、DWC と DSC も自動的に "Off" に設定されます。

そして DTC を "On" に設定すると、DWC と DSC も自動的に起動し、直前のレベルに設定されます。

ドゥカティトラクションコントロール (DTC) はリアホイールのスリップ制御を行い、8つのレベルを基に機能します。各レベルでリアホイールのスリップに対し





て異なる許容値が設定されています。それぞれのライディングモードにはあらかじめ設定された介入レベルが割り当てられています。レベル8はごくわずかなスリップを検知しただけでシステムが作動します。一方熟練ライダー用サーキット走行向けのレベル1は許容値が高く設定されており、システムの介入が最小限に抑えられます。

A 警告

DTCはライダーをアシストするシステムです。一般道走行時、サーキット走行時のどちらでも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。 下記の表は、各ライディングタイプに適したDTC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DTC レベ ル	ライディングタイプ	機能の特徴	DEFAULT
OFF		DTC システム解除	NO
1	TRACK プロフェッショナ ル	このレベルは熟練ライダー向けサーキット走行専用として設定されており、ピレリ製 SC1 コンパウンドタイヤに合わせて最適化されています。 このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	
2	TRACK	このレベルは熟練ライダー向けサーキット走行専用に設定されており、標準装備の OEM タイヤに合わせて最適化されています。 このモードにおいて DTC はスリップを許容します。	
3	TRACK	このレベルは上級ライダー向けサーキット走行用に設定されています。 このモードにおいてDTCはスリップを許容します。	"RACE B" のデフォルトレベル。

DTC レベ ル	ライディングタイプ	機能の特徴	DEFAULT
4	TRACK	このレベルはサーキット走行用 (および上級ライダー用ストリート走行用) に設定されています。	1
5	ROAD	このレベルは、ENGINE LOWを使用した ストリートおよびサーキット走行用に設 定されています。	
6	ROAD	このレベルはあらゆる状況下での使用に 適し、グリップの良好なストリート走行 用に設定されています。	
7	RAIN	このレベルは濡れた路面でレインタイヤを装着するサーキット走行専用に設定されています。	NO
8	HEAVY RAIN	このレベルは濡れたアスファルトや滑り やすい路面でのストリート走行用に設定 されています。このレベルが最善に機能 するためには、ENGINE LOWを使用して ください。	

レベルの選択に際しての注意事項

A 選択可能な全レベルにおいて、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着し、標準装備の最終減速比を装備している場合においてのみ、DTCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SPのサイズ:フロント 120/707817. リア

200/60ZR17になります。標準装備のタイヤとサイズ や特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能 特性に影響を与え、機能の安全性が低下することがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合(サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

レベル8を選択すると、DTCはリアタイヤのわずかな スピンにも介入します。レベル8とレベル1の間には、 その他に6つのレベルが存在します。DTCの介入度は レベル8から1に向かい減少します。

レベル1は標準装備タイヤとは異なるSC1コンパウンドタイヤ (Pirelli Diablo Supercorsa SC1) を装着したサーキット走行専用に開発されています。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能特性が異なることがあります。

正しいレベルの選択は、3つの観点から行います。

- グリップ(タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)
- 2) レイアウト/行程(同じような、または全く異なったスピードでのカーブ)
- 3) ライディングスタイル (より "スムーズ" に、またはより "シャープ" に)

グリップ状態からのレベル選択

正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ 状況と密接に関係しています(後述のサーキットおよび一般道での使用時のアドバイスを参照)。グリップが 弱い場合には、DTCが確実に介入するより高いレベル を使用する必要があります。

レイアウトタイプからのレベル選択

レイアウト/行程に同じスピードで走行できるカーブがいくつもある場合、それぞれのカーブで満足できる介入レベルを簡単に見つけることができるでしょう。

一方様々なカーブがレイアウト/行程にある場合は、 妥当な DTC 介入レベルが必要になります。

ライディングスタイルからのレベル選択 カーブ出口で早めに車体を起こし"シャープ"に操縦する場合よりも、バイクを深く倒して"スムーズ"に操縦する場合に DTC はより介入を行う傾向があります。

サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、タイヤを温める間の数周はレベル6に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを6、5、4と変えながら最適な DTC レベルに達するまで調整します。

過度な介入が起こる1つか2つの緩いカーブを除けば納得のいくレベルである場合、直ぐに介入レベルの変更を考える前に、緩いカーブ出口で早めに車体を起こすようにし、少し"シャープ"なライディングスタイルで走行してみてください。

一般道での使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するために、レベル8に設定することをお勧めします。DTCが介入しすぎると感じる場合には、レベルを5、4と変えながら、最適なレベルに達するまで調整します。

グリップ状況や行程の種類、ライディングスタイルを 変更した時に、設定レベルでは満足できない場合は次 のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベル に調整します(例:レベル7ではDTCが介入しすぎると感じる場合はレベル6に、レベル7ではDTCの介入が全くないと感じる場合はレベル8に変更します)。

警告

ピットレーンスピードリミッターの作動中は、 DTC システムは機能しません。

DWC 表示

DWC の現在のレベルは、Info Mode Track、Road ではパラメーターメニュー内に表示されます (図 33)。Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 34) では画面右側に表示されます。

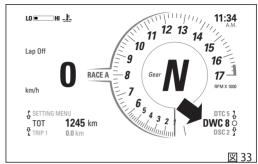
DWC が機能制限モードである場合は点滅表示され、さらに DTC/DWC ランプが点灯します。 DWC エラーの場合は、現在のレベルの代わりに "Err" の文字が赤色で表示され、さらに DTC/DWC ランプが点灯します。

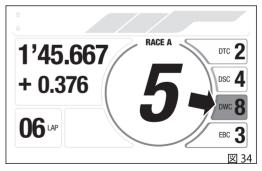
の参考

MTCを "OFF" に設定した場合、DWC も自動的に "OFF" に設定されます。

入警告

システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。





入 警告

DWC はライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。 下記の表は、各ライディングタイプに適したDWC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

DWC レベ ル		用途	DEFAULT
OFF		DWC システム解除	NO
1	HIGH PERFORMANCE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。 ウィリーは可能ですが、システムはウィ リーの速度を低減します。	NO
2	MEDIUM PERFORMANCE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。 ウィリーは可能ですが、システムはウィ リーの速度を低減します。	NO
3	PERFORMANCE	熟練ライダー向けサーキットでの使用。 ウィリーは可能ですが、システムはウィ リーの速度を低減します。	
4	PERFORMANCE	すべてのライダー向け、サーキッドでの 使用。ウィリーは可能ですが、システム はウィリーの速度を低減します。	
5	SPORT	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリ 一発生時には大幅な介入を行います。	

DWC レベ ル		用途	DEFAULT
6	SPORT	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリ 一発生時には大幅な介入を行います。	NO
7	MEDIUM SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を抑え、ウィリ 一発生時には大幅な介入を行います。	NO
8	HIGH SAFE & STABLE	すべてのライダー向けレベルシステムは ウィリーが発生する傾向を最小限に抑 え、ウィリー発生時には大幅な介入を行 います。	

レベルの選択に際しての注意事項

■日 選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比を装備し、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、DWCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa SPのサイズ:フロント 120/707R17、リア

200/60ZR17になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

車両に搭載されているDWCシステムのレベル1の調整は、車両の標準装備タイヤとは異なるSC1コンパウンドタイヤ (Pirelli Diablo Supercorsa SC1) に合わせて最適化されたものです。特徴の異なるタイヤでこのレベルを使用すると、システムの機能特性が異なることがあります。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるものの、サイズクラスが同じ(リア = 200/60 ZR17、フロント = 120/70 ZR17) など違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能さ

せるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合(サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

DWCのレベル8を選択すると、システムはウィリーが発生する傾向を最小限に抑え、ウィリー発生時には大幅な介入を行います。レベル8からレベル1の順にDWCシステムの介入レベルが小さくなります。レベル1、2、3ではウィリーをしやすくなっていますが、同時にウィリー時の減速を行います。これらのレベルの使用は、自らウィリーを制御することができる熟練すイダーがサーキットで使用する場合にのみ推奨されます。その場合システムはウィリーの発生を助けるというよりも、ウィリーが発生する速度を抑えることでライダーを補助します。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- ライダーの経験
- レイアウト/行程(低速ギアでの立ち上がり、もしくは高速ギアでの立ち上がり)

ライダーの経験

使用するレベルはウィリーを自ら制御するライダーの 経験度と密接に関連しています。レベル1、2、3を適切に利用するためには高い能力が求められます。

レイアウトタイプからのレベル選択レイアウトが行程に低速ギアで立ち上がる速

レイアウト/行程に低速ギアで立ち上がる速度の低い カーブが存在する場合、より低いレベルを選択する必要があります。逆に高速サーキットなどではより高い レベルを選択することが可能です。

サーキットでの使用時のアドバイス

システムの作動特性を理解するため、最初の数周はレベル8に設定して走行することをお勧めします。その後、レベルを7、6と変えながら最適なDWCレベルに達するまで調整します(タイヤを温めるため、各レベルごとに数周します)。

一般道での使用時のアドバイス

DWC を起動した後、レベル8を選択し、好みのスタイルで運転します。DWC が介入しすぎると感じる場合は、レベルを7、6と順番に落とし、快適なレベルに達するまで調整してください。行程タイプが変化したため設定レベルでは満足できない場合は次のレベルに変更します。この方法で最も快適なレベルに調整します(例:レベル7ではDWCが介入しすぎると感じる場合はレベル6に、レベル7ではDWCの介入が全くないと感じる場合はレベル8に変更します)。

| | 警告

LU ピットレーンスピードリミッターの作動中は、 DWC システムは機能しません。

DSC 表示

DSC の現在のレベルは、Info Mode Track、Road では パラメーターメニュー内に表示されます (図 35)。Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 36) では画面右側に 表示されます。

DSC が機能制限モードである場合は点滅表示され、さらに DAVC ランプが点灯します。

DSC エラーの場合は、現在のレベルの代わりに "Err" の文字が赤色で表示され、さらに DAVC ランプが点灯します。

DTC が "OFF" に設定されると、DAVC ランプが点灯します。

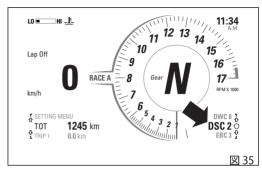
人 警告

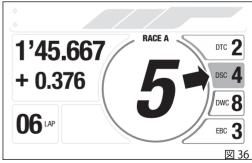
システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

○ 参考

■ DTC が OFF に設定されている場合は、DSC も強制的に OFF に設定されます。

ドゥカティスライドコントロール (DSC) システムは、リアタイヤのドリフトや横滑りを制御しやすくすることを目的とし、カーブ立ち上がりの加速時にライダーを支援します。タイヤの進行方向でのスリップを制御する DTC 機能の介入と併せて、このシステムが極限状





態の走行コンディションにおいてより完成度の高い支援を実現します。

DSC は2通りのレベルで動作します。各レベルはDTC の特定レベルと組み合わせてタイヤの横滑りに介入する異なる値が設定されています。

下表は、各運転タイプに適したDSC介入レベルを示します。選択したDTC レベルに応じて、各レベルは指定のタイヤおよび DTC レベルに対して最適になるように設定されています。

DSC レベル	用途	DEFAULT
OFF	DSC システム解除	NO
1	ベースの介入レベルは、選択する DTC レベルに依存します。 DSC システムは横滑りを制限するために控えめな介入を行います。	NO
	ベースの介入レベルは、選択する DTC レベルに依存します。システムは横滑りを制限するためによりはっきりと介入します。	ライディングモード "RACE A"、"RACE B"、"SPORT" のデフォルトレベル。

入警告

DSC システムは、リアタイヤの横滑りを制限することでドリフト状態でのカーブの立ち上りに加速しやすいようにユーザーを支援します。ユーザーが危険を伴うドリフト角に達するのをシステムは防止できませんので、安全のために運転中は常に十分に注意して本システムを使用してください。

レベルの選択に際しての注意事項

運転スタイルに応じて、カーブの立ち上がりがほぼ鋭 角のコース取りができ、大きめか小さめのドリフト角 を伴うことがあります。以下の記載に従ってご自身の ライディングに最適な介入レベルを見つけてくださ い。

そのためにはまず、DTC システムの解説の記載内容に 従って、最適な DTC レベルを決定することが推奨さ れます。次に、よりはっきりした介入を行う DSC レ ベル2を選択し、システムの特性を理解するためにコ ースを数周してください。サイドグリップへの介入が 多すぎると感じる時は、軽い介入を行う DSC レベル1 を試してください。

標準装備の OFM タイヤ以外のもので、標準装備のタ イヤとはサイズクラスの異なるタイヤやサイズが大き く異なるタイヤを使用する場合は、システムの機能が 影響を受ける可能性があります。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカ 一は異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、 システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能 を使用する必要があります。

DSCはライダーをアシストするシステムです。ア シストシステムとは、より確実で安心な運転を可能に することを目指したメカニズムであり、ライダーが運 転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるもの ではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も 防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可 能にする恒重な運転を心がけてください。

ての安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。

▲ ピットレーンスピードリミッターの作動中は、 DSC システムは機能しません。

EBC 表示

EBC の現在のレベルは、Info Mode Track、Road では パラメーターメニュー内に表示されます (図 37)。Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 38) では画面右側に 表示されます。

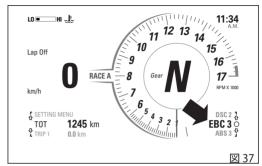
EBC が性能制限モードにある場合は、点滅表示されます。

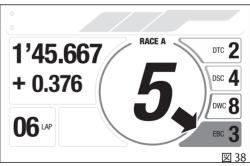
エラーの場合は、レベルの代わりに"Err"の文字が赤色で表示されます。

エンジンブレーキ調整システム (EBC) はアンチホッピングクラッチと連動して機能し、急激なシフトダウンの際のリアホイールのブロックを防止します。 3レベルのオペレーションシステムを装備し、EBC は3つのライディングモードに組み込まれています。

エンジンブレーキコントロール (EBC) は走行中アクセルが完全に閉じた時に掛かるエンジンブレーキ制御を行います (ブレーキを掛けているかいないかに関わらず、シフトダウン時やギアは変えずにアクセルだけを戻した時)。このシステムは独立してスロットルバルブを調整し、走行中のホイールからエンジンへのバックトルクを一定に保ちます。

このエンジンブレーキ調整システムでは、エンジンブレーキが最大になるレベル1設定から、レベルを上げるごとにエンジンブレーキが徐々に軽減します。





システムの影響はエンジンの高回転域で特に顕著で、回転数が下がっていくにつれ徐々に小さくなっていきます。

▲ 警告

EBC はライダーをアシストするシステムです。一般道走行時でもサーキット走行時でも使用できます。アシストシステムとは、より確実で安心な運転を可能にすることを目指したメカニズムであり、ライダーが運転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるものではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可能にする慎重な運転を心がけてください。

下記の表は、各ライディングタイプに適したEBC介入レベルと、ユーザーが選択可能な"ライディングモード"のどれにデフォルト設定されているかを示します。

EBC レベ ル	特徴	DEFAULT
1	このレベルではエンジンブレーキは最大になります。	NO
2	このレベルではエンジンブレーキは小さくなります。 このレベルは、減速時のエンジンブレーキを小さくし たいライダーに適します。	ライディングモード "RACE A" と "SPORT" のデフォルトレベル
	このレベルではエンジンブレーキは最小になります。 このレベルは、減速時のエンジンブレーキを最小限に 抑えたいライダーに適します。	

レベルの選択に際しての注意事項

選択可能な全レベルにおいて、標準装備の最終減速比を装備し、標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、EBCシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ、Pirelli Diablo Supercorsa、SPのサイズ:フロント 120/70 ZR17 M/C (58W) V3、200/60 ZR17 M/C (80W) V3 になります。標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

最終減速比に関して、標準装備とは異なるギア比を使用する場合(サーキット走行においてのみ可)、システムを最適に動作させるために所定の自動調整機能を使用することが推奨されます。

レベル3を選択すると、EBC はエンジンブレーキの機能を最小限に抑えます。レベル3からレベル1の順にエンジンブレーキレベルが大きくなります。レベル1でエンジンブレーキレベルは最大になります。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

- グリップ(タイヤのタイプ、磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)
- 2) レイアウト/行程(類似カーブのみ、またはカーブが全く異なる)
- 3) ライディングスタイル

グリップ状態からのレベル選択 正しいレベルの選択はレイアウト/行程中のグリップ 状況と密接に関係しています。

レイアウトタイプからのレベル選択 同じようなブレーキングで走行できるレイアウト/行程 の場合(すべて非常に激しい、またはすべて非常に緩 やか)、それぞれのブレーキングで満足できる干渉レ ベルを簡単に見つけることができるでしょう。一方様 々なブレーキングがレイアウト/行程にある場合、EBC システムの妥当な介入レベルが必要になります。

ABS 表示

ABS の現在のレベルを表示します。

ABS が機能制限モードである場合は、現在のレベルが 点滅表示され、さらに ABS ランプが点滅します。 ABS エラーの場合は、レベルの代わりに "Err" の文字が 赤色で表示され、さらに ABS ランプが点灯します。 ABS が自己診断中は、ABS ランプが点滅します。

不警告

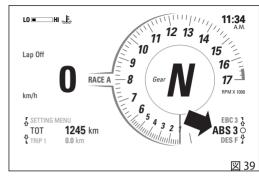
システム異常の場合には、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。

フロントホイールがロックされると、グリップによる バランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイール上のセンサーから送られた信号をコントロールユニットが分析し、いずれかのホイールがロックしそうであることを



検知すると、ブレーキ回路内の油圧を制御します。この場合には、ブレーキ回路内の油圧を低下させることでホイールを回転させ続け、路面とのグリップを最適に維持します。

続いて、コントロールユニットはブレーキ回路内の油 圧を戻してブレーキをかけます。

問題が完全に解消されるまで、このサイクルを繰り返します。

ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。フロントブレーキシステムとリアブレーキシステムの制御は別々に行われます。

Panigale Superleggera V4が搭載する ABS は、設定レベルに応じた異なるストラテジーを適用して車輪がロックするのを防止するセーフティシステムです。ストラテジーのアクティブプレゼンスと介入レベルは選択レベルに準じます。ABS には3通りの介入レベルが用意されており、それぞれライディングモードと連動しています。

さらに、Panigale Superleggera V4が搭載する ABS は「コーナリング」機能を備えており、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。コーナリング機能は全 ABS レベルで作動します。

Panigale Superleggera V4 の ABS 設定レベルに応じて、リアホイールのリフトアップ制御を有効にでき、制動距離を短くするだけでなく、制動時の高い安定性を確保します。

ABS のレベル1はライディングモード RACE に連動しています。システムはフロントブレーキディスクにのみ作用し、サーキット走行においてさらに高いパフォーマンスを保証します。

このモードでもコーナリング機能は作動します。コーナリング機能の介入レベルについては後述します。

ABSのレベル2はライディングモードSPORTに連動しており、このレベルではブレーキング時のスライド制

御が作動します。一定の起動条件下で、ライダーの安全を最大限に確保しながらも、ABSシステムは車両のヨーイングまたはスライドを可能にするリアの大幅なスリップを許可し、コーナーに高速で進入できるようにします。

フロントブレーキを激しくかけている時に、リアブレーキも操作した場合にこのコントロールが作動します。

このシステムの作動中、リーンアングルに応じて安全なレベル内に維持するため、ABSは車両のスリップまたはスライドレベルを監視します。車両のスリップまたはスライドレベルが高くなりすぎると、ABSは通常機能に戻り車両を再調整して安全を確保します。

▲ 警告 2つあるブレーキコマンドの片方だけを使用する と、車両のブレーキ性能が低下します。急激に過度の 力を掛けてブレーキコマンドを操作しないでくださ い。後輪が浮き上がり(リフトアップ)、車両のコント ロールを失うおそれがあります。雨天時や滑りやすい 路面の走行ではブレーキ力が著しく低下します。この ようなコンディションでは恒重に優しくブレーキ操作 をしてください。急ブレーキを掛けると車両のコント ロールを失う危険があります。長く急な下り坂を走行 する際にはシフトダウンしてエンジンブレーキを使用 し、ブレーキは短く断続的に使用するようにしてくだ さい。ブレーキを長時間連続して使用すると、ブレー キパッドの過熱を招き、ブレーキ性能の著しい低下の 原因となります。規定空気圧に満たないタイヤ、もし くは規定空気圧を超えるタイヤでの走行はブレーキ性 能を低下させるだけでなく、正確な運転とカーブでの 安定性を損ないます。

下記の表は、各ライディングタイプに適した ABS レベルと、ユーザーが選択可能な "ライディングモード" のどれにデフォルト設定されているかを示します。

ABS レベ ル	スタイル	用途	DEFAULT
1	TRACK	このレベルは上級ライダー向けサーキット走行専用に設定されています(ストリートでの使用は推奨されません)。このレベルでは、ABSはフロントホイールにのみ作用し、リアホイールのロックは許容されます。このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行いませんが、コーナリング機能は作動します。	A" のデフォルトレベル

ABS レベ ル	スタイル	用途	DEFAULT
2	SPORT	このレベルは、グリップの良好なサーキットおよびストリート走行用に設定されています。このレベルでは、ABSは両方のホイールに作用し、コーナリング機能が作動します。このレベルでは、システムはリフトアップ制御は行いません。このキャリブレーションは制動力を優先し、ライダーがホイールのリフトアップを管理できるようなっています。このレベルではブレーキング時のスライド制御も作動します。	B" のデフォルトレベル
3	STABILITY	このレベルはあらゆる状況下での使用に適し、安全かつ安定したブレーキングを可能にするよう設定されています。このレベルでは、ABS は両方のホイールに作用し、コーナリング機能およびリフトアップ制御機能が作動します。	"SPORT" のデフォルトレベ

レベルの選択に際しての注意事項

選択可能な全レベルにおいて、標準装備のブレーキシステムおよび標準装備タイヤまたはドゥカティ社が推奨するタイヤを装着している場合においてのみ、ABSシステムの最適な動作が保証されるものです。特にタイヤは標準装備タイヤ:

- フロント 120/70 ZR17 M/C (58W) Pirelli Diablo Supercorsa SP V3
- リア 200/60 ZR17 M/C (80W) Pirelli Diablo Supercorsa SP V3

標準装備のタイヤとサイズや特徴の異なるタイヤを使用すると、システムの機能特性に影響を与え、機能の安全性が低くなることがあります。基準適合サイズと異なるサイズのタイヤの装着は推奨されません。

レベル3を選択すると、ABSシステムは安定性を優先するブレーキングとリフトアップ制御を行い、全てのブレーキングにおいて高い車体安定性を維持します。レベル3において、ABSシステムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。

レベル2を選択すると、ABSシステムは安定性やリフトアップ制御よりみブレーキ力を優先します。リフトアップ制御はレベル2では作動しません。

レベル2において、ABSシステムのコーナリング機能が作動します。この機能により、バイクを倒している時に、車両と路面状況により決定される物理的限界の範囲内で車輪のロックおよびスリップを防止します。また、レベル2では「ブレーキング時のスライド制御」機能が作動します(このレベルでのみ利用できます)。

ABS システムのレベル 1 の使用はサーキット走行専用 になります。パフォーマンスを重視して ABS はフロン トホイールにのみ作用します。

このレベルではリフトアップ制御は作動しませんが、 コーナリング機能は作動を続けます。

主に以下のパラメーターを考慮して正しいレベルを選択します。

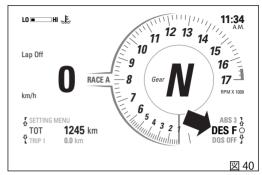
- 1) タイヤ/路面のグリップ(タイヤタイプ、タイヤの 磨耗状態、アスファルトの種類、気候など)。
- 2) ライダーの経験と感覚:熟練ライダーは制動距離 を最小限に抑えるためリフトアップを制御することができますが、経験の少ないライダーには、急 なブレーキングでも車体の安定性が維持できるようレベル3の使用が推奨されます。

DES 表示

インストルメントパネルはディスプレイに DES 機能の 状態を以下のように表示します。

- システムが Dynamic モードの場合は、"DES D" の 文字
- システムが Fixed モードの場合は、"DES F"の文字
- システムエラーの場合は、"Err""の文字
- システムが性能制限モードにある場合は、"D" または "F" の文字が点滅
- システムが初期化中の場合は、"DES-"の文字が点滅

このシステムが Bosch 慣性センサーとのインターフェースとなり、変化する道路やライディング条件にダイナミックに対応して、サスペンション本来の性能を引き出し、確実な車両コントロールを可能にします。次の2通りの動作モードがあります。Fixed (固定) モード。アクティブモードではなく、フロント/リアサスペンションのコンプレッションダンピングおよびリバウンドダンピング、ステアリングダンパーのプリロードをライダーが特定レベルに設定することができます。一度設定したレベルは、従来型アジャスタブルサスペンションシステムと同様に、ライダーが新たに設定し直すまで維持されます。もうひとつは「Evert Based」、イベントベースモードが用意されています。セミアクティブモードで、サスペンションの「挙動」



レベルをライダーがハードからソフトまで選択することができます。このモードでは、ライダーが選択した「挙動」を維持しながら、システムは道路状況に応じてダンパーのコンプレッションダンピング、リバウンドダンピングをダイナミックに調整します。

DQS 表示

インストルメントパネルはディスプレイに DQS 機能の 状態を以下のように表示します。

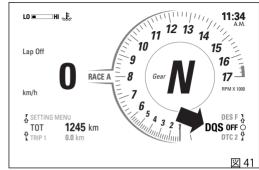
- DQS システムが起動している場合は、"DQS U-D" (シフトアップおよびシフトダウン)の文字。
- DQS システムが解除されている場合、"DQS Off" の文字
- DQS システムエラーまたはコントロールユニット エラーの場合は、"Err""の文字。
- DQS システムが性能制限モードにある場合は、 "DQS" の文字が点滅。

UP/DOWN 機能を備える DQS システムでは、クラッチを操作せずにシフトアップおよびシフトダウンが可能です。

レバーの作動機構内に統合された双方向マイクロスイッチからな成り、このマイクロスイッチがエンジンコントロールユニットにシフト操作に対応する信号を送信します。

システムはシフトアップとシフトダウンで動作が異なります。シフトアップシステムでは点火進角と燃料噴射に作用し、シフトダウン時にはスロットルバルブオープニングを制御します。

この機能を最大限に活用するためのいくつかのヒント を以下に示します。



- ドゥカティクイックシフトでは、このシステムを 搭載ない車両と同様にギアチェンジペダルの操作 を必要とします。ドゥカティクイックシフトはギアチェンジを自動で行うためのシステムではありません。
- ギアをチェンジする時 (シフトアップまたはシフトダウン) は、ギアチェンジペダルを停止している位置からシフトしたい方向に動かしてください。その際、スプリングの反発力に抵抗してペダルを一定距離動かし、ギアが完全に締結されるまでその位置を維持してください。ギアチェンジが完了したら、ドゥカティクイックシフトで次のギ

アチェンジができるようにペダルを完全に放して - ください。ドゥカティクイックシフトのリクエスト時にギアチェンジペダルをストロークエンドまで確実に動かさないと、ギアが完全に入らない場合があります。

- クラッチレバーを操作する場合には、ドゥカティクイックシフトのアシストは作動しません。
- クラッチレバーを引いているときは、ドゥカティクイックシフトは作動しません。
- スロットルが完全に閉じている場合にのみ、ドゥカティクイックシフトはシフトダウンを実行します。
- 万一ドゥカティクイックシフトのストラテジーが 正常に作動しない場合でも、クラッチレバーを操 作してギアチェンジを完了することができます。
- ギアチェンジペダルを上下いずれかの方向に30 秒以上押し続けると(誤って操作した場合でも)、 不正なエラーとしてコントロールユニットに記録 され、ドゥカティクイックシフトの機能が停止す ることがあります。こうした場合にシステムを再 起動するには、ペダルを放してインストルメント パネルを一旦切り、5秒待ってからもう一度起動 してください。
- ドゥカティクイックシフトは、エンジン回転数 2,500 rpm 以上で作動するように設計されています。

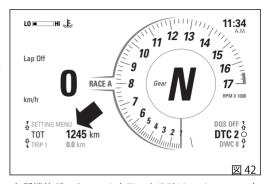
ドゥカティクイックシフトを使ったシフトダウン機能は、すべてのギアにおいて定義された回転数の限界値以下でのみ作動します。これは、シフトダウンした時にエンジンの最高回転数を超えてしまうのを防ぐためです。

機能メニュー

ブラウズボタンを使用して、メイン画面に機能メニュー内の機能をスクロール表示することができ機能ます。

設定されているインフォモードとライディングモード に応じて、メニューには異なる機能が表示されます。 機能メニューには以下の機能が表示されます。

- TOT-オドメーター
- TRIP 1 トリップメーター 1
- CONS. AVG 1 平均燃費
- SPEED AVG 1 平均スピード
- TRIP 1 TIME トリップタイム
- TAIR 外気温
- TRIP FUEL 燃料リザーブトリップメーター
- TRIP 2 トリップメーター 2
- CONS. I. 瞬間燃費
- PLAYER (OFF / ON) 音楽プレーヤー操作 Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載され ており、スマートフォンが接続されている場合の み (Info Mode Road でのみ表示)
- LAST CALLS Bluetooth モジュール (アクセサリー) が搭載されており、スマートフォンが接続されている場合のみ (Info Mode Road でのみ表示)
- LAP (OFF / ON) ラップタイム (Info Mode Track でのみ表示)
- SETTING MENU 設定メニュー



各種機能がスクロール表示できる時は、メニューの左側に UP **介** および DOWN **小** 矢印が現れます。矢印はブラウズボタンに相当します。丸印 **O** の表示は、ENTER ボタンを押して表示された機能を操作できることを示します。例えばトリップメーター TRIP 1 のリセットです。

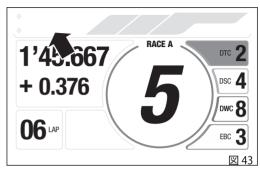
Info Mode RaceGP の機能メニュー (アクセサリー)

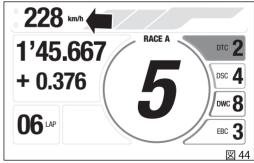
Info Mode RaceGP が起動している場合、機能メニューは画面左上の角に表示されます。

選択可能な設定は、

- *空白*
- スピード(図 44)
- TOT-オドメーター
- TRIP FUEL 燃料リザーブトリップメーター
- SETTING MENU 設定メニュー

各種機能がスクロール表示できる時は、メニューの左側にUP **介** およびDOWN **少** 矢印が現れます。矢印はブラウズボタンに相当します。丸印 **O** の表示は、ENTER ボタンを押して表示された機能を操作できることを示します。例えば設定メニュー SETTING MENUなどです。





TOT

オドメーターは、設定されている単位 (キロメートルまたはマイル)で車両の総走行距離を表示します。Info Mode Track、Roadの表示(図45)、Info Mode RaceGPの表示 (アクセサリー、図46)。

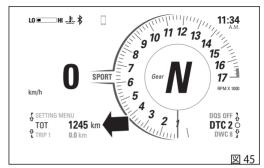
単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。 オドメーターの値は常に保存され、いかなる理由でも リセットすることはできません。

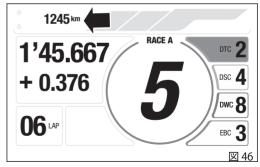
一参考

→ オドメーター機能で点線"----- が点滅表示される場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

○ 参考

インストルメントパネルを起動すると、この機能が10秒間表示され、その後インストルメントパネル停止前に設定されていた機能に戻ります。





TRIP 1

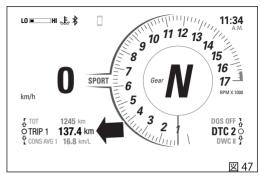
TRIP 1 機能は、設定されている単位 (キロメートルまたはマイル) で車両の部分走行距離を表示します。単位は "SETTING MENU"の "Units" から変更できます。データが最大値 9999.9 を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再び 0.0 からカウントを始めます。

機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP 1" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- CONS. AVG 1 機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP 1 TIME 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENUからシステムの測定単位を手動で変更した場合。



₹ 参考

■ TRIP 1 機能をリセットすると、CONS. AVG 1、 SPEED AVG 1、TRIP 1 TIME の各機能もリセットされます。

CONS. AVG 1

CONS. AVG 1機能は、最後に機能がリセットされてから計算された車両の平均燃費を表示します。

データは設定された単位(km/L、L/100 km、mpg UK、mpg US) で表示されます)。

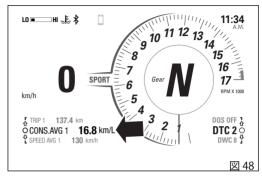
単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。

機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "CONS. AVG 1" を表示し ます。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- TRIP 1 機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP 1 TIME 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で変更した場合。



参考

₹ 参考

平均燃費は、停車中でもエンジンがかかっている時間は計算されます。

SPEED AVG 1

SPEED AVG 1機能は、設定されている単位 (キロメートルまたはマイル) で、最後に機能がリセットされてから計算された車両の平均スピードを表示します。単位は "SETTING MENU"の "Units" から変更できます。

機能のリセット:

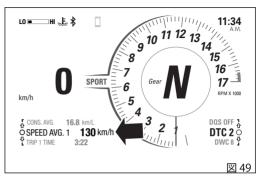
- ブラウズボタンを押して "SPEED AVG 1" を表示し ます。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- TRIP 1 機能をリセットした場合。
- CONS. AVG 1 機能をリセットした場合。
- TRIP 1 TIME 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で変更した場合。

の参考

SPEED AVG 1 機能をリセットすると、TRIP 1、
CONS. AVG 1、TRIP 1 TIME の各機能もリセットされます。



参考

TRIP 1 TIME

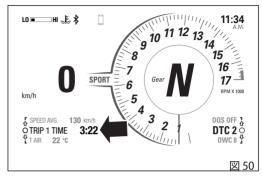
TRIP1TIME機能は、最後に機能がリセットされてから計算された車両の走行時間 (時:分) を表示します。データが最大値 511:00 を超えると、カウンターは自動的にリセットされます。

機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP1TIME"を表示しま す。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合には、TRIP 1 TIME カウンターが自動的にリセットされます。

- TRIP 1 機能をリセットした場合。
- CONS. AVG 1 機能をリセットした場合。
- SPEED AVG 1 機能をリセットした場合。
- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で変更した場合。



参考

TRIP 1 TIME 機能をリセットすると、TRIP 1、CONS. AVG 1、SPEED AVG 1 の各機能もリセットされます。

の参考

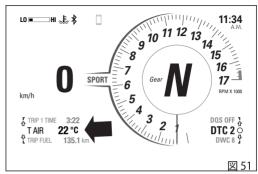
挙 停車中でもエンジンがかかっている時間は、走 行時間として計算されます。

T AIR

T AIR 機能は外気温度 (° C または ° F) を表示します。 単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。 温度データは -39 ° C~+125 ° C (-38 ° F~+257 ° F) の間で表示されます。 温度が -39 ° C (-38 ° F) 未満 あるいは +125 ° C (+255 ° F) を超える場合には点線 " - - - " が表示されます。

一参考

エンジンの熱が停車中の車両の温度表示に影響 を与える場合があります。



TRIP FUEL

TRIP FUEL 機能は、車両がリザーブ走行に入ると有効になり、燃料リザーブランプ点灯時点からの走行距離を設定されている単位(キロメートルまたはマイル)で表示します。この機能は Info Mode Track、Road (図52) と、Info Mode RaceGP (アクセサリー図53) に表示されます。

単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。 リザーブ走行状態でなくなると、この機能は停止しま す。

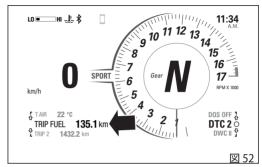
以下のような場合には、リザーブ走行距離データがリセットされます。

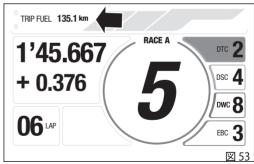
- データが最大値 (9999.9) を超えた場合。
- SETTING MENU から単位を変更した場合。
- バッテリー接続を切り離した場合。

〇^{参考}

車両がリザーブ走行に入ると、その時点で表示されている機能に関係なく、TRIP FUEL 機能が自動的に表示されます。

ただし、ブラウズボタンを使用して、別の機能もスクロール表示することはできます。





参考 SETTING MENU内にいる場合や PIN Code を入力

して車両のロック解除を行っている場合は、TRIP FUEL 機能は表示されません。

参考 TRIP FUEL 機能の表示中にリザーブ走行が終了す ると、インストルメントパネルはTOT機能の表示に戻 ります。

TRIP 2

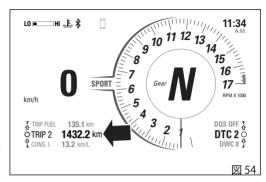
TRIP 2 機能は、設定されている単位 (キロメートルまたはマイル) で車両の部分走行距離を表示します。単位は "SETTING MENU"の "Units" から変更できます。データが最大値 9999.9 を超えると、カウンターは自動的にリセットされ、再び 0.0 からカウントを始めます。

機能のリセット:

- ブラウズボタンを押して "TRIP 2" を表示します。
- ENTER ボタンを押します。
- カウンターの代わりに "RESET?" (リセットしますか) の文字が表示されます。
- UP ボタンまたは DOWN ボタンを押してキャンセルか、ENTER ボタンを押して決定します。

以下のような場合は自動的にリセットされます。

- 電源供給が中断された時 (Battery Off)。
- SETTING MENU からシステムの測定単位を手動で 変更した場合。



CONS. I.

CONS. 機能は瞬間燃費を表示します。

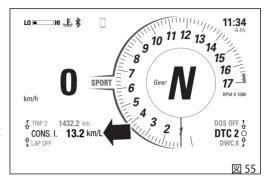
データは設定された単位(km/L、L/100 km、mpg UK、mpg US) で表示されます)。

単位は "SETTING MENU" の "Units" から変更できます。

の参考

瞬間燃費は、車両が起動し、動いている場合にのみ計算されます。

瞬間燃費が算出されない場合は、3本の点線"--."が データの代わりに表示されます。

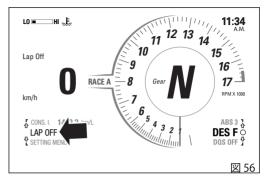


LAP (OFF / ON)

この機能は Info Mode Track でのみ表示され、ラップ タイム記録機能を起動/停止を行います。詳しくは、 "ラップタイム (LAP)" の章をご覧ください。

- LAP が起動していない場合は、"LAP OFF" の文字 が表示されます。起動するにはENTER ボタンを押 します。
- LAPが起動している場合は、"LAPON"の文字が表示されます。停止するにはENTERボタンを押します。

"SETTING MENU"の "Lap" 機能からも、LAP 機能を起動/停止や記録タイムの管理が可能です ("SETTING MENU - Lap" をご覧ください)。



PLAYER (OFF / ON)

この機能は Info Mode Road でのみ表示され、音楽プレーヤー操作を有効、無効にします。

Bluetooth コントロールユニットを搭載し、スマートフォンが接続されている場合にのみ利用できます。 機能を "OFF" または "ON" に設定します。

人 重要

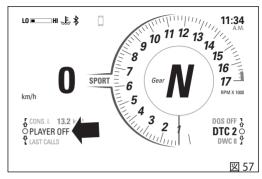
インストルメントパネルに Bluetooth 接続しているスマートフォンの接続を解除するか電源を切ると、この機能はリスト内に表示されなくなります。スマートフォンがインストルメントパネルに Bluetooth 接続された時に、再び表示されます。

の参考

■ スマートフォンの他にライダーヘルメットインターコムが接続されている場合は、音楽はヘルメットのイヤホンを通して再生されます。

参考

LAP機能が起動している時に音楽プレーヤーを 起動(PLAYER ON) すると、LAP機能が OFF モードに設 定され中断されます。



の参考

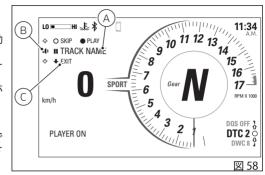
音楽プレーヤーが起動 (PLAYER ON) し、スマートフォンから曲を再生している時に LAP 機能を起動すると、曲の再生が中断され、機能が停止 (PLAYER OFF) します。

音楽プレーヤー操作の起動

音楽プレーヤー操作が "OFF" に設定されている場合 (図57)、ENTERボタンを押すとプレーヤー操作が起動 します。

音楽プレーヤー操作が起動中は、接続しているスマートフォンで再生中の曲のタイトル (A)、可能な操作 (B)、"EXIT" の表示とその前に下向きの黒色矢印 (C) がディスプレイに表示されます。

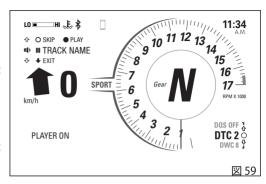
→ 完全な曲名は一度だけ右から左にスクロールで表示され、その後は曲名の最初の数文字だけが表示されます。曲タイトルが利用できない場合は、"NOT AVAILABLE"の文字が表示されます。



音楽プレーヤー操作

操作が起動している時、UPボタン、DOWNボタン、ENTERボタンは音楽プレーヤー操作専用ボタンになります。具体的には:

- Play / Pausa (再生 / 一時停止): ENTER ボタンを 2 秒間押し続けます。
- 次の曲に "SKIP" (スキップ): ENTER ボタンを押します。
- 音量を上げる "+": UP ボタンを押します。
- 音量を下げる "-": DOWN ボタンを押します。
- 音楽プレーヤー操作から出る:DOWN ボタンを 2 秒間押します。



起動中の音楽プレーヤー操作から出る (ON) 曲の再生中など音楽プレーヤーを起動したままプレー ヤー操作から出るには (図 59)、DOWN ボタンを 2 秒 間押します。

これにより、UPボタン、DOWNボタン、ENTERボタンの機能が音楽プレーヤー操作ではなく、通常のインストルメントパネル操作に戻ります。

機能を起動すると、メニュー内に"PLAYER ON"の表示が現れます。再生中の曲名の下には、黒色の上向き矢印と"PLAYER CONTROL"の文字が表示されます。

の参考

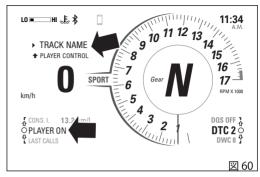
音楽プレーヤー操作に戻る (ON)

音楽プレーヤー操作に戻るには、PLAYER ON 機能を表示し、UP ボタンを 2 秒間押してください。

UP、DOWN、ENTER ボタンの機能が、音楽プレーヤー操作に戻ります (図 59)。

音楽プレーヤー操作の停止

曲の再生を中止して音楽プレーヤーを停止するには、 PLAYER ON 機能を選択し (図 60)、ENTER ボタンを押 します。



機能は "PLAYER OFF" 表示になります (図 57)。

LAST CALLS

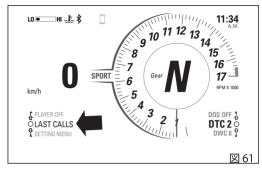
この機能は不在着信、発信、着信の履歴を表示します。Bluetooth コントロールユニットを搭載し、スマートフォンが接続されている場合にのみ利用できます。

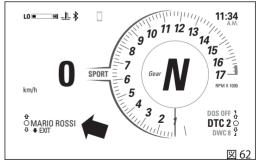
ENTER ボタンを押して履歴一覧を表示します。 この機能に入ると、ディスプレイに "WAIT.." の文字が 数秒間表示され、続いて最後の通話相手の名前と番号 が表示されます。

発信、受信、不在着信の履歴は最大7件まで表示されます。

65プラウズボタンを使用して、履歴一覧をスクロールすることができます。一覧から選択した電話番号/名前に発信するには、ENTERボタンを押します。詳しくは"インフォテインメント"の章を参照してください。通話履歴が何もない場合は、ディスプレイに"EMPTY"の文字が表示されます。この場合には機能の終了だけが可能です。

機能を終了して前の画面に戻るには、DOWNボタンを2秒間押します。





SETTING MENU

このメニューではいくつかの車両機能の ON/OFF および設定を行います。

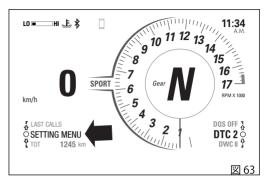
安全上の理由により、車両の実速度が 5 km/h (3 mph) 以下の場合に限り、このメニューに入ることができます。

SETTING MENU が表示されている時に車両速度が 5 km/h (3 mph) を超えると、インストルメントパネルは自動的にメイン画面表示に戻ります。

メニューに入るには、ブラウズボタンで "SETTING MENU" を選択し、ENTER ボタンを押します。

▲ 重要

全主 安全のために、このメニューは車両が停止している状態で使用してください。



SETTING MENUに入ると、ディスプレイの表示モードが変わります。

メニューには以下の機能が表示されます。

- Riding Mode
- Pin Code
- Lap
- Circuits
- Backlight
- Date and Clock
- Units
- Service
- Pit Limiter
- Tire Calibration
- DRL DRL を搭載している場合のみ
- Bluetooth Bluetooth モジュールを搭載している 場合のみ
- DDA DDA が接続されている場合のみ
- Turn indicators
- Info

ブラウズボタンを使用して、これらの機能をスクロールすることができます。 目的の機能を表示してから、ENTERボタンを押してサブメニューを表示します。 サブメニューを終了するには、"Back" を選択してENTERボタンを押します。



SETTING MENU を終了するには、"EXIT" を選択して ENTER ボタンを押してください。

SETTING MENU - Riding Mode

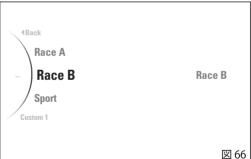
各ライディングモードのそれぞれの設定をパーソナラ イズすることができます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- このメニューに入ると、画面右側に現在設定されているライディングモード名が表示され、左側に次の項目が表示されます。"Race A"、"Race B"、"Sport"、"Custom 1"、…、"Custom 5"、"All Default" (いずれかのライディングモードのひとつ以上のパラメーターが初期設定値と異なる場合のみ表示されます)。
- 目的の項目を選択し、ENTERボタンを押します。

各ライディングモードで以下のパラメーターをパーソナライズすることができます。DAVC (DTC、DWC、DSC)、Engine、ABS、EBC、DQS、Info Mode、DES。設定値は、車両をオフにした後も保持されます。

↑ **警告** パラメーター変更は、車両のセットアップに充分慣れている方のみにお勧めします。意図せず変更してしまった場合は、"Default"機能を使用してパラメーターを修復してください。



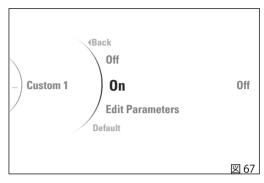


ライディングモード Custom (1-5)

ライディングモード Custom (1-5) を編集するには、ENTERボタンを押します。画面右側に現在の状態が表示され、左側に以下の項目が表示されます。"Off"、"On"、"Edit Parameters"、"Default" (ひとつ以上のパラメーターが初期設定値と異なる場合のみ表示されます)。

"Off" および "On" の項目はそれぞれ、ライディングモード変更メニュー画面のリスト内のライディングモード Custom の表示を無効/有効にします("ライディングモード (Riding Mode)" をご覧ください):

- "Off" を選択して ENTER ボタンを押すと、ライディングモード変更メニューから選択したライディングモードを削除します。
- "On" を選択して ENTER ボタンを押すと、ライディングモード変更メニューから選択したライディングモードを追加します。



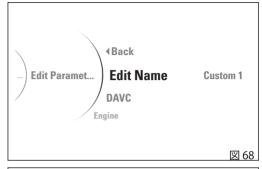
ライディングモード Custom (1-5) – Edit Name この機能を使って、選択したライディングモード Custom の名前 (最大 5 文字) を変更することができます。

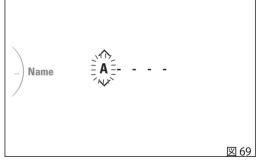
名前を変更するには:

- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Erase Name" (名前を消去) を選択し、ENTERボタンを押します (図 68)。

機能に入ると、画面左側に"Name"の文字が表示され、中央に1文字目が表示されます(図 69)。UP ボタンとDOWN ボタンを使用して、選択する文字をスクロールできます。ENTER ボタンを押して文字を決定し、次の桁に移動します。

最後の文字を設定したら、ENTERボタンを押して入力 した名前を決定し、前のメニューに戻ります。





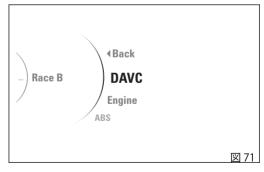
SETTING MENU - Riding Mode - DAVC

この機能は、各ライディングモードに連動する DAVC パッケージの DTC、DWC、DSC 機能のレベルを設定 します。

ライディングモード "Race A"、"Race B"、"Sport" の場合:

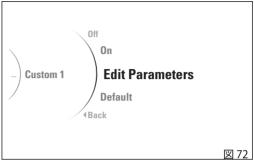
- 「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し(図 70)、 ENTER ボタンを押します。
- "DAVC"を選択し(図71)、ENTERボタンを押します。

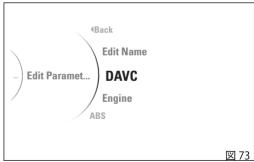




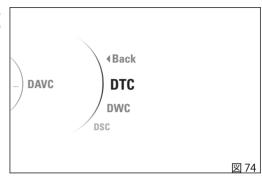
ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し (図 70)、ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択し (図 72)、ENTER ボタンを押します。
- "DAVC" を選択し(図 73)、ENTER ボタンを押します。





メニュー内には "DTC"、"DWC"、"DSC"、"Default" (いずれかのパラメーターが初期設定値と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。 目的の項目を選択し、ENTER ボタンを押します。



SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DTC

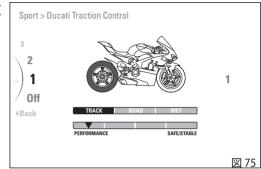
この機能では一つのライディングモードのDTCシステム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DTC"を選択し、ENTER ボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DTC"を選択し、ENTER ボタンを押します。



機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル "1"~"8"、"Off") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

参考DTC を "Off" に設定すると、DWC と DSC も自動 的に "Off" に設定されます。

そして DTC を "On" に設定すると、DWC と DSC も自 動的に起動し、直前のレベルに設定されます。

SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DWC

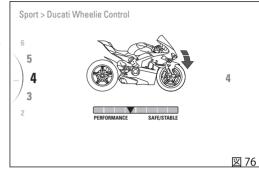
この機能では一つのライディングモードの DWC システム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DWC"を選択し、ENTER ボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DWC"を選択し、ENTERボタンを押します。



機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"8"、"Off")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

人 警告

DTC を "Off" に設定すると、DWC も強制的に "Off" に設定されます。この場合、DWC の設定は利用できません。

SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - DSC

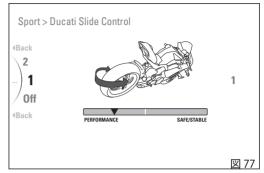
この機能では一つのライディングモードのDSCシステム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DSC"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "DSC" を選択し、ENTER ボタンを押します。



機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定 (レベル "1"、"2"、"Off") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭と、参照表が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

■ DTC を "Off" に設定すると、DSC も強制的に "Off" に設定されます。この場合、DSC の設定は利用 できません。

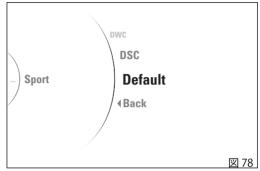
SETTING MENU - Riding Mode - DAVC - Default

ここでは個別のライディングモードに連動する DAVC 機能にグループ化されている DTC、DWC、DSC 機能のレベルを、ドゥカティが設定したデフォルト値に回復させることができます。 ライディングモード "Race A"、"Race B"、"Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "DAVC"を選択し、ENTERボタンを押します。



次に "Default" を選択し、ENTER ボタンを押します。 これで、選択したライディングモードに関連する DTC、DWC、DSC 機能が初期設定値に回復されます。 既定パラメーターに回復した後も "Default" の表示は 残ります。

SETTING MENU - Riding Mode - Engine

ここでは各ライディングモードに連動したエンジン出力を設定することができます。

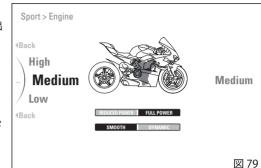
ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Engine"を選択し、ENTER ボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "Engine" を選択し、ENTER ボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な項目"High"、"Medium"、"Low"が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。



さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイクの輪郭と、参照表が表示されます。 ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

SETTING MENU - Riding Mode - ABS

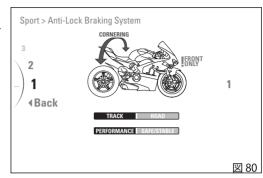
この機能では一つのライディングモードの ABS システム介入レベルの設定を行うことができます。 ライディングモード "Race A"、"Race B"、"Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "ABS"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "ABS"を選択し、ENTERボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"3")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。



さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイクの輪郭と、参照表が表示されます。 ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

SETTING MENU - Riding Mode - EBC

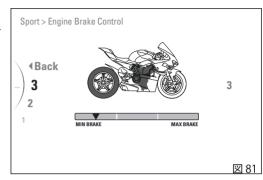
この機能では一つのライディングモードのEBCシステム介入レベルの設定を行うことができます。 ライディングモード "Race A"、"Race B"、"Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "EBC"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "EBC"を選択し、ENTERボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定(レベル"1"~"3")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。



さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイクの輪郭と、参照表が表示されます。 ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

SETTING MENU - Riding Mode - DQS

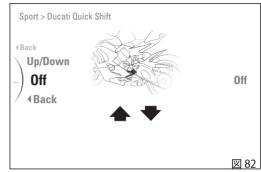
この機能では一つのライディングモードの DQS システム介入レベルの設定、またはシステムの解除を行うことができます。

ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "DQS" を選択し、ENTER ボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "DQS"を選択し、ENTERボタンを押します。



機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定("Up/Down"、"Off")が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。

さらに、介入しているエリアが強調表示されたバイク の輪郭が表示されます。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンを押して決定します。

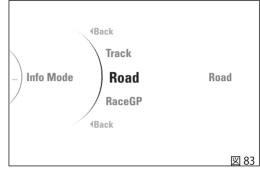
SETTING MENU - Riding Mode - Info Mode この機能では各ライディングモードと連動するメインスクリーンの表示モードを選択することができます。ライディングモード "Race A"、"Race B"、"Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Info Mode"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択 し、ENTER ボタンを押します。
- "Info Mode"を選択し、ENTERボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイにパーソナライズ可能な 設定 "Track"、"Road"、"RaceGP" (アクセサリー) が表



示され、右側に現在設定されているモードが表示され ます。

設定されているモードがデフォルトモードと異なる場合は、選択可能な項目の中に "Default" が表示されます。この項目を選択すると、選択しているライディングモードに Ducati 初期設定モードが設定されます。 "表示モード (Info Mode)" の章をご覧ください。 ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタンを押して決定します。

SETTING MENU - Riding Mode - DES

ライディングモード "Race A"、"Race B"、 "Sport" の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタ ンを押します。
- "DES"を選択し、ENTERボタンを押します。

ライディングモード Custom 1~5 の場合:

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモード Custom を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Edit Parameters" (パラメーターの編集) を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "DES"を選択し、ENTERボタンを押します。

機能に入ると、ディスプレイ左側にパーソナライズ可能な設定 ("Fixed Suspension"、"Dynamic Suspension") が表示され、右側に現在設定されている値が表示されます。



ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタンを押して決定します。

Fixed Suspension

Fixed Suspension モードでは、クリック固定エレクトロニックサスペンションのコンプレッションダンピングとリバウンドダンピングのレベルを設定することができます。

前のメニューから "Fixed Suspension" を選択し、ENTER ボタンを押します。

"Activate fixed Suspension" (Fixed Suspension を起動 する) と "Custom Fixed Suspension" (カスタム Fixed Suspension) が表示されます。

ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタンを押して決定します。

Fixed Suspension – Activate fixed Suspension この機能を選択して ENTER ボタンを押すと、Fixed Suspension に関連する全パラメーターが Ducati 初期設定に戻ります。



図 85

Fixed Suspension – Custom fixed Suspension この機能に入ると、以下の項目が表示されます。

- "Front Compression"
- "Front Rebound"
- "Rear Compression"
- "Rear Rebound"
- "Steering Damper"

ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタンを押して該当するメニューに入ります。

各メニュー内には次の項目が表示されます(図87)。

- 左側にはパーソナライズ可能な全レベル
- 中央には、介入する部分を青色でハイライトした バイクの図と参照インジケーター
- 右側には現在の設定レベル。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンで決定します。

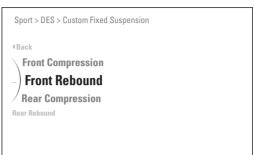
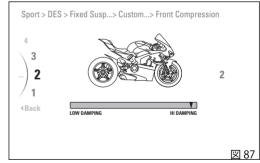


図 86



重要 Steering Damper のデフォルト設定は、選択し たライディングモードに最適な車両の挙動を確保でき るように最適化されています。

Steering Damper のダンピングを上げすぎると、車両 のダイナミック挙動に影響を与える可能性がありま す。

特に、レベル8以下のレベルの使用は、熟練ユーザー がサーキット走行で使用する場合にのみ推奨されま す。この場合は、レベルを順番に選択し(レベル8か らスタート)、一つずつレベルを試してください。

Dynamic Suspension

Dýnamic Suspension モードでは、様々な条件下においてコントロールユニットがエレクトロニックサスペンションに介入する頻度を設定することができます。前のメニュー(図 84) から "Dynamic Suspension" を選択し、ENTER ボタンを押します。

"Activate Dynamic Suspension" (Dynamic Suspension を起動する) と "Custom Dynamic Suspension" (カスタム Dynamic Suspension) が表示 されます。

ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタン を押して決定します。

Dynamic Suspension – Activate Dynamic Suspension

この機能を選択してENTERボタンを押すと、Dynamic Suspension に関連する全パラメーターが Ducati 初期 設定に戻ります。

Sport > DES > Dynamic Suspension

*Back
Activate Dynamic Suspension
Custom Dynamic Suspension
*Back

図 88

Dynamic Suspension – Custom Dynamic Suspension

この機能に入ると、以下の項目が表示されます。

- Brake Support
- Front Fork
- Shock Absorber
- Steering Damping
- Acceleration
- Mid Corner

ブラウズボタンで希望の項目を選択し、ENTERボタン を押して該当するメニューに入ります。

各メニュー内には次の項目が表示されます(図90)。

- 左側にはパーソナライズ可能な全レベル
- 中央には、介入する部分を青色でハイライトした バイクの図と参照インジケーター
- 右側には現在の設定レベル。

ブラウズボタンで希望のレベルを選択し、ENTERボタンで決定します。

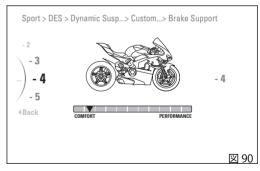
各パラメーターレベルを変更することで、車両の動的 条件に応じて、システムによるサスペンションの動的 な自動調整の効果を増減することができます。

Brake Support

ブレーキサポートパラメーターを調整することで、制動時のピッチング抵抗を増大 (PERFORMANCE) または



図 89



軽減(COMFORT) することができます。レベルを上げると、フォークがより制御された方法でゆっくりと沈みます。レベルを下げると、沈む速度が速くなります。

Front Fork (フロントフォーク) および Shock Absorber (ショックアブソーバー) パラメーターフロントフォークとショックアブソーバーのパラメーターを調整することで、各コンポーメント全体の減衰量を増加 (+) または減少 (-) することができます。

Steering Damping (ステアリングダンピング) パラメーター

このパラメーターを調整すると、ステアリング全体の 減衰量を増減することができます。パラメーターを HANDLINGに近づけると、ステアリングダンピングが 小さくなり、より軽いライディングが可能になりま す。パラメーターを STABILITY に近づけると、振動に 対する抵抗が大きくなります。

Acceleration (加速) パラメーター

加速パラメーターを調整することで、急な加速時のグリップと安定性をライダーの好みで設定することができます。パラメーターを GRIP 寄りに設定すると、後輪のトラクションを高めて最大の接地面を確保するようにシステムが最適化されます。パラメーターを

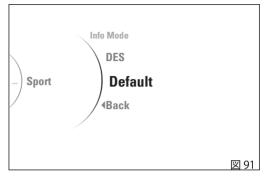
STABILITY 寄りに設定すると、フレームの振動を和ら げます。

Mid Corner (ミッドコーナー) パラメーターミッドコーナーパラメーターを調整することで、コーナー途中のグリップと安定性をライダーの好みに設定することができます。パラメーターを GRIP 寄りに設定すると、最大の接地面を確保するようにシステムが最適化されます。パラメーターを STABILITY 寄りに設定すると、フレームの振動を和らげます。

SETTING MENU - Riding Mode - Default

この機能では、ひとつのライディングモードの全パラメーターを初期設定値に回復することができます。工場出荷時の初期設定値から、ひとつ以上のパラメーター値が変更されている場合にのみ表示されます。

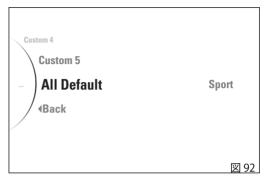
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- 目的のライディングモードを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Default" を選択し、ENTER ボタンを押して、すべてのパラメーターを初期設定値に戻します。



SETTING MENU - Riding Mode - All Default

この機能では、すべてのライディングモードの全パラメーターを初期設定値に回復することができます。工場出荷時の初期設定値から、ひとつ以上のライディングモードでパラメーター値が変更されている場合にのみ表示されます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Riding Mode" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "All Default" を選択し、ENTER ボタンを押して、 すべてのパラメーターを初期設定値に戻します。



SETTING MENU - Pin Code

この機能でPIN CODE の有効化または変更を行います。 PIN CODE は最初車両に登録されていませんので、ユーザーが4桁のPINをインストルパネルに入力して有効にします。これを行わないと、不具合が生じた場合に車両を一時起動することができません。 不具合が生じた際に車両を一時的に起動するには、"PIN CODE による車両の解除"の手順に従います。

PINCODEの登録および保存は、車両の所有者が行います。PINCODEがすでに登録されている場合は、Ducati 正規ディーラーに PIN CODEのリセットをで依頼ください。その際 Ducati 正規ディーラーは、車両の

「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。

所有者確認をさせていただくことがあります。

- ブラウズボタンで"Pin Code"を選択し、ENTERボ タンを押します。

これまでにPIN CODE が登録されたことがない場合は、 メニュー内に "New Pin" と表示され、PIN CODE の登録を行えます。PIN CODE がすでに登録されている場合は、メニュー内に "Modify Pin" と表示され、保存されている PIN CODE を変更することができます。

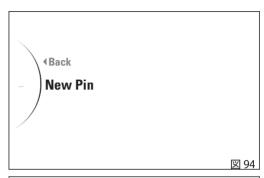


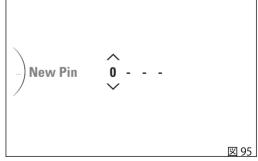
New Pin

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- "Pin Code" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "New Pin" を選択し、ENTER ボタンを押します。

画面に "New Pin" の表示と、新規 PIN CODE を入力する 4 桁のスペースが表示されます (図 95)。 1 桁目の数値の上下に 2 つの矢印が表示され、設定が可能であることを示します。 コードの入力:

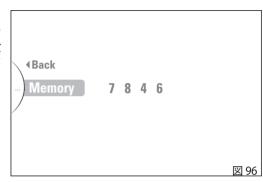
- UPボタン、DOWNボタンを押すと、数字が"0"~ "9" の間で 1 ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。





4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、 "Memory" の文字がオレンジ色で表示されます。もう 一度 ENTER ボタンを押して、入力したコードを保存し ます。 "Memorized" の表示が緑色で 2 秒間表示されま

画面は PIN CODE 機能の最初のメニューに戻り、"New Pin" の代わりに "Modify Pin" が表示されます。



Modify Pin

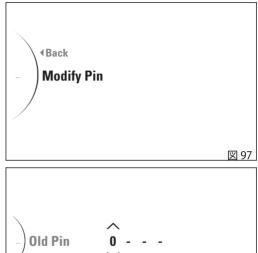
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- "Pin Code" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Modify Pin" を選択し、ENTER ボタンを押しま す。

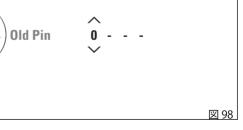
画面に "Old Pin" の表示と、旧 PIN CODE を入力する 4 桁のスペースが表示されます (図 95)。1 桁目の数値の上下に 2 つの矢印が表示され、設定が可能であることを示します。コードの入力:

- UP ボタン、DOWN ボタンを押すと、数字が "0"~ "9" の間で 1 ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、以下のようになります。

- PIN CODE が正しくない場合、インストルメント パネルは "Wrong" を赤色で 2 秒間強調表示しま す。その後、前の画面に戻り、もう一度コードを 入力することができます。
- PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "Correct" を 2 秒間表示し、その後新しいPIN CODE の入力画面に進みます。この場合は、





"New Pin" の項を参照して新規コードを入力して ください。

SETTING MENU - Lap

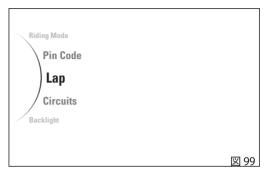
この機能で LAP (ラップタイム) の起動/解除、記録されているラップタイムの閲覧と消去が可能です。

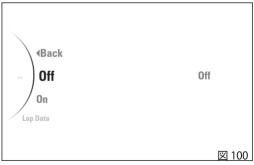
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタン を押します。

このメニューに入ると、画面右側に機能の現在の状態 が表示され、左側に次の項目が表示されます。

- "Off": LAP 機能を解除します。
- "On":LAP 機能を起動します。
- "Lap Data":記録されているラップを表示します。
- "Erase All":全ラップ記録を消去します(ラップ記録が存在する場合にのみ表示)。

ブラウズボタンを使用して希望する表示を選択し、 ENTER ボタンを押して機能を有効にします。 車両に GPS EVO が搭載されているかどうかで、"Lap Data" 機能の記録ラップの表示が LAP BASIC モードか LAP EVO モードのいずれかで表示されます。 車両の起動時、Lap 機能は常に "Off" に設定されます。





Lap Data (LAP BASIC モード)

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタン を押します。
- "Lap Data"を選択し、ENTER ボタンを押します。

この機能に入ると、"Best Laps" と 1~60 までの利用可能なラップが表示されます。

ブラウズボタンを使用して、記録ラップをスクロール することができます。

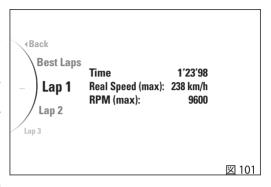
各記録ラップごとに表示されるデータ:

- "Time" ラップタイム (最大タイム 8'59"00)
- "Real Speed (max)" ラップ中に到達した最高実ス ピードと設定単位
- "RPM (max)" ラップ中に到達した最高エンジン回 転数

"Best Laps"を選択すると、記録ラップ中のベストラップのデータが表示されます。

ラップ記録が存在しない場合は、メニューに入ると "No Lap" と表示されます。

ラップを記録するには、"ラップタイム (Lap)" の章を参 照してください。



Lap Data (LAP EVO $\pm - \parallel$)

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタン を押します。
- "Lap Data" を選択し、ENTER ボタンを押します。

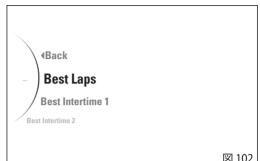
この機能に入ると、"Best Laps"、"Best Intertime 1"、 "Best Intertime 2"と記録されているセッション (最大 6) が表示されます。

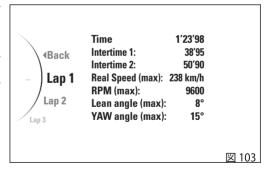
セッション内の記録ラップを表示するには、表示したいセッションを選択し、ENTER ボタンを押します。 選択したセッション内に記録されている全ラップが表示されます(図 103)。

ブラウズボタンを使用して、記録ラップをスクロール することができます。

各記録ラップごとに表示されるデータ:

- "Time" ラップタイム (最大タイム 8'59"00)
- "Intertime 1" 第1中間点が設定されている場合 (最大タイム 8'59"00)
- "Intertime 2" 第 2 中間点が設定されている場合 (最大タイム 8'59"00)
- "Real Speed (max)" 最高実スピードと設定単位 (GPS EVO が検出したスピード)
- "RPM (max)" 最高エンジン回転数
- "Lean angle (max)" 最大リーン角
- "YAW angle (max)" 最大ヨー角





の参考

● 6 セッションあわせて最大 60 ラップまで記録することができます。

ラップ記録が存在しない場合は、メニューに入ると "No Lap" と表示されます。

中間タイムとラップ/セッション記録を設定するには、 "ラップタイム (Lap)" の章を参照してください。

Best Laps (LAP EVO のみ):

"Best Laps" を選択すると (図 102)、各セッション内に 記録されたベストラップのデータが表示されます。

Best Intertime 1、Best Intertime 2 (LAP EVO の み):

"Best Intertime 1" または "Best Intertime 2" を選択すると (図 102)、中間タイム 1 または中間タイム 2 の各セッションで記録されたベストタイムに関するデータが表示されます。

セッションおよびサーキットの管理(LAP EVO の み):

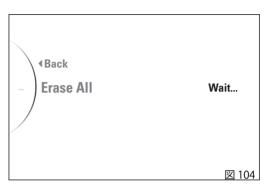
先にサーキットを有効にしてからラップタイムを記録すると ("SETTING MENU - Circuits" を参照)、セッション名が設定したサーキット名に置き換わります。
"Lap Data" 機能内では、該当する "Best Laps"、"Best Intertime 1"、"Best Intertime 2" と記録ラップが表示

されます。また、セッション名の代わりにサーキット名が表示されます。

Frase All

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Lap"を選択し、ENTERボタン を押します。
- "Erase All" を選択し、ENTER ボタンを押します。

この機能に入ると、"Erase All" が表示されます。全ラップ記録を消去するには、この項目を選択し、ENTER ボタンを 2 秒間長押しします。次に、右側に "Wait…" の文字が 3 秒間表示され、その後前のメニュー画面に戻ります。



SETTING MENU - Circuits

この機能から、選択したサーキットを起動したり、パラメーター(サーキット名、フィニッシュラインと中間タイムのGPS 座標)を変更したりすることができます。保存されているサーキット名と座標は、タイムを記録するためにインストルメントパネルから管理することができます。"ラップタイム(Lap)"の章を参照してください。

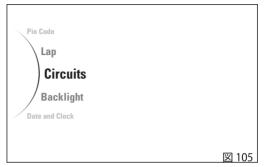
最大5つのサーキットまで管理することができます。

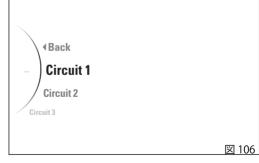
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Circuits" を選択し、ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Circuit 1"、...、"Circuit 5"、"Default" (キャリブレーションが初期設定値と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。

目的のサーキットを選択し、ENTERボタンを押してカスタマイズします。

すべてのサーキットのパラメーターを回復するには、 "All Default" を選択し、ENTER ボタンを押します。





選択したサーキットの管理

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Circuits" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 目的のサーキットを選択し、ENTERボタンを押します。

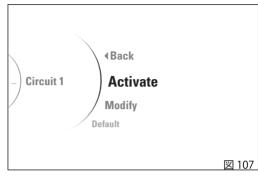
メニューに入ると、起動しているサーキットがない場合は "Activate" (起動する) が表示されます。現在サーキットが起動している場合は、"Deactivate" (停止する) が表示されます。また、"Modify" (編集する)、"Default" (サーキットがカスタマイズされている場合のみ表示) の文字も表示されます。サーキットのパラメーターを回復するには、"Default"を選択して、ENTER ボタンを押します。

サーキットの起動と停止

サーキットを起動すると、インストルメントパネルに記録され、ラップ記録に使用するフィニッシュライン、中間タイム 1、中間タイム 2の座標を復元することができます。"ラップタイム (Lap)"の章を参照してください。

サーキットを起動するには、"Activate" (起動する) を 選択して、ENTER ボタンを押します。

"Wait.." の文字が数秒間表示され、続いてサーキットの状態が更新されます。



サーキットを停止するには、"Deactivate" (停止する) を選択して、ENTER ボタンを押します。

"Wait.."の文字が数秒間表示され、続いてサーキットの状態が更新されます。

サーキットの編集

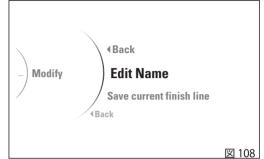
サーキットの編集では、サーキット名の編集やフィニッシュラインと中間タイムの座標の設定が可能です。

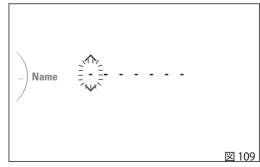
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Circuits" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 目的のサーキットを選択し、ENTERボタンを押します。
- "Modify" (編集する) を選択し、ENTER ボタンを押 します。

"Edit Name" (名前の編集) と "Save current finish line" (現在のフィニッシュラインを保存する) の項目が表示されます。フィニッシュラインの座標が設定されていない場合は、"Save current finish line" の代わりに "Finish line not defined" (フィニッシュラインが設定されていません) が表示されます。

サーキット名の設定:

"Edit Name"を選択し、ENTER ボタンを押してサーキット名の編集にアクセスします (図 109)。 サーキット名は最大 7 文字まで設定できます。 UP ボタンと DOWN ボタンで選択する文字をスクロールできます。ENTER ボタンを押して文字を決定して、次の文字に移動します。





最後の文字を設定してから ENTER ボタンを押すと、画面左側に "Memory" (保存) が表示されます。

ENTER ボタンを 2 秒間押すと、サーキット名が保存され、"Memorized" (保存されました) の文字が 3 秒間表示されます。

その後、インストルメントパネルは前のメニューに戻ります。



▼ ラップ記録中、セッション名の代わりにサーキット名が使用されます。

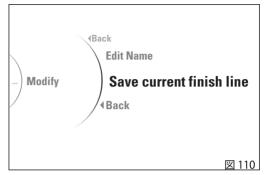
の参考

→ 1番目の文字が大文字で入力され、それ以外は小文字で入力されます。

フィニッシュラインと中間タイムの座標の記録

この機能では、現在設定されているフィニッシュラインと中間タイムのGPS座標を、選択したサーキットに関連付けることができます。"ラップタイム(LAP)"の章を参照してください。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。
- ブラウズボタンで "Circuits" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- 目的のサーキットを選択し、ENTERボタンを押します。



- "Modify" (編集する) を選択し、ENTER ボタンを押します。

フィニッシュラインの座標が GPS によって記録されている場合は、"Save current finish line" (現在のフィニッシュラインを保存する) が表示され、選択できます。フィニッシュラインの座標が記録されていない場合は、"Finish line not present" (フィニッシュラインが存在しません) の文字がグレーで表示され、選択することはできません。

"Save current finish line" を選択してから、ENTERボタンを押します。インストルメントパネルには "Wait" の

文字と、続いて "OK" の文字が数秒間表示され、その 後前の画面に戻ります。 エラーが発生した場合は "Error" の文字が 2 秒間表示され、その後前の画面に戻ります。

SETTING MENU - Backlight

この機能からディスプレイを Day モードまたは Night モードに設定できます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Backlight"を選択し、ENTER ボタンを押します。

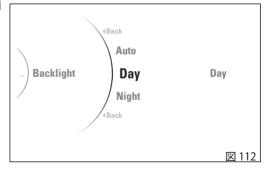
メニュー内には "Auto"、"Day"、"Night" の項目が表示され、右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

- "Auto" (デフォルト設定) モードは、周囲の明るさ に応じて自動で背景色を設定します。
- 背景をホワイトに設定する"Day"モードは、周囲が十分に明るい場合に推奨されます。
- 背景をブラックに設定する"Night"モードは、周囲が暗い場合に推奨されます。

の参考

✓ バッテリーの接続を切り離した場合には、バックライトは "Auto" モードに設定されます。





SETTING MENU - Date and Clock

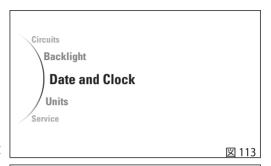
この機能で日時を設定します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Date"、"Clock" の項目が表示され、中央に現在設定されている日時が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

の参考

日時が一度も設定されたことがない場合は、数値の代わりに点線 "-" が表示されます。 バッテリーの接続を切り離した場合は、新たに日時を設定する必要があります。

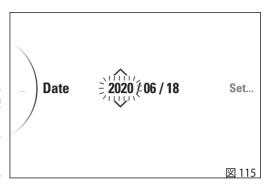




Date (日付の設定)

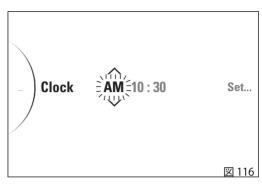
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Date"を選択し、ENTERボタンを押します。
- 右側に "Set..." の文字が表示され、中央の「年」が 点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使 用して「年」を設定します。
- ENTER ボタンを押して「年」を決定します。
- 「月」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボ タンを使用して「月」を設定します。
- ENTER ボタンを押して「月」を決定します。
- 「日」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボ タンを使用して「日」を設定します。
- ENTERボタンを押して、設定した日付を保存します。

日付が正しくない場合、インストルメントパネルは "Wrong" を 3 秒間表示した後、「年」の入力に戻ります。もう一度日付を設定してください。



Clock (時刻の設定)

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Date and Clock" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Clock"を選択し、ENTERボタンを押します。
- 右側に "Set..." の文字が表示され、中央の "AM" または "PM" が点滅します。 UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用してパラメーターを設定します。
- ENTER ボタンを押して決定します。
- · 「時」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して「時」を設定します。
- ENTER ボタンを押して決定します。
- 「分」が点滅します。UP ボタンまたは DOWN ボタンを使用して「分」を設定します。
- ENTERボタンを押して、設定した時刻を保存しま す。



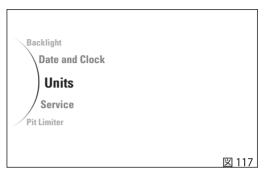
SETTING MENU - Units

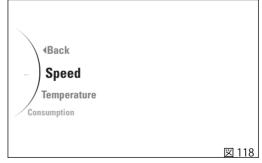
この機能はインストルメントパネルの表示単位を設定 します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- メニュー内には次の項目が表示されます。 "Speed"、"Temperature"、"Consumption"、"All Default" (ひとつ以上のパラメーターが初期設定値 と異なる場合のみ表示されます)
- 目的の項目を選択し、ENTERボタンを押します。

参考

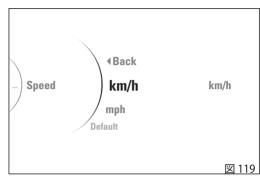
温度以外の単位を変更すると、TRIP 1、TRIP 2、
CONS. AVG 1、SPEED AVG 1、TRIP TIME 1 の各機能が
自動的にリセットされます。





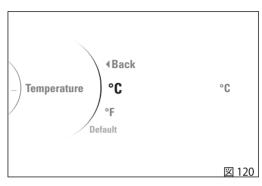
Speed

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Speed"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "km/h"、"mph"、"Default" (現在設定されている 単位が初期設定単位と異なる場合にのみ表示され ます) が表示されます。画面の右側には現在設定 されている単位が表示されます。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。



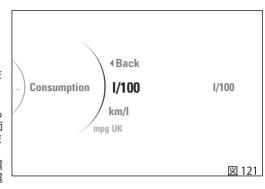
Temperature

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Units" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Temperature"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "° C"、"° F"、"Default" (現在設定されている単位 が初期設定単位と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。画面の右側には現在設定されて いる単位が表示されます。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。



Consumption

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Consumption" を選択し、 ENTER ボタンを押します。
- "Temperature"を選択し、ENTERボタンを押します。
- "I/100"、"km/l"、"mpg UK"、"mpg US"、"Default" (現在設定されている単位が初期設定単位と異なる 場合にのみ表示されます) が表示されます。画面 の右側には現在設定されている単位が表示されま す。
- ブラウズボタンを使用して、変更したい単位を選択するか、初期設定の単位に戻す "Default" を選択します。
- ENTER ボタンを押して決定します。



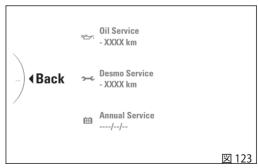
SETTING MENU - Service

この機能で今後のサービス情報を表示します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Service" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- ディスプレイには、以下のサービスに関する情報 が表示されます。
 - Oil Service (残りの走行距離)
 - Desmo Service (残りの走行距離)
 - Annual Service (日付)

この機能については変更は一切できません。ENTERボタンを押して終了します。





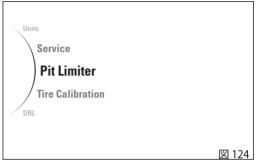
SETTING MENU - Pit Limiter

この機能からピットレーンスピードリミッターの速度 を設定することができます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Pit Limiter" を選択し、ENTER ボタンを押します。

機能に入ると、インストルメントパネルの右側に前回 設定した制限速度が表示され、左側に "Set" が表示されます。

"Set" を選択し、ENTER ボタンを押します。

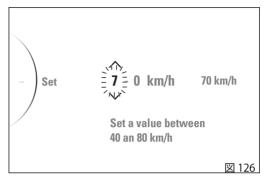




インストルメントパネル中央に設定できる速度の 1 桁目と、速度範囲 "Set a value between 40 and 80 km/h" ("Set a value between 25 mph and 50 mph") (40~80 km/h (25~50 mph) の間の数値を設定してください) が表示されます。数値の上下に 2 つの矢印が表示され、設定が可能であることを示します。次の桁に移るまで、入力中の数字が点滅します。UP ボタンとDOWN ボタンを使用して、希望の数値を設定します。ENTER ボタンを押して、次の桁に移動します。

2 桁目を決定すると、インストルメントパネルに "Wait…"の文字が2秒間表示され、続いて"Correct"の 文字が3秒間表示されます。その後、設定速度値が更 新された前の画面に戻ります。

入力された速度が正しくない場合は、"Wait..." の表示の後に "Wrong" の文字が表示されます。その後、インストルメントパネルは速度値を更新せずに前の画面に戻ります。



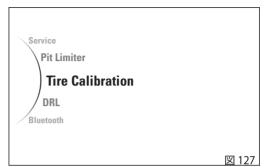
SETTING MENU - Tire Calibration

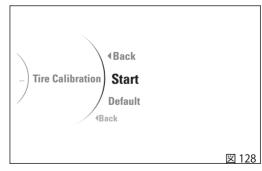
この機能でタイヤの円周長と最終減速比のキャリブレーションおよび自己学習の手順を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Start"、"Default" (キャリブレーションが初期設定値と異なる場合にのみ表示されます) が表示されます。

目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。





Start

- 「SETTING MENU」(設定メニュー)に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Start"を選択し、ENTERボタンを押します。

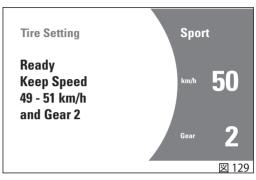
キャリブレーションプロセスを起動すると、インストルメントパネルには "Ready" の文字が点滅し、"Keep Speed" の文字が表示されます。加えて、自己学習を正常に完了するために維持するべき速度範囲とギアが表示されます。右側には参照しているライディングモード、実速度、ギアが表示されます。

▲ 重要

走行速度 49 Km/h (30 mph) ~ 51 Km/h (32 mph) を維持し、ギアを 2 速に入れた状態においてのみ自己学習プロセスを実施することができます。

速度とギアが指定の状態になると、システムのキャリブレーションが開始されます。上記すべての情報が表示され、"Ready"の代わりに "In progress" が表示されます。 スピードとギアが指定のパラメーターに5秒間維持された時にキャリブレーションが実行されます。

キャリブレーション手順を中止するには、UPボタンを2秒間長押しします。この場合は、インストルメントパネルに上記の全情報が表示され、"In progress"の

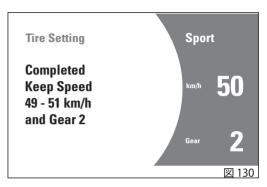


文字が "Aborted" の文字に変わります。そして数秒後 に前のメニュー画面に戻ります。 自己学習プロセスが正常に終了すると、インストルメントパネルに"Completed"の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。

ユーザーがキャリブレーションを中止した場合は、インストルメントパネルに "Aborted" の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。一方、キャリブレーションプロセスの途中でエラーや不具合が検出された場合は、インストルメントパネルに "Failed" の文字が表示され、数秒後に前のメニュー画面に戻ります。

一参考

***・リブレーションプロセスの途中で走行速度が 100 km/h (62 mph) を超えるか、もしくは車両をオフにすると、キャリブレーションは中断されます。





■最終減速比の自己学習プロセスは、下表の範囲内での最終減速比の変動が想定されています。

入警告

▼≛ 最終減速比の変更は、クローズドサーキットで車両を使用する場合に限り許可されるものです。公道走行には使用できません。

入警告

最終減速比の変更は保証を受ける権利の即時失効を伴い、保安基準適合バージョンに相当しなくなることから公道走行には使用できません。

最終減速比		リアスプロケット							
		38	39	40	41	42	43	44	45
フロント スプロケ ット	15	2.53	2.60	2.67	2.73	2.80	2.87	2.93	3.00
	16	2.38	2.44	2.50	2.56	2.63	2.69	2.75	2.81
	17	2.24	2.29	2.35	2.41	2.47	2.53	2.59	2.65

デフォルト

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Tire Calibration" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Default" を選択し、ENTER ボタンを押して初期 設定値に戻します。
- "Default Please Wait..." の文字が表示されてから、 "Default ok" の文字が 2 秒間表示され、前のメニュー画面に戻ります。

SETTING MENU - DRL

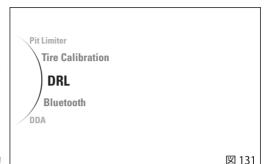
この機能では、DRLをオートモードかマニュアルモードに設定することができます。

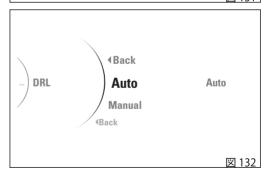
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"DRL"を選択し、ENTERボタン を押します。

メニュー内には "Auto"、"Manual" の項目が表示され、 右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

の参考

➤ バッテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。





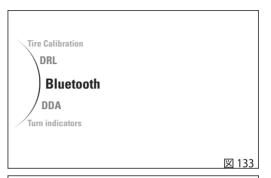
SETTING MENU - Bluetooth

この機能では、ペアリング済みのBluetooth デバイス の管理およびデバイスのペアリングが可能です。 Bluetooth モジュールが車両に搭載されている場合に のみ、この機能が表示されます。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。

メニュー内には、ペアリング済みデバイスの表示・削除を行う "Associated Devices" の項目と、新規にデバイスをペアリングする "Pairing" の項目が表示されます。

目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

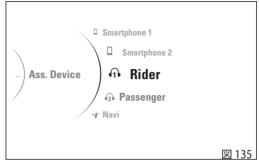


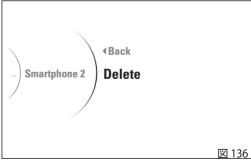


Associated Devices

ペアリング済みデバイスの表示と削除を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Associated Devices" を選択し、ENTER ボタンを 押します。
- ペアリング済みデバイスのリストが表示されま す。目的のデバイスを選択し、ENTERボタンを押 します。
- "Delete"の文字が表示されます。これを選択して ENTERボタンを押すと、選択したデバイスがリストから消去されます。
- 数秒間 "Wait..." の文字が表示され、その後前のメニュー画面に戻ります。





Pairing

新しい Bluetooth デバイスをペアリングします。 インストルメントパネルは、4種類の Bluetooth デバイスのペアリング/接続を最大5台まで管理します(スマートフォン2台、ライダーヘッドセット1台、パッセンジャーヘッドセット1台、ナビゲーター1台)。

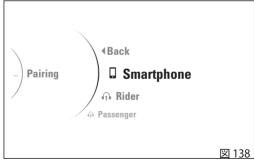
一参考

新規デバイスのペアリングを行う前に、デバイス側の Bluetooth が起動していること、また他の Bluetooth デバイスから検出可能になっていることを 確認してください。デバイス本体の取扱説明書を必ずよくお読みください。

○ ペアリング中に、デバイス(スマートフォンなど) 上で確認が求められる可能性があります。詳しくはデバイス本体の取扱説明書をで覧ください。

- 「SETTING MENU」 (設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Bluetooth" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Pairing" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- インストルメントパネルで管理される4種類のデバイスが表示されます。ペアリングするデバイス の種類を選択し、ENTER ボタンを押します。





- インストルメントパネルが周囲の Bluetooth デバイス検索を開始します。"Wait…" の文字が表示され、検出されたデバイスが表示されます。
- 検索が終了すると、検出された全デバイスがリスト表示されます。ブラウズボタンで希望のデバイスを選択し、ENTERボタンを押します。
- Bluetooth デバイス側の検証待ちの間、画面の右側に "Pairing…" の文字が表示されます。 ペアリングが正常に完了すると、インストルメントパネルは前のメニュー画面に戻ります。 "Pairing Error" の文字が表示された場合は、もう一度ペアリング手順を実行できます。

▲ 警告

▲ 以下のキットに付属しない Bluetooth 対応のナビゲーターは、ドゥカティマルチメディアシステムに正しく接続できない場合があります。

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

の参考

▲ 上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

▲ 警告

Bluetooth ヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります (スマートフォン、ヘッドセット)。

A 警告

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth 対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再牛を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号: 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していない スマートフォン ("Ducati キット 部品番号: 981029498" に付属するヘッドセットとペアリン グできる場合でも)

↑ **省古** 外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こっ た場合には、Ducatiキット(部品番号:981029498)で はライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメット への再生音楽の共有機能を使用することができます (詳しくは Ducati キット (部品番号: 981029498) に付 属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

■ Ducati キット (部品番号: 981029498) は、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお 求めいただけます。

SETTING MENU - DDA

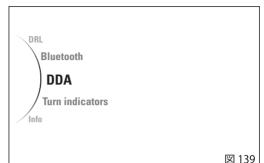
ここでは DDA 装置の起動および解除、メモリー占有率の表示、装置のメモリー削除を行うことができます。

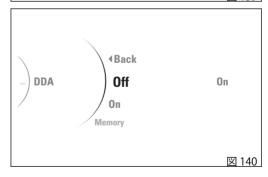
- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "DDA" を選択し、ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Off"、"On"、"Memory" の項目が表示され、右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

参考

★ Key-OFF する度に DDA システムはインストルメントパネルにより自動的に解除されます。





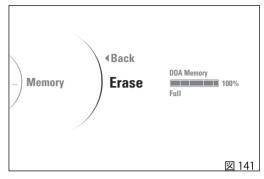
Memory

DDA が記録したデータの表示と削除を行います。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "DDA" を選択し、ENTER ボタンを押します。
- "Memory"を選択し、ENTER ボタンを押します。

記録が存在しない場合、機能に入ると "Empty"の文字が表示されます。そうでない場合は、メモリの状態を表すパーセンテージとバー、"Erase" の項目が表示されます。メモリが一杯の場合は、"Full" の文字が表示されます。

すべての記録データを消去する場合は、"Erase"を選択し、ENTER ボタンを押します。



SETTING MENU - Turn indicators

この機能では、ターンインジケーター操作を自動モードまたは手動モードに設定することができます。 ターンインジケーター自動解除ストラテジーは、リーン角度、走行速度、走行距離から算出されたデータを基にしています。

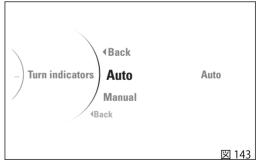
- 「SETTING MENU」 (設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで "Turn indicators" を選択し、 ENTER ボタンを押します。

メニュー内には "Auto"、"Manual" の項目が表示され、 右側に機能の現在の状態が表示されます。 目的の表示を選択し、ENTER ボタンを押します。

の参考

バッテリーの接続を切り離した場合には、自動的に "Auto" モードに設定されます。





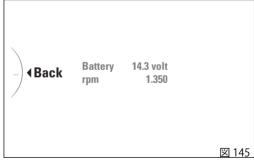
SETTING MENU - Info

この機能では車両のバッテリー電圧とデジタル表示の エンジン回転数を表示します。

- 「SETTING MENU」(設定メニュー) に入ります。
- ブラウズボタンで"Info"を選択し、ENTERボタン を押します。
- ディスプレイにバッテリーに関する情報とエンジン回転数がデジタル形式で表示されます。

この機能については変更は一切できません。ENTERボタンを押して終了します。





ラップタイム (LAP)

LAP 機能とラップタイム記録は、Info Mode Track と RaceGP でのみ表示されます。

GPSを搭載しているかどうかに応じて、車両には2通りの異なるラップが存在します。

- LAP BASIC、GPS が搭載されていないか、ベーシックバージョンの車両に搭載されている場合
- LAP EVO、車両に GPS EVO が搭載されている場合

どちらのLAPタイプでも、機能の起動時には以下のように表示されます。

- ストップウォッチの初期表示「0'00.00」
- LAP BASIC の場合、最初の表示 "Lap --/60" とラップ数
- LAP EVO の場合、最初の表示 "Session 1" と現在 のセッション数、および最初の表示 "Lap --/60" と ラップ数

GPS モジュールなしの LAP BASIC Info Mode Track での表示 (図 146) と Info Mode RaceGP での表示 (図 147)。

車両に GPS モジュールを搭載していない場合は、LAP 機能を起動してから、FLASHボタンを押してストップ ウォッチの作動と停止が可能です。

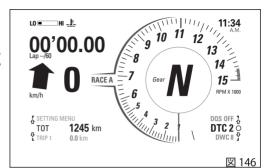
- FLASH ボタンを一回押すと、ストップウォッチと ラップ数 ("Lap 01") が 1 秒間点滅し、ストップウ ォッチが作動します。
- もう一度ボタンを押すと、直前に記録されたタイ ムとラップが1秒間点滅し、5秒間表示されます。 その後、進行中のタイム測定とラップカウントに 戻ります。

それぞれの記録されたラップで以下の情報が記録され ます。

- ラップタイム
- 最高スピード
- 最高エンジン回転数

最大60ラップまで記録することができます。

◆考 新しいラップが記録されてから 5 秒以内に FLASH ボタンを押しても、何も起こりません。



RACE A 0'00.000 DTC 2 DSC 4 DWC 8 EBC 3 図 147

GPS モジュール搭載 LAP BASIC

車両にGPS モジュールを搭載している場合は、LAP機能を起動すると、ストップストップウォッチの作動と停止はインストルメントパネルによって自動管理されます。

Info Mode Track での表示 (図 148) と Info Mode RaceGP での表示 (図 149)。

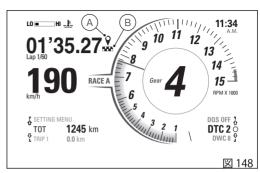
画面にはストップウォッチとラップカウントに加えて、GPS マーク (A) が現れます。

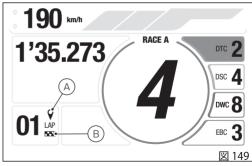
一周目のスタート時に FLASH ボタンを押すと、ストップウォッチがスタートします。ストップウォッチとラップ数 ("Lap 01") が 1 秒間点滅します。同時に、GPS コントロールユニットを介してフィニッシュライン位置が保存され、マーク (B) が現れます。これ以降のすべてのラップはインストルメントパネルによって記録され、ストップウォッチ機能を Start / Stop するのに FLASH ボタンは必要ありません。

フィニッシュラインを通過するたびに、直前に記録されたタイムとラップが1秒間点滅し、5秒間表示されます。その後、進行中のタイム測定とラップカウントに戻ります。

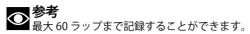
それぞれの記録されたラップで以下の情報が記録されます。

- ラップタイム
- 最高スピード





- 最高エンジン回転数



LAP EVO

車両に GPS EVO モジュールが搭載されている場合は、 LAP EVO 機能が有効になります。 画面にはストップウォッチとラップカウントに加えて、 GPS マーク (A) が現れます。

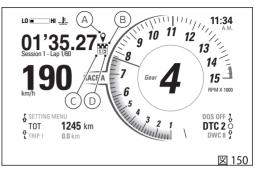
Info Mode Track での表示 (図 150) と Info Mode RaceGP での表示 (図 151)。

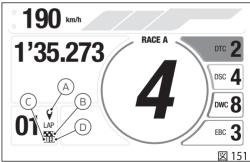
LAP BASIC とは異なり、LAP EVO ではフィニッシュ地点と2つの中間地点を登録することができます。フィニッシュラインと中間タイム地点の座標を設定した後は、GPS がラップ管理を行います。

フィニッシュラインと中間タイム地点の座標設定は、次のように行います。

- 車両をフィニッシュライン地点に配置し、FLASH ボタンを押して座標を保存すると、マーク (B) が 表示されます。
- 車両を第一中間タイム地点に配置し、FLASHボタンを押して座標を保存すると、マーク(C)が表示されます。
- 車両を第二中間タイム地点に配置し、FLASHボタンを押して座標を保存すると、マーク(D)が表示されます。

設定した座標は Key-OFF 後も保存されます。





いずれかの地点座標を変更するには、上記の記録手順をフィニッシュライン-中間タイム1-中間タイム2の順に繰り返す必要があります。

記録した座標から 15 km 以上遠ざかると、インストルメントパネルが自動的に座標を削除します。

LAP EVO では、6 セッションあわせて最大 60 ラップ まで記録することができます

Key-ON のたびに、LAP 機能を起動すると、インストルメントパネルが新セッションを有効にします。セッション6に達した後に Key-ON すると、インストルメントパネルはセッション6に続けてラップを記録します。

その後 60 ラップに達すると、"FULL" の文字が表示されます。

記録されたセッションとラップを消去するには、 "SETTING MENU - Lap" の章を参照してください。 LAP EVO 機能では、各ラップタイムごとに以下のパラ メーターを保存できます。

- ラップタイム
- 中間タイム 1
- 中間タイム2
- GPS EVO が検出した最高スピード
- 最高回転数
- 最大リーン角
- 最大ヨー角

サーキットの管理:

章を参照してください。

SETTING MENU 内の "Circuits" 機能を使用して、サーキットを有効にすることができます。セッション名がサーキットに設定した名前に代わりに、サーキット名でラップタイムの記録ができるようになります。 "Lap Data" 機能を使用して記録したタイムを確認することができます。詳しくは、"SETTING MENU - Lap" の

サーキットでとに、GPS が検出したフィニッシュラインと中間タイムを記録することができます。このモードでは、目的のサーキットを有効にするだけで、記録されているフィニッシュラインを回復することができます。

サーキットの管理については、"SETTING MENU – Circuits" の章を参照してください。

以下の注記はすべてのタイプの LAP でも有効です。

②参考

第1ラップ記録を開始してから5秒が経過しても 車両速度がゼロである場合は、インストルメントパネ ルが記録を中止し、ストップウォッチがリセットされ ます。

〇 参考

→ ラップタイム記録中に車両をオフにした場合、または車両速度が 5 km/h (3 mph) を下回った場合は、インストルメントパネルが記録を中止し、ストップウォッチが自動的にリセットされます。

一参考

新しいラップタイムが記録されるたびに、保存されている以前のラップタイムを上回っている場合は、ストップウォッチが6秒間点滅します。それ以外の場合、ストップウォッチは1秒間高速で点滅します。ベストラップの算出は、2ラップ以上記録されている場合に行われます。

〇 参考

■ Info Mode RaceGP では、新たにラップを記録する度に、ストップウォッチの下に直前ラップとのタイム差が表示されます。

今参考

LAP 機能が起動している場合、インストルメントパネルはその状態を Key-OFF 時に保存します。ラップタイム記録中に Key-OFF が行われると、次回の Key-ON 時にインストルメントパネルはストップウォッチを停止してリセットします。

の参考

Partenza controllata (DPL)

この機能は、ドゥカティパワーローンチ (DPL - Ducati Power Launch) 機能を起動します。

DPLボタンを押して、ローンチコントロールメニュー に入ります。この操作は走行速度が 5 km/h (3 mph) 以下の場合にのみ有効です。

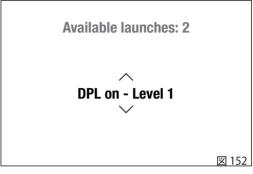
ローンチコントロールメニュー内では、UP および DOWN ボタンを使用して好みの DPL レベル (1、2、3) を選択することができます。一方、ENTER ボタンを 2 秒間長押しすると、選択したレベルが設定されます。

○ ^{参考}

■ このメニュー内で 10 秒間変更が行われなければ、インストルメントパネルは DPL を OFF に設定し、前の画面に戻ります。

の参考

→ DPL メニューに入った時にインストルメントパネルがコントロールユニットのエラーを検出した場合、その時点で起動している表示に関係なく "Launch Control Error" の文字が 3 秒間点滅し、その後メイン画面に戻ります。



の参考

■ 利用可能なローンチがない場合、"No launches available" が画面に表示されます。

DPL レベルが設定されると、待機画面(A)が2秒間表示されます。待機画面の表示中にENTERボタンを押すと待機フェーズが中断され、インストルメントパネルはメイン画面に戻ります。この場合、DPLはOFFに設定されます。

続いて、Info Mode Track では (B) モード、Info Mode RaceGP (アクセサリー) では (C) モードの「ローンチコントロール」画面が表示されます。

ローンチコントロールが終了するとインストルメント パネルは DPLを OFF に設定し、"メインスクリーン" に 戻ります。

ドゥカティ社の DPL 初期設定は OFF に設定されています。

DTC が "Off" に設定されている場合に DPL ボタンを押すと、インストルメントパネルには "DTC off DPL not available" が 5 秒間表示され、その後メイン画面に戻ります。

Launch Waiting...

Pull the clutch
Engage 1st gear
Open Full Throttle

Ready to launch

Gradually release the clutch and start



図 153

ドゥカティパワーローンチ (DPL) システムは、車両の出力を制御することを目的として、停止状態からの急発進時にライダーの微妙な操縦を可能にしてくれます。

DPLシステムは3つの介入レベルを基に機能します。各レベルでスタート時のアシストに対して異なる値が設定されています。

下表は、発進時の運転タイプに適したDPL介入レベルを示します。すべてのレベルは標準装備のOEMタイヤに合わせて最適化されています。

DPL レベル	パフォーマンス	用途
1	High	非常に熟練したライダー向けに最大のパフォーマンスを発揮。システムはウィリーおよびリアホイールのスリップを可能にしますが、これらの現象発生時の速度を抑えます。
2	Medium	熟練ライダー向け。システムはウィリーおよびリアホイールのスリップ傾向を軽減するだけでなく、これらの現象が発生した場合には 大幅な介入を行います。
3	Medium	すべてのライダー向け。システムはウィリーおよびリアホイールの スリップ傾向を最小限に抑えるだけでなく、これらの現象が発生し た場合には継続的に介入を行います。

▲ 警告

DPLシステムは、路面のグリップが良好な状態の 直線および平坦なルートでのみ使用してください。 DPLシステムは整備された環境またはクローズドサー キット内での使用を考慮しています。このため、安全 上の理由から不適切な場所での使用はしないでください。

発進方法

発進操作は、主に次の二段階に分けられます。

- 第一段階は、クラッチを完全に放していない状態。この状態で地面に伝達されるトルクは、クラッチの位置および滑りに依存します。

- 第二段階は、クラッチを完全に放した状態。この 状態において地面に伝達されるトルクは、エンジンが出力するトルクに依存します。

DPLシステムは停止状態からの発進時の第一段階にエンジンから出力されるトルクを自動的に調整してライダーをサポートする補助システムです。発進時の理想のエンジン回転数を維持することで、ライダーは急激なクラッチ操作ではなく、均一でソフトなクラッチ操作が可能になります。エンジントルクは第二段階においても調整されます。これにより、最大の出力を確保しながらウィリーおよびリアホイールのスリップを制限します。

クラッチの損傷を避けるため、DPLシステムは連続して実行可能な発進回数をリアルタイムで算定し、インストルメントパネルの専用メニューに表示します。発進完了ごとにカウントが1減少します。DPLシステムでは、車両の走行距離およびエンジン稼動/停止状態で経過した時間に応じてカウントが1増加します。発進可能回数がゼロでない限り、ローンチコントロールの使用が可能です。

▲ 警告

DPL システムの使用により、エンジンおよびトランスミッションの機械部品の寿命が短くなる場合があります。

DPLシステムは、エンジンが動作温度に達した時にの み使用してください。

DPLのローンチコントロールを実行するには、車両が 以下の条件を満たしていなければなりません。

- 走行速度 0 km/h
- 垂直姿勢
- エンジン作動
- DTC ステータス ON

ローンチコントロールの残りカウントがゼロでない限り、ライダーは専用ボタンで関連メニューにアクセスし、インストルメントパネルで希望のDPLレベルを選択することが可能です。

レベルを選択したら、ライダーはまずクラッチを引きます。1速ギアに入れ、スロットルグリップを最大位置まで完全に開きます。

上記の一連の操作が実行されると、DPLシステムはシステムのスタート準備が整ったことを知らせる確認画面をダッシュボードに表示します。その後、スロットルグリップを完全に開いた状態でクラッチを徐々に離します。走行速度が20km/hを超えた時、インストル

メントパネルの表示は通常機能の画面に戻ります。ただし、発進の間は選択されている DPL レベルが常に表示されます。

クラッチが完全に解放された後で以下の条件のいずれ かが検知されると、DPLシステムは OFF になります。

- 走行速度が 160 km/h を超えた
- 3 速ギアが入れられた

クラッチが完全に解放された後、ライダーが発進操作の中止した場合、すなわちスロットルを閉じて走行速度を5km/h未満に減速した場合にも、DPLシステムはOFFになります。

人警告

■■ システムはエンジンからの出力を管理しますが、 クラッチを放す操作は管理しません。クラッチ操作は ユーザーが制御します。

発進段階でクラッチを急激に放すと、車両の最適な動作を維持できません。また、クラッチ操作に長時間かけすぎると、クラッチが過熱し、クラッチの損傷につながるおそれがあります。

入 警告

■ ユーザーの車両上でのポジションがシステムの動作に影響を与える場合があります。

レベルの選択に際しての注意事項

レベル3を選択すると、DPLシステムは発進時のウィリーおよびリアホイールのスリップ傾向を最小限に抑えるように加入します。レベル2および1ではシステムの介入は少なくなります。

各自の運転に最も適した DPL レベルを見つけるには、システムを起動してまずレベル3を選択し、システムの特性を理解するために実際に発進します。その後、最善の介入レベルになるまでレベル2、1の順に試してください。

標準装備の OEM タイヤ以外のもので、標準装備のタイヤとはサイズクラスの異なるタイヤやサイズが大きく異なるタイヤを使用する場合は、システムの機能が影響を受ける可能性があります。

タイヤに関して、標準装備のタイヤとモデルやメーカーは異なるなど違いが僅かなタイヤを装着する場合、システムを正しく機能させるには所定の自動調整機能を使用する必要があります。

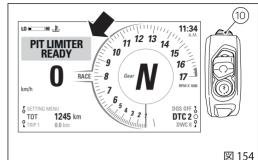
警告 DPLはライダーをアシストするシステムです。ア シストシステムとは、より確実で安心な運転を可能に することを目指したメカニズムであり、ライダーが運 転に際し正しく払うべき注意義務に取って代わるもの ではありません。自身の過失だけでなく他者の過失も 防止するため、道路交通法が定める緊急時の回避を可 能にする恒重な運転を心がけてください。 この安全システムは事故予防のためのシステムです。 これらの機能は車両の運転を助け、その制御を簡単で 確実なものにします。車両が走行している路面状況や 道路交通法など各種規制範囲を超えたり、合理的に許 容されるスピードを超えたりするような運転に寄与す るシステムではありません。

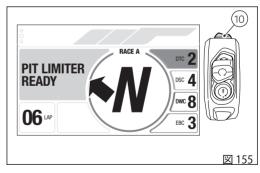
ピットレーンスピードリミッターの作動中は、 DPI システムは機能しません。

ピットレーンスピードリミッター

ピットレーンスピードリミッターを使用するには、ギアをニュートラルか 1 速に入れるか、もしくはギアを2 速に入れてボタン (10) を押してください。インストルメントパネルには、黄色の背景に "PIT LIMITER READY" が表示されます (Info Mode Track e Road、図 154) (Info Mode RaceGP、図 155)。この状態ではスピードリミッターは作動していません。

この段階でボタン (10) をもう一度押すかギアを3速以上に入れると、ピットレーンスピードリミッター機能を解除することができます。





ギアを 1 速に入れてから、走行速度が設定メニューで設定されている制限値を下回ると、インストルメントパネルに "PIT LIMITER ACTIVATED" (ピットリミッター作動) が赤色の背景で表示されます (Info Mode Track e Road、図 156) (Info Mode RaceGP、図 157)。この状態でスピードリミッターは作動しています。この段階でボタン (10) を押すか、1 速以外のギアに入れると、ピットレーンスピードリミッターを解除することができます。

入警告

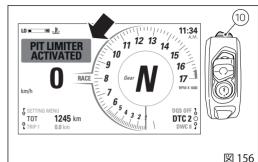
ピットレーンスピードリミッターが作動している時は、DTC システム、DWC システム、DSC システム、DPL システムは作動しません。

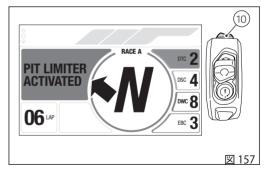
蒼

■ ピットレーンスピードリミッターの作動中は、 スロットルグリップを回し切らずに、車両が限界速度 に達するグリップ位置の近くで回してください。

入警告

▲・・・ ピットレーンスピードリミッターはサーキット 使用を想定しており、公道での使用は想定されていません。



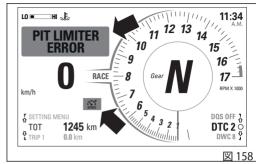


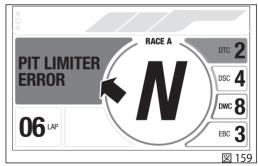
エラーが発生した場合は、"PIT LIMITER ERROR" (ピットリミッターエラー) の文字が 3 秒間表示されます (Info Mode Track e Road、図 158)

(Info Mode RaceGP、図 159)。

Info Mode Track、Road では、該当する赤色アイコン も点灯します。

この状態の時はスピードリミッターは作動していません。





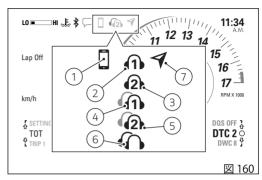
インフォテインメント

Bluetooth コントロールユニットを搭載している場合 は、インストルメントパネルに Bluetooth マークが表 示されます。

インストルメントパネルに搭載されているインフォティンメントシステムから、Bluetooth 接続されるスマートフォン、ライダーインターコム、パッセンジャーインターコム、衛星ナビゲーターの4種類のデバイスを管理することができます。Bluetooth デバイスのペアリングまたは削除については、"SETTING MENU - Bluetooth"の章を参照してください。接続後は以下のように表示されます。

- 1) 接続スマートフォン
- 2) 接続ライダーインターコム
- 3) 接続パッセンジャーインターコム
- 4) 接続ライダーインターコムとペアリング済みパッセンジャーインターコム
- 5) ペアリング済みライダーインターコムと接続パッセンジャーインターコム
- 6) 接続ライダーインターコムと接続パッセンジャー インターコム
- 7) 接続 Ducati ナビゲーター

接続されているデバイスは水色のアイコンで表示されます。一方、接続されていないペアリング済みデバイスはグレーのアイコンで表示されます。



インストルメントパネルにスマートフォンを接続している場合は、音楽プレーヤーと通話履歴の操作が可能です。"PLAYER (OFF / ON)"と"LAST CALLS"の章をご覧ください。

次のような場合にインストルメントパネルがどのよう に作動するかを以下に示します。

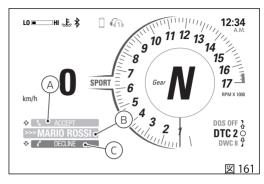
- 着信
- 通話中
- 直前の電話番号にリダイヤル
- 不在着信
- 受信したメッセージ/Eメール

着信

着信があると、ディスプレイは以下のように表示されます。

- "ACCEPT"の文字(A)
- 発信元の名前/電話番号(B)
- "DECLINE"の文字(C)

着信に応答する場合は UP ボタンを押し、着信を拒否する場合は DOWN ボタンを押します。



诵話中

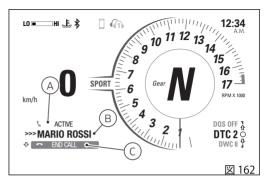
通話中は、インストルメントパネルに次のように表示 されます。

- "ACTIVE" 表示 (A)
- 通話相手の名前/電話番号と、その前に着信を受けた場合は ">>>" マーク (B)、発信した通話の場合は "<<<" マーク
- "END CALL" の文字 (C)

DOWN ボタンを押して通話を終了します。

の参考

■ スマートフォンの他にライダーヘルメットインターコムが接続されている場合は、通話中の会話はヘルメットのイヤホンとマイクを通して再生されます。



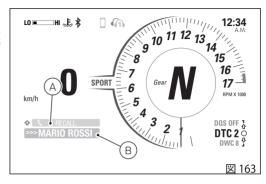
直前の電話番号にリダイヤル

通話を終了した場合、または不在着信、着信拒否した場合は、インストルメントパネルは RECALL 機能を 5 秒間有効にし、直前の電話番号にリダイヤルすることができます。

インストルメントパネルの表示:

- "RECALL"の文字(A)
- 通話相手の名前/電話番号と、その前に"<<<"マーク (発信) または">>>"マーク (着信) (B)

表示されている名前/電話番号にリダイヤルするには、 UP ボタンを押します。



不在着信

不在着信があると、ディスプレイにマーク(A)が60秒間表示されます。マークは最初の3秒間点滅します。

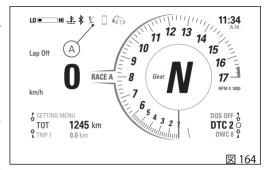
◎ 参考

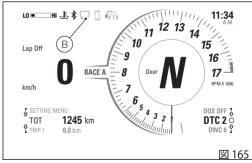
不在着信の相手番号は表示されません。

受信したメッセージ / E メール メッセージや E メールを受信すると、ディスプレイに マーク (A) が 60 秒間表示されます。マークは最初の 3 秒間点滅します。

今参考

メッセージの相手先番号や E メールアドレスは 表示されません。





ライトコントロール

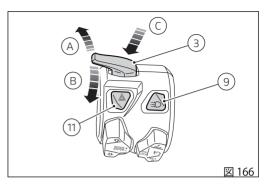
ロービーム/ハイビームライト

インストルメントパネル時、ロービームライトとハイビームライトは消灯したまま、パーキングライトのみが点灯します。

エンジンの始動後、ロービームライトが自動的に点灯します。ボタン (3) のポジション (A) とポジション (B) を切り替えて、ロービームライトとハイビームライトを切り替えることができます。ボタン (3) をポジション (C) に押すとライトをフラッシュします。インストルメントパネルを起動してからエンジンをかけない場合でも、各ライトやフラッシュライトを作動させることはできます。

ただし、ロービーム/ハイビームライトを手動で起動 してから 60 秒以内にエンジンを始動しないと、ライトは消灯します。

車両のバッテリー充電状態を維持するため、ハイビームライト、ロービームライトが点灯している場合にはエンジン始動時にヘッドライトは自動的に消灯します。エンジンが始動した時点で再び点灯します。



DRLの "Auto" モードー DRL 搭載バージョンのみ

SETTING MENU 内の "DRL" 機能から DRL を "Auto" に 設定している場合は ("SETTING MENU - DRL" の章を参 照)、インストルメントパネルが、検出された外光の明 るさに基づいて、DRL とロービームライトの関係を次のように自動管理します。

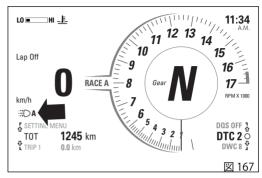
- 十分な外光が検出されると(昼間)、DRLを点灯してロービームライトを消灯します。
- 十分な外光が検出できない場合(夜間)は、ロービームライトを点灯して DRL を消灯します。

DRL が AUTO モードに設定されている時は、図に示す表示灯が点灯します。

DRLを "Auto" モードに設定している時にボタン(9)を押すと、自動管理が解除されて通常のライト管理に戻ります。もう一度ボタン(9)を押すと、DRLが "Manual" 管理モードで再び起動します。

この場合は、次回のインストルメントパネル起動時に、DRL が再び "Auto" モードに設定されます。

↑ 外光の弱い状況下、特に霧や曇りの時に DRLを "Auto" モードで使用すると、非常に危険な場合があり ます。このような場合には、ロービームライトを手動 で点灯するようにしてください。



DRLの "Manual" モード — DRL 搭載バージョンのみ

SETTING MENU内 "DRL" 機能から DRLをこのモードに 設定している時は、インストルメントパネル起動時に DRL のステータスは変更されません。

DRL を停止または点灯するにはボタン (9) を押してください。

人警告

外光の特に弱い状況下(暗闇)で DRL を使用すると、運転中の視界を損なう危険があるだけでなく、対向車のドライバーにとって眩しく不快に感じさせることがあります。

○ 参考

日中に DRL を使用することで、ロービームライトよりも優れた視界を確保することができます

ターンインジケーター

インストルメントパネルはターンインジケーターの自動リターンを行います。

左ターンインジケーターを起動するにはボタン(10)をポジション(I)に押します。右ターンインジケーターを起動するにはボタン(10)をポジション(L)に押します。左側スイッチのボタン(10)を押してターンインジケーターを解除することができます。

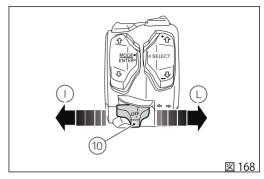
自動解除:

車両速度、リーンアングル、車両の動的制御の分析から右左折の動作の終了を感知して、ターンインジケーターが自動的に消灯します。

自動解除機能は、インジケーターボタンを操作することにより、車両速度が20km/h(12.4mph)を超えると作動します。

ターンインジケーターは、車両がかなりの長距離を走行している間作動したままになっている場合にも、自動的に消灯します。ターンインジケーターボタンが操作された時の車両速度に応じて、200~2,000メートル(656~6,562フィート)までの範囲で変化します。ターンインジケーターの作動中、ターンインジケーターを作動させようとしてターンインジケーターボタンを再び押すと、自動解除機能は再度初期化されます。

自動解除システムは設定メニューから無効することが できます。



▲ 警告

自動解除システムは、ライダーがターンインジケーターをより快適に操作できるように助ける、ライダー支援システムです。こうしたシステムは、ほとんどの運転において動作するように開発されていますが、ライダー自身がターンインジケーターの動作に注意を払わなくてよくなる機能ではありません(必要に応じて手動で作動/停止)。

ハザード機能 (ターンインジケーターすべて点滅)

"ハザード"機能は、非常事態を知らせるために4つのターンインジケーターすべてを同時に起動します。ボタン(11、図166)を押してハザード機能を作動することができます。この機能は車両が起動している場合(Key-ON)に限り起動することができます。"ハザード"機能の作動中は、4つのターンインジケーターおよびインストルメントパネルのランプが同時に点滅します。ハザード機能は、車両が起動している状態(Key-ON)でのみ、ボタン(11、図166)を押して手動で解除することができます。

"ハザード"機能を起動してから車両を停止した場合は (キーを"OFF"位置に回す)、ハザード機能はその後2 時間作動を続けます。バッテリーを保護するため、2 時間後ターンインジケーターは自動的に消灯します。

参考

● "ハザード"機能の作動中に車両を Key-ON した場合、ハザード"機能は作動し続けます (ただし、インストルメントパネルの初期点検中にハザード機能が一時的に中断される場合があります)。

一参考

■パーキング機能作動中に突然バッテリーからの 電源が遮断された場合、電源回復時にインストルメン トパネルは機能を停止します。

参考

■"ハザード"機能は、ターンインジケーターの通常機能より優先されます。そのため、"ハザード"機能が作動している場合は左右インジケーターを個別に起動することはできません。

パーキングライト

Key-OFF を実行すると、パーキングライトの点灯画面が表示されます。ボタン(10、図168)をポジション(I)に長く押すと、パーキングライトが点灯します。



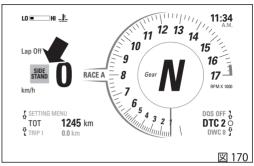
Keep the turn signal switch on the left position to activate the Parking Light

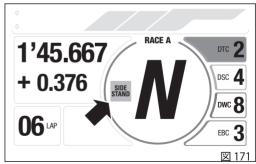
図 169

サイドスタンドの状態の表示

サイドスタンドが下りている/開いている場合には、Info Mode Track e Road (図 170) および Info Mode RaceGP (アクセサリー、図 171) では赤色の背景に "SIDE STAND" アイコンが表示されます。

インストルメントパネルがサイドスタンドの状態に関するデータを受信しない場合、"SIDE STAND" アイコンが点滅して不明の状態を表します。





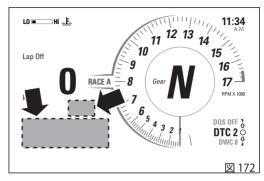
メンテナンス表示 (SERVICE)

この表示は、Ducati正規サービスセンターで車両のメンテナンス (定期点検) を実施する必要があることをユーザーに通知します。

メンテナンス表示のリセットは、メンテナンスを行う Ducati 正規サービスセンターでのみ行うことができます。

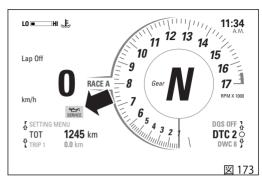
メンテナンス間隔の種類は図中に示す領域に表示されます。メンテナンスの種類には以下のものがあります。

- OIL SERVICE zero
- OIL SERVICE カウントダウン
- DESMO SERVICE カウントダウン
- ANNUAL SERVICE カウントダウン
- OIL SERVICE
- DESMO SERVICE
- ANNUAL SERVICE



OIL SERVICE ゼロの表示

最初のメンテナンス表示は、OIL SERVICE ゼロを通知します。オドメーターが最初の1000 km (600 mi) に達すると表示され、Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて "リセット" されるまで常時表示されます。

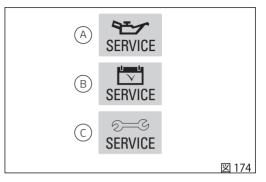


OIL SERVICE カウントダウン、ANNUAL SERVICE カウントダウン、DESMO SERVICE カウ ントダウン

サービスの設定期限が近づくと、車両を起動するたび に以下の表示が黄色で5秒間表示されます。

- OIL SERVICE カウントダウン (A) は、OIL SERVICE の実施まで残り 1,000 km (621 miles) になると起動します。
- ANNUAL SERVICE カウントダウン (B) は、 ANNUAL SERVICE の実施まで残り 30 日になると 起動します。
- DESMO SERVICE カウントダウン (C) は、DESMO SERVICE の実施まで残り 1,000 km (621 miles) になると起動します。

SETTING MENU 内の "Service" 機能から、サービス期限を表示することができます ("SETTING MENU - Service" の章をご覧ください)。

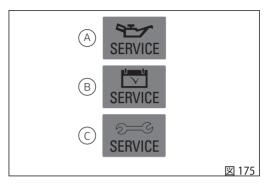


OIL SERVICE、ANNUAL SERVICE、DESMO SERVICE

次のメンテナンス実施期限に達すると、必要なメンテナンスが通知されます。

- OIL SERVICE (A)
- ANNUAL SERVICE (B)
- DESMO SERVICE (C)

サービス表示は赤色で表示されます。その後 Ducati 正規サービスセンターでのメンテナンスにおいて "リセット" されるまで常時表示されます。 SETTING MENU 内の "Service" 機能から、サービス期限を表示することができます ("SETTING MENU - Service" の章をご覧ください)。



エラー表示

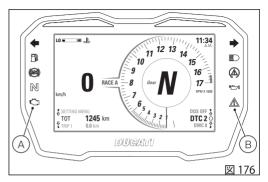
インストルメントパネルは車両の不具合をリアルタイムに識別するためにエラー信号を管理します。

車両をオンにした時にエラーがひとつでも検知されると、インストルメントパネルのディスプレイに MIL ランプ (A) (エンジンコントロールユニットに直接関連するエラー)、もしくは一般的エラー警告灯 (B) (その他エラー全般) が点灯します。

車両の通常作動時にエラーが検知されると、インストルメントパネルには MIL ランプ (A) もしくは一般的エラー警告灯 (B) が点灯します。

| | 警告

■ ひとつ以上のエラーが表示される場合には、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

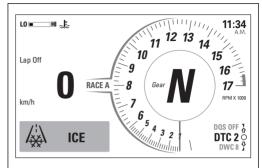


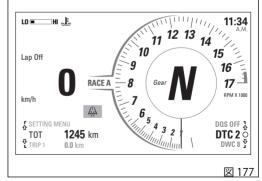
注意および警告

車両の使用中にユーザーに有用な情報を提供できるように、インストルメントパネルは一連の注意と警告を 管理します。

Info Mode Track または Road に設定されている場合、 警告が存在する場と、インストルメントパネルに警告 またはアラームの表示が現れます。最初の3秒間は大 きく表示され、その後小さく表示されます。

複数の警告またはアラームが存在する場合は、3秒ごとに一つずつ順番に表示されます。





Info Mode RaceGP (アクセサリー) に設定されている場合、警告が存在すると、インストルメントパネルの専用エリアに存在する警告やアラームが表示されます(図 178)。

複数の警告またはアラームが存在する場合は、3 秒ごとに一つずつ順番に表示されます。

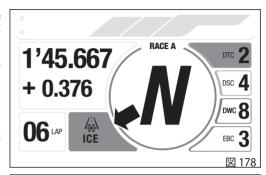
ICE (凍結)

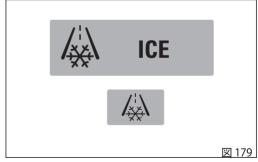
この警告は、外気温が低いため路面凍結の危険があることを示します。

気温が4°C(39°F)以下になると作動します。気温が6°C(43°F)まで上がると警告は解除されます(Info Mode Track e Road、図 179)(Info Mode RaceGP、図 178)。(図 178)

香告

■ この警告は、気温が4°C(39°F)を超えている場合でも、凍結の可能性がないことを保証するものではありません。気温が低い時に日陰や橋の上を走行する際は、特に安全運転を心がけてください。





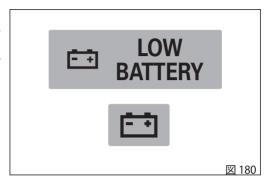
LOW BATTERY (バッテリー残量低下)

この警告は車両のバッテリー充電レベルが低下していることを示します。

バッテリー電圧が 11.0 V以下になると警告が表示されます。



警告が表示された場合は、専用機器を使用して 早急にバッテリーの充電を行ってください。



INSERT DATE (日付を入力)

この警告は、SETTING MENU内の "Date and Clock" 機能から日付を設定する必要があることを示します ("SETTING MENU - Date and Clock" の章をご覧ください)。

DDA FULL (DDA フル)

この警告は、DDA メモリーにこれ以上走行データを記録できないことを示します ("SETTING MENU - DDA"の章をご覧ください)。

INSERT DATE

INSERT DATE

図 181

DDA MEMORY FULL

DDA FULL

図 182

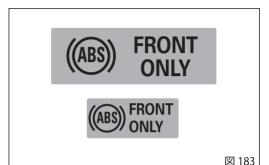
ABS FRONT ONLY (ABS フロントのみ)

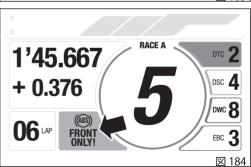
この警告は、ABSが前輪のブレーキングのみを制御する設定になっているため、運転には細心の注意を払う必要があることを示します。

(Info Mode Track e Road、図 183) (Info Mode RaceGP、図 184)

入警告

● この場合、運転およびブレーキングに細心の注意を払うようにしてください。





+-

車両には2個のキーが付属しています。 キーには"イモビライザーシステムの暗号"が含まれています。

キーは通常時に使用し、以下の操作に必要です。

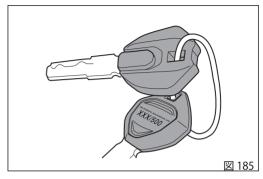
- 起動
- フィラープラグの開閉
- シートロックの解除

| | 警告

▲ キーは別々に保管し、車両を使用する際は2本のキーのどちらか一方を使用してください。

キーの複製

追加のキーが必要な場合は、Ducati アシスタンスネットワークにご連絡ください。その際、お手持ちのすべてのキーをお持ちいただく必要があります。Ducati アシスタンスネットワークでは新しいキーとお手持ちのキーすべての登録を行います。Ducati アシスタンスネットワークではお客様に車両の所有者確認をさせていただく場合があります。登録作業中に提示されなかったキーの暗号はメモリーから削除されます。これは、粉失したキーでエンジンを始動できなくするためです。



の参考

■ 車両の所有者を変更した場合は、必ず新規所有者にすべてのキーを譲渡してください。

イモビライザーシステム

盗難防止機能を高めるため、車両にはエンジンをブロックする電子システム (イモビライザー) が装備されており、インストルメントパネルを消す度に自動的に起動します。

各キーには電子装置が内蔵されており、スイッチ内に 組み込まれた特殊アンテナが起動時に発する信号を変調します。

変調された信号は起動毎に異なる"パスワード"から構成され、これによりコントロールユニットはキーを識別します。正常に識別された場合のみエンジンを始動させることができます。

PIN CODE による車両の解除

キー認識システムの不具合、またはキーの不具合の場合、車両ブロックの一時解除のため PIN CODE の入力ができるようになります。

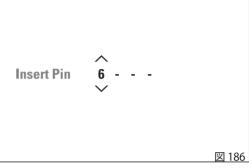
PIN CODE 機能が有効な場合は、インストルメントパネルに "Insert Pin" の文字と 4桁の PIN CODE 入力スペース"0" と "- - - " が表示されます。

コードの入力:

- UPボタン、DOWNボタンを押すと、数字が"0"~ "9"の間で1ずつ増減します。
- ENTERボタンを押して数字を決定し、次の桁に移動します。
- 同じ方法で4桁すべてを入力します。

4桁目を入力してから ENTER ボタンを押すと、以下のようになります。

- PIN CODE の検証中に問題が発生した場合は、インストルメントパネルに "Error" の文字が2 秒間表示され、その後スタンダードスクリーンに戻ります。
- PIN CODE が正しくない場合、インストルメントパネルは "Wrong" を 2 秒間表示します。その後、前の画面に戻り、もう一度コードを入力することができます。



PIN CODE が正しい場合は、インストルメントパネルは "Correct" を 2 秒間表示し、その後画面はスタンダードスクリーンに戻ります。

▲ 重要

▲・・ 車両を起動するために上記のプロセスを踏まなければならない時は、早めに Ducati 正規サービスセンターにご連絡ください。

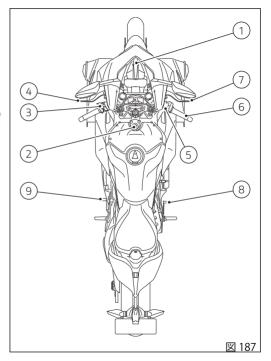
運転時に必要なコマンド

コマンド類の配置

▲ 警告

▼ この章では車両を運転する上で必要なすべての コマンド機能と配置を詳しく説明しています。コマン ドを使用する前によくお読みください。

- 1) インストルメントパネル
- 2) イグニッションスイッチ / ステアリングロック
- 3) 左側スイッチ
- 4) クラッチレバー
- 5) 右側スイッチ
- 6) スロットルグリップ
- 7) フロントブレーキレバー
- 8) リアブレーキペダル
- 9) ギアチェンジペダル



イグニッションスイッチ / ステアリングロック

燃料タンクの前にあり、3つのポジションがあります。

A) ON: エンジンおよびランプを ON にする

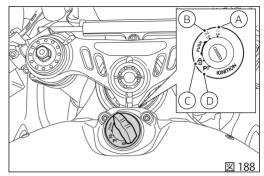
B) OFF: エンジンおよびランプを OFF にする

C) LOCK: ステアリングロック状態

D) P: パーキングランプおよびステアリングロック

の参考

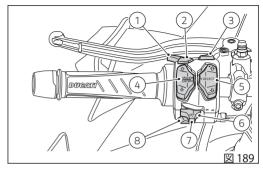
→ キーを最後のポジションに合わせるには、キーを押してから回してください。(B)、(C)、(D)の位置でキーを引き抜くことができます。

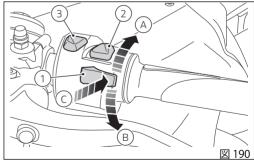


ハンドルバー左側スイッチ

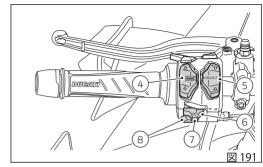
- 1) ディマースイッチ、ライトの選択、2 ポジション: -上(A) に押すとハイビームランプが点灯(ஹ)、初期 位置(B) に戻すとロービームランプが点灯(ஹ)
- (C) 横方向に押すと、ハイビームランプ点滅(**■**)
- (FLASH)、"START-STOP LAP" 機能
- 2) ハザード ON/OFF ボタン (ターンインジケーターすべて)
- 3) DRL 起動 / 解除ボタン

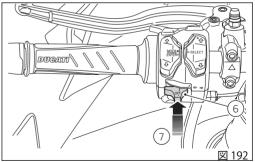
中国、カナダ、日本バージョンには DRL は装備されません)。





- 4) メニュー操作ボタン
- 5) クイックセレクトボタン
- 6) 3ポジション、ターンインジケーターボタン(⇔):
- 中央 = OFF
- ポジション(々)= 左折
- 7) ターンインジケーター解除ボタン
- 8) ボタン(►)=警告ホーン



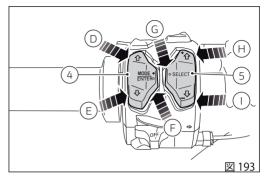


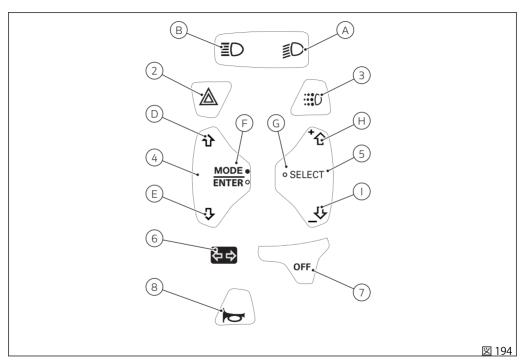
メニュー操作ボタン (4) には次の 3 つのポジションがあります。

- (D) メニュースクロール (メニュー UP)
- (E) メニュースクロール (メニュー DOWN)
- (F) メニュー決定

クイックセレクトボタン (5) には次の 3 つのポジションがあります。

- -(G) クイックセレクトの決定
- (H) クイックセレクト "UP" (UP +)、選択した機能の レベルを上げます。
- (I) クイックセレクト "DOWN" (DOWN -)、選択した機能のレベルを下げます。





凡例

- A) ロービームランプ
- B) ハイビームランプ
- D) メニュー UP
- E) メニュー DOWN
- F) メニュー画面決定
- G) クイックセレクト決定
- H) クイックセレクト UP
- H) クイックセレクト DOWN
- 2) ハザード
- 3) DRL
- 4) メニュー操作
- 5) クイックセレクト
- 6) ターンインジケーター
- 7) ターンインジケーター OFF
- 8) ホーン

クラッチレバー

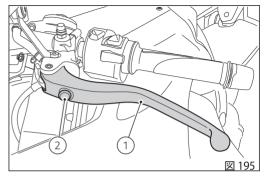
レバー(1)でクラッチの接続を操作します。 レバーに はアジャスター(2)がついており、レバーとグリップ との間隔を調整することができます。

レバーの問隔はアジャスター(2)の10クリックで調整 できます。

時計方向に回すとレバーはグリップから離れます。 アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。 レバー(1)を操作すると、エンジンの回転がトランス ミッションおよび駆動輪に伝わらなくなります。 クラッチの適切な操作は、スムーズなライディング、 特に発進時に重要です。

クラッチおよびブレーキレバーの調整は停車時 に行ってください。

クラッチレバーを正しく操作することで、トラ ンスミッションの損傷を避け、エンジンの寿命を延ば すことができます。



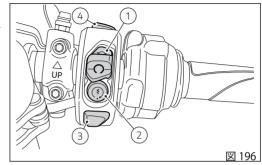
◆考 サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラル の状態でエンジンを始動することができます。ギアが 入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた 状態で行ってください (この時サイドスタンドは上が っていなければなりません)。

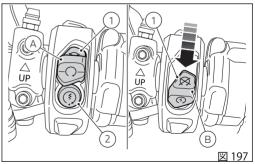
ハンドルバー右側スイッチ

- 1) 赤色スイッチ エンジンの停止) を使用し、取り外します。
- 2) エンジンの始動ボタン
- 3) DPL ボタン
- 4) ピットリミッターボタン

スイッチ (1) には 2 つのポジションがあります。

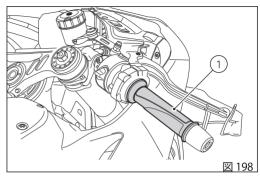
- B) 下に押した場合:エンジンの停止
- A) 上に押した場合: RUN ON このポジションでのみ、ボタン (2) を押してエンジンを始動することができます。





スロットルグリップ

ハンドルバー右側のスロットルグリップ(1)は、スロットルボディのバルブ開閉を制御します。 グリップを離すと、自動的に元の位置(アイドリング 状態)に戻ります。



フロントブレーキレバー

調整

アジャスターを操作することで、ライダーは路面状態、気象条件、バイクとのフィーリングに応じて強力なブレーキングが繊細なブレーキングかの選択が可能です。アジャスターによる調整は非常に簡単になっており、レバー/ピボットの間隔を19、20、21 mm (0.75、0.79、0.83 in) に調整してブレーキングを素早く変更することができます。

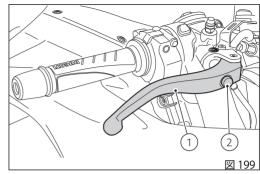
このタイプの調整は、ライディングスタイルやフィー リングに合わせていつでもブレーキングのカスタマイ ズを可能にしてくれます。

わずかに長いブレーキレバーストローク (間隔 19x16 mm - 0.75x0.63 in) による繊細なブレーキングから、ストリート用 (間隔 21x16 mm - 0.83x0.63 in) のレスポンスの速いブレーキングまで、3 段階の調整が可能です。

レバー (1) をスロットルグリップの方向へ引くと、フロントブレーキがかかります。このレバーは油圧で作動するため、軽く握るだけで作動します。

コントロールレバー (1) にはアジャスター (2) が付いており、レバーとグリップとの間隔が調整することができます。

レバーの間隔はアジャスター (2)の10クリックで調整できます。



時計回りに回すとレバーはスロットルグリップから離れます。アジャスターを反時計回りに回すと近づきます。

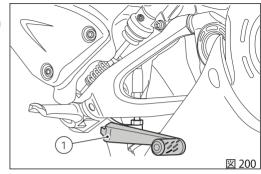
人 警告

小警告

ユーフロントブレーキレバーの調整は停車時に行ってください。

リアブレーキペダル

リアブレーキをかけるには、ペダル (1) を足で下に押してください。 制御システムは油圧式です。



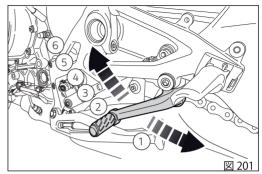
ギアチェンジペダル

ギアチェンジペダル (1) は中央のニュートラルのポジション N に自動的に戻ります。 ニュートラルポジションであることはインストルメントパネルのランプ N で表示されます。

ペダルは次のように動かせます。

- 下へ=シフトダウンおよび1速へのチェンジは、 ペダルを下に押します。この時、インストルメン トパネルのランプNが消えます。
- 上へ = ペダルを上へ上げることで、2速から順次 3速、4速、5速、6速へとチェンジします。

一回の操作が一速分のチェンジに相当します。



ギアチェンジペダルとリアブレーキペダル の調整

ギアチェンジペダルとリアブレーキペダルのポジショ ンは、ライダーのライディングスタイルとフットペグ の位置に合わせて調整することができます。 これらの調整は以下の手順で行ってください。

ギアチェンジペダル

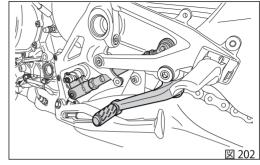
ロッドの操作を正しく行うために、サイドフェアリン グを取り外してください。

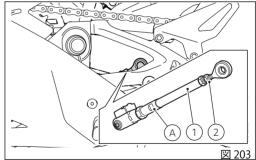
警告 ギアチェンジロッドの調整は、Ducati 正規ディ ーラーまたはサービスセンターで実施してください。

ロッド(1)を所定のキーソケット(A)で固定し、ナット (2)を緩めます。

ギアチェンジペダルを好みの位置に定めながら、スパ ナでロッド(1)の六角部分を回します。

ロッドにナット (2) を締め付けます。



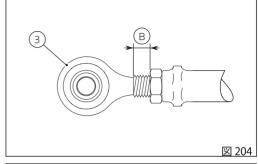


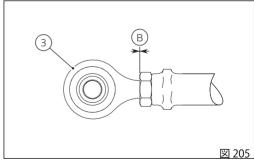
調整が完了したら、ユニボール (3) の緩み値 (B) が正しいことを確認します。

ユニボール (3) の緩み値 (B) は、最小 B = 0 mm (0 in) (ユニボールを完全にねじ込んだ状態) \sim 最大 B = 6 mm (0.24 in) の間になければなりません。

人 警告

● 緩み値が規定の範囲内にない場合は、上記の調整作業を最初から繰り返してください。





リアブレーキペダル

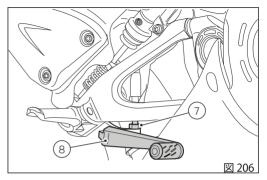
ペダルストローク調整ナット (7) を緩めるか締めるかして、好みのブレーキペダル (8) 位置を見つけます。その後、ナット (7) を締め付けます。

ペダル (8) を手で操作しながら、ブレーキがかかり始めるまでに約 1.5~2 mm (0.06~0.09 in) の遊びがあることを確認します。

上記の遊びが確認できない場合は、マスターシリンダ ーのロッドの長さを調整します。

A 警告

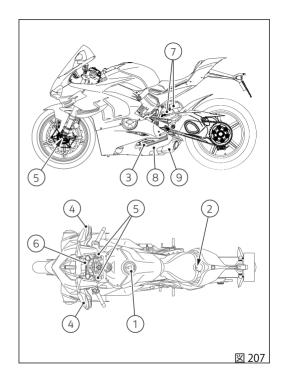
ペダルの調整は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。



主要構成部品/装備

車両上の配置

- 1) フィラープラグ
- 2) 小物入れスペースの鍵
- 3) サイドスタンド
- 4) リアビューミラー
- 5) フロントフォークアジャスター
- 6) ステアリングダンパー
- 7) ショックアブソーバーアジャスター
- 8) 触媒システム (両側)
- 9) エキゾーストサイレンサー (両側)



燃料フィラープラグ

開け方

保護カバー(1)を持ち上げ、キーをロックに挿入しま す。キーを時計回りに1/4回転させ、ロックを解除し ます。

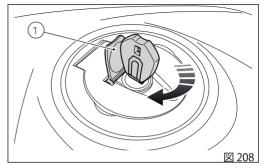
プラグ(2)を起こします。

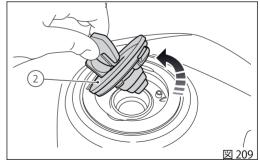
閉じ方

差し込んだキーでプラグ(2)を閉じ、プラグを押しま す。キーを抜き取り、保護カバー(1)を閉じます。

◆考 キーが挿入された状態でのみキャップを閉める ことが可能です。

燃料補給後は、必ずキャップが確実に閉じてい ることを確認してください。





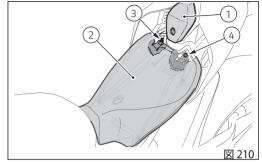
シートの取り外しおよび取り付け

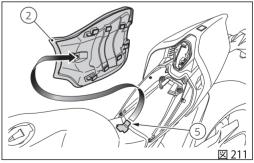
取り外し

シート (2) を取り外すには、"付属アクセサリー" の章に記載されているように、背もたれ (1) 内から六角棒レンチを取り出してください。

スクリュー(3)、(4) に位置するシート(2) の後端を持ち上げ、スクリューを緩めて外します。

シート(2)をマウント(5)から抜き取ります。



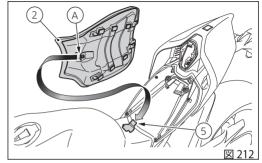


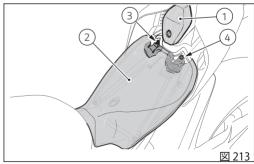
取り付け

シート (2) の溝 (A) をマウント (5) に挿入します。

シート(2)の後端を持ち上げて、スクリュー(3)、(4)を締め付けます。スクリューの締め付けには、背もたれ(1)内に収納されている付属の六角棒レンチを使用してください。

"付属アクセサリー"の章の記載に従って、背もたれを 閉じます。





サイドスタンド

▲ 重要

● 短時間停車する場合に限り、サイドスタンドを使用して車両を支えます。サイドスタンドを使用する前に、地面に十分な固さがあり平らであるかを確かめてください。

柔らかい地面、砂利、日光で柔らかくなったアスファルト等に駐車すると、車両転倒の原因となります。傾斜面に停車する場合は、必ずリアホイールを斜面下側にして駐車してください。

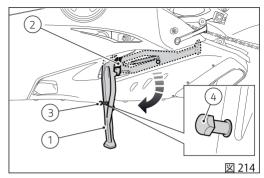
サイドスタンドを使用するには、ハンドルバーを両手で掴み、車体を支えながら、スタンドのフック (1) を足でいっぱいに押します。

次に、スタンドがしっかりと地面に着くまで、車体を徐々に傾けます。

開く段階でサイドスタンドを探しやすくするには、足でピン (3) を押します。

A 警告

▼≛ 車両をサーキットでスポーツ目的に使用する場合、レンチ(4)を使用してピン(3)を取り外すことをお勧めします。



サイドスタンドを元の位置 (水平位置) に戻すには、 車両を右側に傾けながら、足でスタンドのアーム (1) を持ち上げます。

サイドスタンドのジョイント部の円滑な動作を維持するには、汚れをきれいに取り除いた後、摩擦が起きる部分すべてにグリース SHELL Alvania R3 を塗布します。

入警告

● サイドスタンド使用時には、車両にまたがらないでください。

| 定期的にスタンド(内側と外側2つのスプリング の状態)と安全センサー(2)の作動を点検することをお 勧めします。

参考 サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラル の状態でエンジンを始動することができます。ギアが 入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いた 状態で行ってください (この時サイドスタンドは上が っていなければなりません)。

Bluetooth コントロールユニット

車両には Bluetooth コントロールユニットを装備する ことができます。これにより Bluetooth に対応する電 子機器間での通信が可能になります。

Bluetooth コントロールユニットは本車両に装備され おりません。Bluetooth コントロールユニットは、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターでお買 い求めいただけます。

警告

Bluetooth ヘッドセットの製造メーカーは、デバイスの寿命期間中に標準プロトコルに変更を加えることがあります (スマートフォン、ヘッドセット)。

人警告

ドゥカティ社はこれらの変更に関与していませんので、こうした変更が Bluetooth ヘッドセット (音楽共有、マルチメディア再生など) の各種機能やいくつかのタイプのスマートフォン (Bluetooth 対応プロファイルによる) に影響を与える可能性があります。このためドゥカティ社は、以下についてのマルチメディア再生を保証していません。

- "Kit Ducati キット (部品番号: 981029498)" に付属しないヘッドセット。
- 必要な Bluetooth プロファイルに対応していない スマートフォン ("Ducati キット 部品番号: 981029498" に付属するヘッドセットとペアリン グできる場合でも)

| 警告

本動外的環境の特殊な状況に起因する干渉が起こった場合には、Ducatiキット(部品番号:981029498)ではライダーヘルメットからパッセンジャーヘルメットへの再生音楽の共有機能を使用することができます(詳しくは Ducatiキット(部品番号:981029498)に付属のヘッドセット取扱説明書を参照)。

の参考

Ducati キット (部品番号: 981029498) は、

Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお 求めいただけます。

スマートフォン本体が以下のプロフィールをサポート していることを確認します。

- MAP プロフィール: SMS および MMS 受信通知を 正しく表示する。
- PBAP プロフィール:スマートフォンの電話帳データを正しく表示する。

■警告

- Ducati Zumo 350 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 390 衛星ナビゲーターキット
- Ducati Zumo 395 衛星ナビゲーターキット

の参考

▲ 上記Ducati キットは、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにてお求めいただけます。

ステアリングダンパー

ハンドルバーの前にあり、ステアリングヘッドに固定されています。

このダンパーがステアリングのより正確で安定した操作に貢献し、あらゆるコンディションでの操縦性をアップします。

アジャスター (1) を時計回りに回転させるとステアリングはよりハードに設定され、反時計回りに回転させるとよりソフトに設定されます。

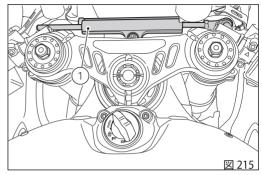
各調整位置で"クリック" 音がします。すべて開いた位置から最大 10 クリックまで回すことができます。

人警告

■ これ以上の調整はステアリングが非常に固くなり、危険な状況を招くおそれがあります。

A 警告

車両のコントロールを失うおそれがありますので、走行中は絶対にアジャスター (1) の位置を変更しないでください。



フロントフォーク調整

車両のフォークは、リバウンドダンピング(リターン)、 コンプレッションダンピング、およびスプリングプリロードの調整が可能です。

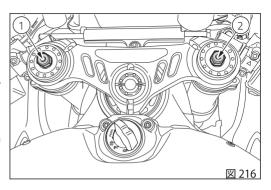
調整は外部アジャスターを使用して行います。

- リバウンドダンピング調整は、右フォークレッグ 上のアジャスター(2)を操作します。
- コンプレッションダンピング調整は、左フォークレッグ上のアジャスター (1) を操作します。
- スプリングプリロード調整は、両レッグの17 mm (0.67 in) 六角アジャスター (3 および 4) を操作します。

アジャスターを調整する時は、車両を安定した場所にサイドスタンドで支えて駐車します。

3 mm (0.12 in) の六角レンチで左フォークレッグの先端にあるアジャスター (1) を回転させ、コンプレッションダンピングを調整します。

3 mm (0.12 in) の六角レンチで右フォークレッグの先端にあるアジャスター (2) を回転させ、リバウンドダンピングを調整します。



アジャスター (1) および (2) を回すと、カチッと音がします。それぞれがダンピングの1クリックに相当します。

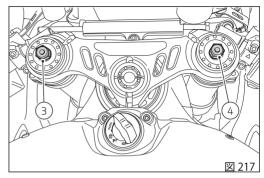
アジャスター (1) および (2) をいっぱいに締め込むと "0"位置になり、ダンピングが最強にセットされます。この位置から反時計回りに回すとカチッと音がします。それぞれが "1"、"2"、・・・の位置に相当します。

フォークのスプリングプリロードを調整するには、17 mm (0.67 in) 六角アジャスター (3 および4) を完全に緩めます。この位置からアジャスターの1 回転がプリロード 1 mm (0.04 in) に相当します。

標準設定は以下の通りです。

- リバウンド:すべて閉じた位置から 18 クリック 開く
- コンプレッション:すべて閉じた位置から 14 クリック開く
- スプリングプリロード:5 mm/5 回転(0.24 in/5 回転)

サスペンションの異なる設定については、"サスペンション設定の選択"の章を確認してください。



リアショックアブソーバーの調整

リアショックアブソーバーは荷重に合わせてバランス を調整できるようアジャスターを装備しています。

入警告

ショックアブソーバーには高圧のガスが充填されています。未経験者による分解作業は重大な損傷の原因となる恐れがあります。

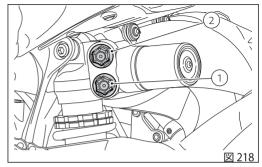
アジャスター(1)、リバウンド(リターン)ダンピングを 調整します。

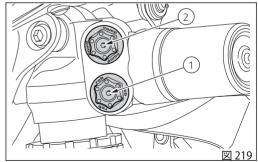
アジャスター(2)、コンプレッションダンピングを調整 します。

3 mm (0.12 in) の六角レンチでアジャスター (1) および (2) を時計回りに回転させるとダンピングが強くなり、逆に回すと弱くなります。

標準設定は以下の通りです。

- リバウンド: アジャスター(1)、すべて閉じた位置から 16 クリック開く
- コンプレッション: アジャスター (2)、すべて閉じた 位置から 15 クリック開く
- スプリングプリロード:スプリングを完全に緩めた 状態から 8 mm (0.31 in)
- ショックアブソーバー軸間距離:314 mm (12.36 in)。





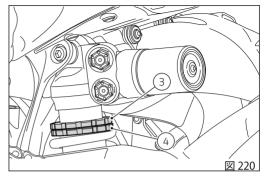
2個のリングナット(3)および(4)でスプリングプリロードを調整します。

スプリングプリロードを変更するには、上部固定リングナット (4) を緩めます。

下部リングナット(3)を締めるとプリロードが増大し、緩めるとプリロードが減少します。

希望のプリロードに調整したら、上部固定リングナットを締め付けます。

入警告



ショックアブソーバーの軸間距離を変更するには、24 mm (0.94 in) の六角レンチでロックナット (5) を緩めます。次に 24 mm (0.94 in) の六角レンチでナット (6) を操作してショックアブソーバーの軸間距離を短くします。希望の軸間距離に達したら、ナット (6) に当たるまでロックナット (5) を締めます。このとき、軸間距離が動かないようにナット (6) を保持するようにしてください。

入警告

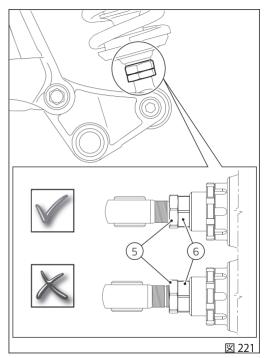
ショックアブソーバーの軸間距離には最大値があります。最大値はショックアブソーバージョイントのネジ部の上の溝で示されています。

最大軸間距離に達すると、ロックナット(5)を締めた

時にロックナットが溝に揃います ____。 ロックナット (5) を締めた状態で溝がロックナットから出すぎている場合は、誤った軸間距離を使用してい

ます (長すぎます、 🧥)。

ショックアブソーバー内部には軸間距離が長くなりすぎるのを防ぐ安全ピンが備えられています。許容されていない軸間距離に設定しようとすると、ピンがショックアブソーバーのネジ部に回復できない損傷を与えるおそれがあります。ショックアブソーバー軸間距離



の調整作業中にナット (6) 回転時のトルクが増加したと感じたら、おそらく調整可能な最大ストロークに到達しています。部品の損傷を避けるために、アジャスターはそれ以上動かさないでください。

サスペンションの異なる設定については、"サスペンション設定の選択"の章を確認してください。

サスペンション設定の選択

Ducatiでは、フロントフォークおよびリアサスペンシ ョンは表に記載されている調整を推奨しています。記 載されている調整は、ユーザーの能力や快適性に対す るニーズを考慮した推奨値であり、様々なライディン グ条件によって異なります。

生安 表に記載されている調整は、ユーザーがインス トルメントパネルから選択するライディングモード (RIDING MODE) とは別に行います。

表に記載されている値は、ライダーの衣類込み の体重を80~90kg (176.36~198.42lb) と想定した場 合の値です。

ÖHLINS 製フロントフォーク						
パラメーター	範囲	Race A	Race B	Sport		
リバウンド (右レッグ)	32 クリック すべて閉じた位置か ら	, , , ,	18 クリック すべて閉じた位置か ら	24 クリック すべて閉じた位置か ら		
コンプレッション (左 レッグ)	32 クリック すべて閉じた位置か ら		14 クリック すべて閉じた位置か ら	16 クリック すべて閉じた位置か ら		
スプリングプリロー ド	15 回転	10 回転	5 回転	5 回転		

ÖHLINS 製リアショックアブソーバー						
パラメーター	範囲	Race A	Race B	Sport		
リバウンド			15 クリック すべて閉じた位置か ら	16 クリック すべて閉じた位置か ら		
コンプレッション	28 クリック すべて閉じた位置か ら	8 クリック すべて閉じた位置か ら	16 クリック すべて閉じた位置か ら	24 クリック すべて閉じた位置か ら		
	(-5~10) mm (0.19~ 0.39 in)	12 mm (0.47 in)	8 mm (0.31 in)	8 mm (0.31 in)		
軸間距離	311~317 mm (12.24 ~12.48 in)	314 mm (12.36 in)	314 mm (12.36 in)	314 mm (12.36 in)		

運転の方法

慣らし運転の方法

エンジン最高許容回転数 慣らし運転期間中および通常使用においてのエンジン 最高許容回転数:

- 1) 1,000 km (621 mi) まで
- 2) 1,000 km (621 mi) \sim 2,500 km (1,553 mi)
- 1,000 km (621 mi) まで 最初の 1,000 km (621.37 mi) まではタコメーターに注 意し、5,500~6,000 回転 (rpm) を超えてはいけませ ん。

最初の数時間は、規定回転数の範囲内でエンジン負荷と回転数を色々変えて走行することをお勧めします。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ば し、調整やオーバーホールの回数を抑えることができ ます。

▲ 重要

走行距離が最初の 1000 km (621 mi) までの間 (慣らし運転期間)、すなわちオドメーターが 1000 km (621 mi) 以下の値を表示している期間は、6000 rpm に達するとディスプレイにはオレンジ色で表示される予告ゾーン (オレンジゾーン) が棒グラフの目盛りとそれに相当する数字で表示されます。 慣らし運転期間中はエンジン回転数を 6000 rpm 以下に維持すること、すなわちインストルメントパネルに棒グラフの "オレンジゾーン" が表示されないようにすることが推奨されます。

エンジン、ブレーキ、サスペンションのより効果的な 慣らしには、カーブが多く起伏に富んだ場所を走行す ることが理想的です。

最初の 100 km (62 mi) は、ブレーキディスクにパッドをよく慣らすために、優しくブレーキをかけ、急なブレーキングや長いブレーキングは避けてください。すべての機械部分を互いに馴染ませるため、またエンジンの主要部分の寿命に悪影響を及ぼさないために、急な加速や、特に上り坂での長時間にわたるエンジン高回転は避けてください。

定期的にチェーンを点検し、必要であれば潤滑してください。

1,000 ~ 2,500 Km (621 ~ 1,553 mi) エンジンからよりパワーを引き出すことは可能ですが、7,000 rpmを決して超えないようにしてください。

▲ 生気 慣らし運転期間は、保証書に指定されている点 検、整備を必ず受けてください。この条件が遵守され なかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮に ついては、Ducatiモーターホールディング社はいかな る責任も負うものではありません。

慣らし運転の方法を守ることでエンジンの寿命を延ば し、調整やオーバーホールの回数を抑えることができ ます。

走行前の点検事項

A 警告

▲ 走行前にこれらの点検を怠ると、車両に損傷を与え、ライダーを危険に晒すおそれがあります。

走行前に以下の点検を実施してください。

- タンク内の燃料量 タンク内の燃料の残量を確認します。必要であれば給油してください("燃料の補給"をご覧ください)。
- エンジンオイル量 点検窓からオイルパン内のレベルを点検します。 必要であれば補充してください ("エンジンオイル レベルの点検" をで覧ください)。
- ブレーキおよびクラッチフルード量 各フルードタンクのフルードレベルを点検してく ださい("ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検 "をご覧ください)。
- クーラント量 リザーバータンク内のクーラントレベルを点検し ます。必要であれば補充してください("クーラン トレベルの点検および補充"をご覧ください)。
- タイヤコンディション タイヤ空気圧と摩耗度を点検します ("チューブレ スタイヤ" をご覧ください)。

- コマンド機能
 - ブレーキ、クラッチ、スロットルグリップ、ギア チェンジレバーまたはペダルを作動させて機能を 確認します。
- ランプ類、インジケーター ランプ、インジケーター、警告ホーンが正しく機 能するかを確認します。電球が切れている場合に は交換してください ("ヘッドライト電球の交換 " をご覧ください)。
- ロック類 フィラープラグのロックを点検します("燃料フィラープラグ" をご覧ください)。
- サイドスタンド サイドスタンドがスムーズに作動し、適切な位置 にあるかを確認します ("サイドスタンド" をご覧 ください)。

警告

■■ 異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡ください。

エンジンウォーターポンプが正常に作動するためには ベントを必要とします。そのため、クランクケース上 部のベント穴から微量の冷却液が漏れることがありま すが、冷却システムやエンジン自体の正常な動作に影響を及ぼすことはありません。

ABS ランプ

Key-ON 後も ABS ランプ (9) は点灯し続けます。 走行速度が 5 km/h を越えた時点でランプが消灯する 場合は、ABS システムが正常に作動していることを示 します。

入警告

異常が見つかった場合は車両の使用を中止し、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡ください。

ABS 装置

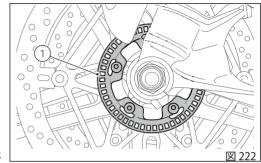
フロントフォニックホイール (1) とリアフォニックホイール (2) が汚れていないことを確認します。

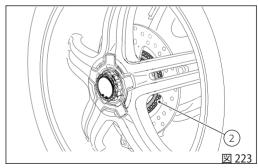
人 警告

汚れなどが付着して読み取り窓が詰まっていると、システムが正常に機能しないおそれがあります。 泥道を走行する時には ABSシステムがうまく機能しない場合があります。システムを OFF にしておくことをお勧めします。

人警告

ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停止してしまうおそれがあります。





エンジンの始動

入警告

エンジンを始動する前に、運転に必要なコマンド類の取り扱いに十分慣れておいてください。

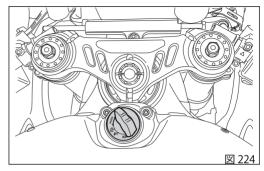
入警告

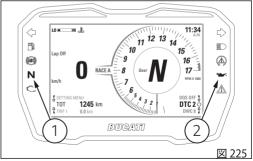
■ 屋内では絶対にエンジンをかけないでください。 排出ガスは有毒です。短時間で意識を失ったり、さら には死に至る危険性があります。

イグニッションキーを ON の位置に回します。インストルメントパネルの緑のランプ N(1) と赤のランプ シー(2) が点灯していることを確認してください。

▲ 重要

▲ オイル圧警告ランプはエンジンを始動してから 数秒後に消えなければなりません。





警性

サイドスタンドが完全に上げられて(水平)いない場合は、安全センサーが作動してエンジンを始動することはできません。

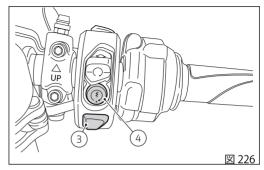
の参考

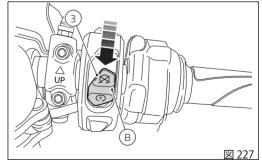
→ サイドスタンドを下ろし、ギアがニュートラルの状態でエンジンを始動させることができます。または、ギアが入った状態で始動する時は、クラッチレバーを引いたままの状態で始動させてください(この時サイドスタンドは上がっていなければなりません)。

▲ 重要

エンジン冷間時は回転数を上げすぎないでください。潤滑が必要なすべての部分にオイルを行き渡らせるために、エンジンが温まるまで待ってください。

ストップスイッチ (3) が上方向の (A) 位置に押されていることを確認してから、スタートボタン (4) を押します。





車両の発進

- 1) クラッチレバーを引いてクラッチを切ります。
- 2) ギアチェンジペダルをつま先でしっかりと押し下 げてギアを1速に入れます。
- 3) スロットルグリップを回してエンジンの回転数を 上げ、同時にクラッチレバーを徐々につなぐと車 両は発准し始めます。
- 4) クラッチレバーを完全に放し、エンジンの回転数 を上げます。
- 5) シフトアップするには、スロットルを戻してエン ジン回転を落とします。クラッチを切り、ギアチ ェンジペダルを上げ、クラッチをつなぎます。シ フトダウンは次のように行います。スロットルグ リップを放し、クラッチレバーを引いてから、ギ アを同調させやすくするためにエンジンを軽くふ かしてシフトダウンし、クラッチレバーを放しま す。

これらの操作は適切に素早く行ってください。トり坂 を走行する際には、車速が落ちてきたら直ちにシフト ダウンし、車両への異常なストレスやエンジンのノッ キングを避けてください。

急な加速操作は、オーバーフローやトランスミ ッション機構のスナッチングを招くおそれがあります ので避けてください。走行中にクラッチレバーを引い た状態が続くと、摩擦機構の過熱や異常な摩耗を引き 起こすおそれがありますので避けてください。

警告 ウィリー走行を長く続けると、ABSシステムが停 止してしまうおそれがあります。

ブレーキ操作

時間に余裕を持って減速し、シフトダウンしてエンジ ンブレーキを使用し、両方のブレーキを操作してブレ ーキをかけます。車両が停止する前にクラッチを握 り、エンジンが急に切れないようにします。

ABS システム

困難な条件下でのブレーキ操作は、非常に慎重に行わなければなりません。ブレーキ操作は二輪車の運転で最も難しく危険な瞬間です。ブレーキ操作中に転んだり事故を起こす可能性が統計的に最も高くなっています。フロントホイールがロックされると、グリップによるバランス力を失うため車両のコントロールを失います。

アンチロックブレーキシステム (ABS) は、緊急時や悪路、悪天候下での走行時にブレーキ性能を最も効果的に発揮させるために開発されたものです。

ABS は電子制御油圧システムです。ホイールがロックしそうになると、ホイールのセンサーからコントロールユニットに信号が送られ、ブレーキ回路内の油圧を制御します。

一時的に油圧が下がることで、タイヤは理想的なグリップを維持したまま回転を続けることができます。コントロールユニットはブレーキ回路内の油圧を再び上げてブレーキを作動させます。ホイールロックのリスクが完全になくなるまでこのサイクルを繰り返します。ブレーキング時 ABS が作動状態に入ると、ブレーキレバーとブレーキペダルに軽く振動する抵抗が感じられます。

フロントとリアブレーキのコントロールシステムはそれぞれ独立していますので、ABSもフロントとリアブレーキに同時に作動するわけではありません。

車両の停止

スロットルグリップを緩めると、車両は徐々にスピードを落とし始めます。シフトダウンしながら1速まで落とし、最後にニュートラルに入れます。ブレーキをかけると、車両を完全に停止することができます。

エンジンを停止するには、キーをOFF位置に回します("イグニッションスイッチとステアリングロック")。

パーキング

停止車両をサイドスタンドで支えて駐車します。盗難防止のため、ハンドルを左に振りきり、キーを LOCK 位置に回します。

車両をガレージやその他の建物内に駐車する際には、 換気が充分され、車両の近くに熱源が無いことを確認 してください。

重要

■ 監視できない場所に停車するときは、キーを付けたままにしないでください。

入警告

エンジン停止後でもエキゾーストユニットは高温の場合があります。身体が触れないよう十分注意し、車両を木材や木の葉などの可燃物のそばに駐車しないようにしてください。

人 警告

● 発進を妨げるタイプの盗難防止用ロック (ディスクロック、リアスプロケットロック等) は大変危険です。車両の機能だけでなく、ライダーの安全をも損なうおそれがあります。

燃料の補給

給油の際、燃料の入れすぎに注意してください。燃料 レベルはフィラープラグが収まる給油口より低くなければなりません。

警告

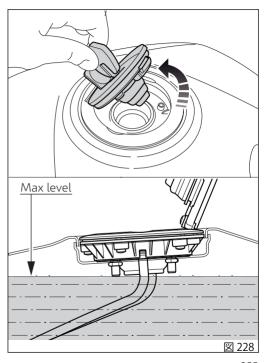
極端な場合には、キャップを開ける時にタンク内の圧力によって燃料が噴き出る可能性があります。 キャップを開ける時は十分注意して、ゆっくりと開けるようにしてください。

キャップを開けている時にシューという音が聞こえたら、音が聞こえなくなるのを待ってからキャップを完全に開けてください。

このノイズは燃料タンク内の圧力が外に逃げている時に鳴る音です。音がしなくなったということは、残っていた圧力が完全に外へ逃げたことを意味します。 上記のような状況は、特に暑い気候の時に起こりやすくなります。

警告

▲ オクタン価が 95 以上の鉛含有量の低い燃料を使用してください。

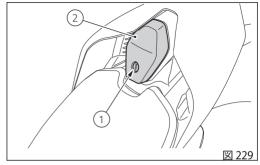


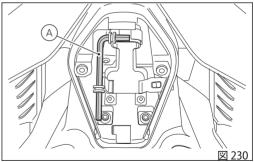
▲ 警告 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。 エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用するこ とは禁じられています。こうした燃料を使用するとエ ンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあり ます。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用 した場合は保証の対象外になります。

付属アクセサリー

背もたれ (2) 内に設けられている小物入れスペースには、付属の L 型六角棒レンチ $4 \, \text{mm} \, (0.16 \, \text{in})$ (A) が収納されています。

このスペースにアクセスするには、キーで鍵(1)を開き、背もたれ(2)を前方に引き抜いてください。 キー(A)を鍵穴から抜き取ります。





車両の付属品:

- バッテリー充電メンテナー
- リア/フロントメンテナンススタンド
- バイクカバーシート

さらに、以下のレーシングキットを構成する部品も車両に付属しています。これらの部品の取り付けは、必ずDucati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

- Akrapovic チタン製レーシングエキゾースト
- ミラー取り外し用キャップ
- ナンバープレートホルダー取り外しキット
- スイングアームプロテクション
- カーボン製乾式クラッチカバー
- GPS モジュール搭載ドゥカティデータアナライザー+ (DDA+)
- サイドスタンド取り外しキット
- ヘッドライトとライト類の取り外しキット
- レーシングフィラープラグ
- ブレーキレバープロテクション

警告

本キットはサーキット専用品です(クローズドサーキットにおける競技使用)。キット全体または一部を取り付けた車両で公道を走行することはできません。車両の所有者の責任に基づき競技用車両の使用に関する現行法を遵守してください。

主な整備作業とメンテナンス

フェアリングの取り外し

メンテナンスまたは修理作業を実施するために、モー ターサイクルのいくつかのフェアリング部品を外する とが必要になる場合があります。

取り外した部品を再度取り付けていなかったり、 正しく取り付けられていないと、走行中に突然外れ、 車両の制御がきかなくなるおそれがあります。

介 重要 ヘッドライトフェアリングの塗装済み部品およ びウィンドスクリーンを破損しないよう、取り付けの 際には必ずナイロンワッシャーを固定スクリューの位 置に合わせて配置してください。

フェアリングの取り外し作業は、Ducati 正規デ ィーラーまたはサービスセンターで実施してくださ い。

エアフィルターの交換

▲ 重要 エアフィルターのメンテナンスは、Ducati 正規 ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

クーラントレベルの点検および補充

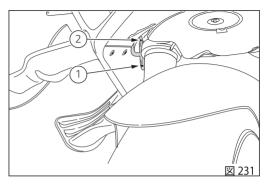
フロントホイールのスペースから内側の点検用開口部 から、車両右側にあるリザーバータンク内のクーラントレベルを点検します。

クーラントレベルがリザーバータンク脇にある MIN (1) 及び MAX (2) の目盛の間にあることを確認します。 クーラントレベルが MIN より下の場合は補充します。

人警告

/ 重要

▲ クーラントの補充は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。



ブレーキ/クラッチフルードレベルの点検

ブレーキ/クラッチフルードのレベルは、絶対に各リザーバータンクの MIN 目盛以下になってはいけません。

フルードレベルが下がりすぎると、回路内にエアが混入し、システムの作動に悪影響を及ぼします。また、保証書内の定期点検表で指定されているブレーキ/クラッチフルード補充および交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

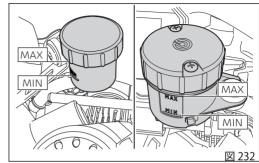
ブレーキシステム

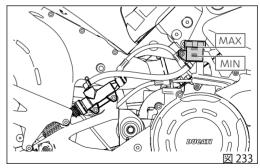
ブレーキパッドが磨耗していないのにブレーキレバー、ブレーキペダルに過度の遊びがある場合は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにご連

Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連絡いただき、システムの点検とエア抜きを行ってください。

▲ 警告

クラッチシステム





クラッチレバーに過度の遊びがあり、ギアチェンジの 際にエンジンがノッキングしたり止まったりする時 は、システム内にエアが混入している事があります。 システムを点検とエア抜きを行う必要があるため、 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにご連 絡ください。

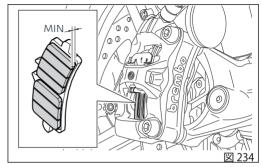
警告 クラッチフルードレベルはクラッチディスクの 磨耗材が消耗すると上昇する傾向があります。規定レ ベルを超えないようにしてください(最低レベル上3 mm (0.12 in))_o

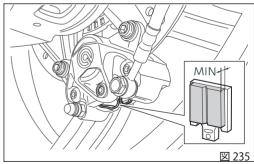
ブレーキパッドの摩耗点検

キャリパー間の開口部からパッドの摩耗を点検しま す。どちらか片方でもパッドの厚さが約 1 mm (0.04 in) になっている場合は、両方のパッドを交換します。

・パッドが消耗しすぎると、ブレーキディスクと 金属製サポートが接触することでブレーキ性能、ディ スクの正常な状態、またライダーの安全を損なうおそ れがあります。

重要 ブレーキパッドの交換は、Ducati 正規ディーラ 一またはサービスセンターで実施してください。





バッテリーの充電

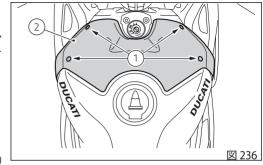
準備作業

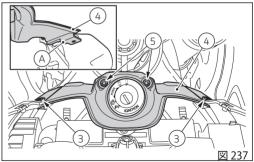
リチウム電池の充電は、リチウム電池のプラス極とマイナス極に専用バッテリー充電器をクリップ付きケーブルで直接つないで行ってください。

これを行うには、以下に記載する各手順を実施してください。

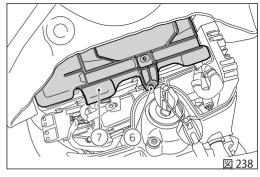
4本のスクリュー (1) をワッシャーと一緒に外し、タンクカバー (2) を取り外します。

キーブロックカバー (4) を固定する側面 2 本のスクリュー (3) と上側 2 本のスクリュー (5) を緩めて外します。サイドフェアリングに接合する両側にある内側タブ (A) に注意して、キーブロックカバー (4) を後方上側に引き抜きます。





スクリュー(6)を緩めて外し、バッテリー固定用カバー(7)を取り外します。



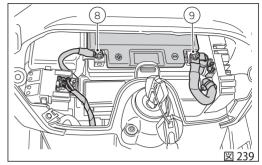
バッテリー充電器をバッテリーに接続する電源につないでいないバッテリー充電器(A)の赤色クリップ(8a)をプラス極(8)にしっかりと接続します。 黒色クリップ(9a)をマイナス極(9)にしっかりと接続します。

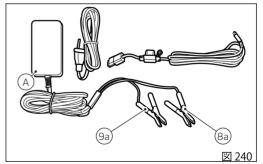
バッテリー充電器 (A) の電源プラグを壁のコンセント に差し込みます。

入警告

▲ バッテリーはお子様の手の届かないところに置いてください。

バッテリーの充電には、必ずドゥカティ純正リチウム電池用バッテリー充電器 (A) を使用してください。鉛蓄電池用バッテリー充電器や純正以外のバッテリーメンテナーや充電器は絶対に使用しないでください。バッテリーの充電は、気温 40°C (104°F) 以下の場所に車両を駐車して行ってください。

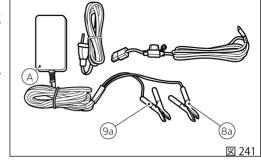


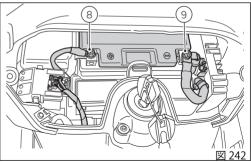


バッテリー充電器をバッテリーから外す 充電が完了したら、接続時と逆の手順でバッテリー充 電器 (A) を外します。

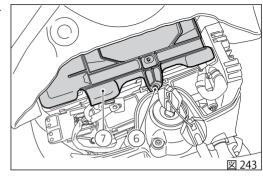
まず、バッテリー充電器 (A) の電源プラグを壁のコンセントから抜きます。

黒色クリップ (9a) をマイナス極 S(9) から外し、赤色 クリップ (8a) をプラス極 (8) から外します。



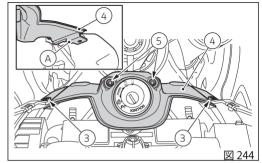


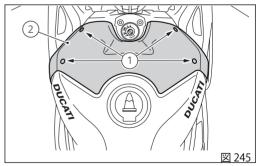
バッテリー固定用カバー (7) を取り付け、スクリュー (6) を締め付けます。



サイドフェアリングに接合する両側にある内側タブ(B) に注意して、イグニッションスイッチカバー(4)を前方に向かって取り付けます。

キーブロックカバー (4) を固定する側面 2 本のスクリュー (3) と上側 2 本のスクリュー (5) を締め付けます。タンクカバー (2) を配置し、4 本のスクリュー (1) を締め付けます。





長期間の保管

車両を長期間(例:連続30日間)使用していない場合は、バッテリーチャージャー/メンテナーをケーブルで診断ソケットに接続するようにしてください。詳しくは"冬季のバッテリー充電およびメンテナンス"を参照してください。

冬季のバッテリー充電およびメンテナンス

入警告

Superleggera V4のエレクトリカルシステムはエンジン停止状態での消費電力を非常に低く抑えるよう設計されています。ただし、バッテリーは自然に放電しており、放電量は使用していない期間や環境条件によって変化します。

バッテリー充電器/メンテナーを使用してバッテリー 電圧の最小値が維持されず電圧値が8Vを下回ると、 バッテリーが影響を受けるおそれがあります。

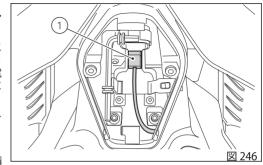
本車両の小物入れスペースにはコネクター (1) が装備されています。このコネクターには専用バッテリー充電器を接続することができます。

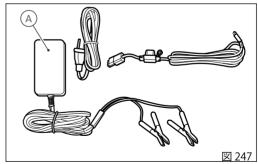
小物入れスペースにアクセスするには、"付属アクセサリー"の章をご覧ください。

警告

▲ バッテリーメンテナーとして使用する場合にも、 必ずドゥカティ純正リチウム電池用バッテリー充電器 (A) を使用してください。

バッテリーメンテナーキット(部品番号:69924601A(各国)またはバッテリーメンテナーキット(部品番号:69924601AX(日本、中国、オーストラリア)は鉛バッテリー専用ですので、絶対に使用しないでください。





▲ 重要

所定のリチウム電池用バッテリー充電器/メンテナーを使用してバッテリー電圧の最小値が維持されず電圧値が8Vを下回ると、バッテリーが損傷するおそれがあります。

〇 ^{参考}

■ 車両を長期間使用しない場合は(およそ30日以上)、ドゥカティ純正リチウム電池用バッテリー充電器をバッテリーメンテナーとして使用してください。メンテナーを車両後部にある診断ソケットに接続します。

〇 ^{参考}

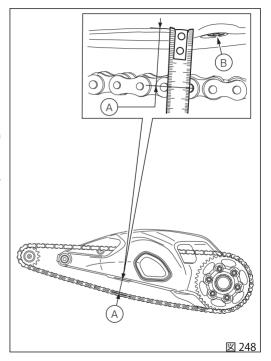
Ducati純正リチウム電池用バッテリー充電器以外のバッテリーメンテナーや充電器を使用すると、車両のエレクトリカルシステムやリチウムバッテリーに損傷を与えるおそれがあります。上記の理由でバッテリーが損傷した場合には、不適切なメンテナンスとみなし保証の対象にはなりません。

トランスミッションチェーン張力の点検

重要 チェーン張力の調整は、Ducati 正規ディーラー またはサービスセンターで実施してください。

リアホイールを回転させ、チェーンが最も張る位置を 探します。サイドスタンドで車両を支えて駐車しま す。チェーンの測定位置を指で下に押して放します。 チェーンピンの中心とチェーンスライダーのプラスチ ックとの間の距離 (A) を測定します。A = 28~30 mm

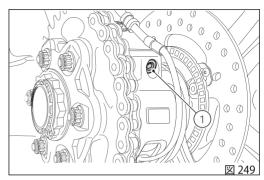
この手順は、納車時と同じ標準設定の車両に対 してのみ有効です。



★ 安全な走行状態を維持するには、スイングアー ムのスクリューを正しく締め付けることが重要です。

↑ 重要 チェーンの張りが不適切だとトランスミッショ ン部品の磨耗を早めます。

チェーンが常に最高レベルの性能を維持し、か つ長持ちするようにするため、チェーンの洗浄、チェ ック、張りに関する情報に従うことを推奨します。



チェーンの潤滑

全要 ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。

ドライブチェーンの清掃および潤滑

本車両には、泥などの侵入を防ぎ、潤滑状態を長く保 つのリングガスケット付きチェーンが装着されていま す。

チェーンの潤滑を行う前に、チェーンを正しく洗浄 し、清掃することが重要です。

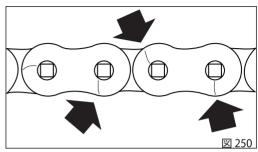
チェーンの清掃は、その寿命を伸ばすために非常に重 要なことです。従って、チェーン上に泥や土、砂、そ の他一般的な汚れが見られる場合は、それらの汚れを ウォータージェットで取り除き、その後すぐに 30cm (11.81 インチ) 以上離れたところから圧縮空気で乾燥 させてください。

▲ 警告

▲ 蒸気やガソリン、溶剤、硬いブラシやその他、O リングを傷つけるものは使用しないでください。さら にバッテリー電解液との接触を避けてください。図の ように、リンクに小さなひび割れができるおそれがあ ります。

人警告

特にバイクをオフロードで使用する場合は、チェーンガイドスライダーとの接触により、リンクが過度に摩耗することがあります。摩擦によりチェーンが過熱し、チェーンの熱処理が損なわれ、その結果特にリンクがもろくなるおそれがあります。



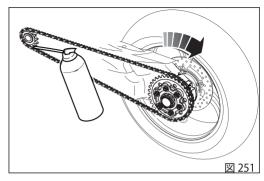
ドライブチェーンの潤滑

重要 ドライブチェーンの清掃は、Ducati 正規ディー ラーまたはサービスセンターで実施してください。

⚠ 潤滑には SHELL Advance Chain を使用してくだ さい。規定以外の潤滑剤を使用するとのリングや、そ れに伴ってトランスミッションシステム内部を損傷す ることがあります。

チェーンの潤滑は、新しい潤滑剤がリンク間の内外に 染み込み、保護作用がより効果的に発揮されるよう、 バイクの使用後、車両が冷えるのを待たずに行ってく ださい。

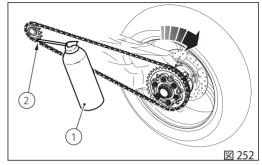
リアパドックスタンドに車両を駐車します。リアホイ ールを進行方向とは逆の方向に速く回転させてくださ い。

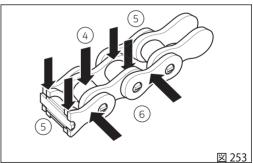


チェーン内部のリンクの内側と外側に、スプロケット とのかみ合わせの直前の箇所 (2) で、潤滑剤 (1) のジェットを噴射します。

遠心力によりスプレーの中身が液状になり、潤滑剤が ピンとブッシュの間の作動部分に行き渡り、完璧な潤 滑を保証します。

潤滑剤のジェットをチェーンの中央部(5) に配置して作業を繰り返し、図のようにニードルベアリング(4) および外側のプレート(6) を潤滑します。





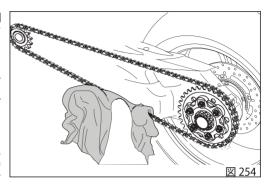
潤滑の終了後10~15分待ち、チェーンの内側と外側 表面に潤滑剤を行き渡らせ、その後余分な潤滑剤を布 でふき取ります。

▲ 重要

チェーンの潤滑後、すぐにバイクを使用しないでください。潤滑の直後は潤滑剤がまだ流れやすく、外側に向かって飛び散り、後輪やライダーフットペグを汚す可能性があります。

▲ 重要

チェーンのチェックを頻繁に行い、プログラムされた表に従って、少なくとも1000 km (621 マイル)毎に行ってください。外気温度が高い(40°C)土地での使用時、または長距離におよぶ高速道路での走行の後は、より頻繁(約400 km (248 マイル)毎)に潤滑を行ってください。

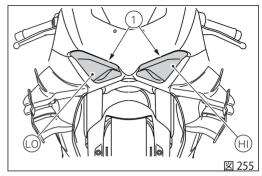


ハイビーム/ロービーム電球の交換

ヘッドライトユニットはフルLEDですので、メンテナンスの必要はありません。図ではハイビームランプ (HI)、ロービームランプ (LO)、パーキングランプ (1) の位置を示しています。ランプの交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

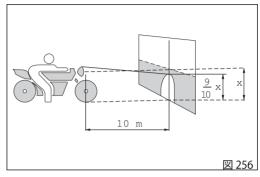
リアターンインジケーター

ターンインジケーターライトはLED 電球なのでメンテナンスの必要はありません。



ヘッドライトの光軸調整

正しいタイヤ空気圧に調整し、乗員1名がシートに乗った状態で、車両を壁面またはスクリーンの前10メートルの場所で縦軸に対して垂直に立て、ヘッドライトが正しい向きになっていることを確認します。壁にヘッドライトの中心と同じ高さで水平に線を引き、車体の縦軸に対応する垂直線も引きます。この点検は薄暗い場所で行ってください。ロービームランプを点灯し、左右の光軸調整を行います。照射領域の上限が、床面からヘッドライトの中心までの高さの9/10以下でなければなりません。



〇^{参考}

■ この方法は、光軸の高さに関するイタリアの規則に準拠したものです。車両を使用する国、地域の法律に従い光軸調整を行ってください。

ヘッドランプの光軸調整を行うには、車両前部、左右 に設けられたスクリュー(1)または(2)を回します。

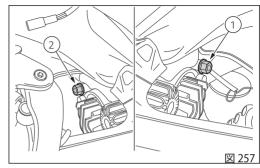
左側のスクリュー (1) でハイビームランプを調整します。

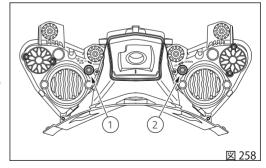
- 時計回りに回すと光軸が下がります。
- 反時計回りに回すと光軸が上がります。

右側のスクリュー (2) でロービームランプを調整します。

- 時計回りに回すと光軸が下がります。
- 反時計回りに回すと光軸が上がります。

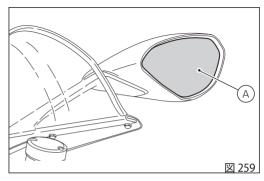
警告





リアビューミラーの調整

ポイント(A)を押しながらミラーを手動で調整します。



チューブレスタイヤ

公道走行(冷問時):

2.3 bar (33.36 PSI) (フロント) - 2.1 bar (30.46 PSI) (リア) サーキット走行(暖気時):

2.3 bar (33.36 PSI) (フロント) - 1.8 bar (26.10 PSI) (リア) タイヤの空気圧は外気温や高度によっても変化しま す。標高の高い場所や気温差のある場所を走行する時 は、その都度点検と調整を行ってください。

♣ タイヤの空気圧はタイヤ冷間時に測定してくだ さい。フロントリムがダメージを受けないように、悪 路を走行する時はタイヤの空気圧を 0.2~0.3 bar (2.90) ~4.35 PSI) 上げてください。

タイヤの修理、交換(チューブレス)

タイヤに穴が開いた場合、チューブレスタイヤは空気 の減り方が遅いため、気付くまでに時間がかかること があります。タイヤの空気圧が下がってきた場合は、 パンクの可能性をチェックします。

パンクしたタイヤは交換してください。交換す る際は、標準装備タイヤと同じメーカー、タイプを指 定してください。走行中のエア漏れを防ぐため、タイ ヤのバルブキャップがしっかり締まっていることを確 認してください。チューブタイプのタイヤは絶対に装 着しないでください。突然タイヤが破裂し、ライダー に重大な危険を及ぼすおそれがあります。

タイヤ交換の後には、必ずホイールバランスの点検を 行ってください。

↑ まイールのバランスウェイトを外したり、移動 させたりしないでください。

◇ ラタイヤの交換ではホイールを正しく着脱するこ とが重要です。タイヤ交換は、Ducati 正規ディーラー またはサービスセンターで実施してください。ホイー ルにはセンサー、フォニックホイールなどの ABS シス テム部品が装着されており、特別の調整が必要になり ます。

重要 タイヤをホイールリムに取り付ける作業は、必 ず標準的なタイヤチェンジャーを使用して実施してく ださい。

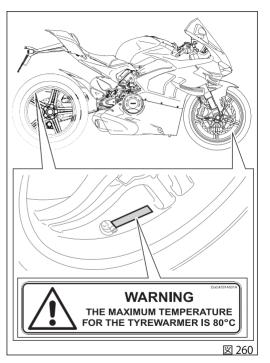
レバーや類似の工具はリムを損傷しますので使用しな いでください。

カーボンファイバー製リム装着タイヤへのタイヤウォ ーマー使用に関する注意事項

ヒーターおよびコントローラーが正常に動作すること を確認してください。

タイヤウォーマーを閉じた状態で使用しないでくださ い (タイヤ全体を覆う側面のカバー)。

♪ タイヤウィーマーの最高温度は80°C(176°F)

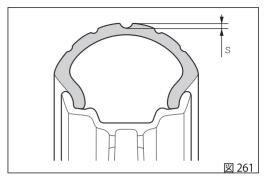


タイヤの摩耗限度

タイヤのトレッド面が一番摩耗している箇所(S)の溝の深さを測定します。溝の深さは2mm(0.08 in)以上でなければならず、また現地法で定めれた規定値以下であってはなりません。

▲ 重要

▼1 タイヤは定期的に点検し、特に側面に傷やヒビがないか、突起、広範囲のシミ、内部の損傷を表すような箇所がないかチェックしてください。損傷が著しい場合はタイヤを交換してください。トレッドの溝に入り込んだ石や異物は取り除いてください。

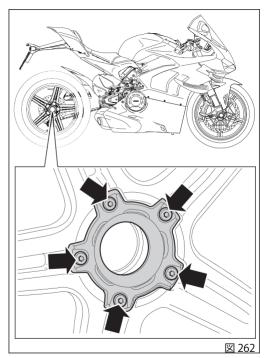


▲ 警告

ハブは必ず製造工場で取り付けられています。いかなる理由においても、リアホイールハブの取り外し、あるいは部品の交換を試みないでください。万一ハブの部品がひとつでも取り外された、破損した、あるいは改造された場合は、ホイールが正しく動作できなくなるだけでなく、すべての保証が直ちに無効になります。メンテナンス作業の実施は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターにで依頼ください。

人警告

■ 図中に示すスクリューは、いかなる理由においても絶対に取り外さないでください。



エンジンオイルレベルの点検

エンジンオイルの量は、エンジンブロック左側にある 点検窓 (1) から見ることができます。

オイル液面は、点検窓の横に指示された目盛の間になければなりません。オイル量が不足している場合は、エンジンオイルを補充してください。

ドゥカティ社推奨オイルは Shell Advance 4T Ultra 15W-50 です (JASO: MA2、API: SN)。

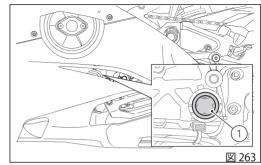
車両右側にあるフィラーキャップ (2) を外し、指定オイルを規定のレベルまで補充してください。フィラーキャップ (2) を取り付けます。

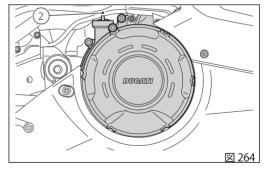
▲ 重要

保証書に記載されている定期点検表に従い、エンジンオイルとオイルフィルターの交換は、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで実施してください。

オイルレベルの正確な点検を実施するには、以下に記載する作業をよく読んで指示に従ってください。1) ヘッドに溜まったオイルがオイルパンに戻るには時間が必要です。そのため、オイルレベルの点検はエンジンを切ってから少なくとも 2 時間が経過した後に実施してください。

2) 平坦な場所に両方の車輪を地面に着け、直立に駐車します。





- 3) この時点で、エンジンオイル点検窓からオイルレベルを点検します。
- 4) オイルレベルが MIN と MAX 目盛りの中央より下で あれば、MAX 目盛りまでオイルを補充してください。



警告

MAX 目盛りは絶対に超えないようにしてくださ

い。

オイルに関する推奨事項

- 以下を満たすオイルの仕様が推奨されます。 - 粘度分類 SAE 15W-50
- API 規格:SN
- JASO 規格: MA2。

SAE 15W-50 は英数字のコード番号で、粘度を基にオイルの分類を特定し、Wで分けられた2つの数字であらわされます。最初の数字は低温でのオイルの粘度を表し、二番目の数字は高温での粘度を表します。API (米国での分類) および JASO (日本標準) は、オイルが有する特徴を表します。

車両の清掃

塗装部分と金属部分の本来の艶を長期間保つため、使 用状態や走行する道路の状態に合わせて、定期的に車 両の清掃、洗車を行ってください。洗車には専用製品 を使用し、できれば牛分解性のものを使用してくださ い。

プレキシガラス部分やシートのお手入れには、水と中 性洗剤を使用してください。

アルミニウム製部品は定期的に手作業で清掃してくだ さい。研磨剤や水酸化ナトリウムが含まれていないア ルミニウム専用洗剤を使用してください。

カーボンファイバー製部品は、湿らせた柔らかい布を 使用して清掃してください。それだけでは汚れが落ち ない場合には、研磨スポンジの使用は避けて、溶剤を 含まない適切な中性洗剤で清掃してください。 カーボンファイバー製ホイールリムの清掃には特に注 意し、ぬるま湯と中性洗剤を使用してください。

強力な洗剤やガソリン、溶剤、アセトン、その 他類似製品の使用は避けてください。

→ 研磨材付きスポンジやスチールウールは使用せ ず、柔らかい布のみを使用してください。

十分なメンテナンスが行われていない車両は保証の対 象になりません。

▲ 生女 走行直後のボディがまだ熱い状態にあるときは、 水染み等を防ぐため洗車は行わないでください。 洗車には温水ジェットや高圧洗浄機を使用しないでく ださい。

洗浄機の使用は、フォーク、ホイールハブ、電装シス テム、フォークガスケット、エアインテーク、エキゾ ーストサイレンサーの故障や不具合、ランプ内部の結 露(くもり)を引き起こし、結果として車両の安全性を 損ねるおそれがあります。

エンジンに著しい汚れや油脂汚れが見られる場合は、 脱脂剤を使用して洗浄してください。その際、トラン スミッション系統(チェーン、フロント/リアスプロケ ット等) に脱脂剤が付着しないように注意してくださ い。

車両をぬるま湯で良くすすぎ、表面全体をセーム革で 拭いて乾かします。

洗車後は、ブレーキ性能が低下することがあり ます。ブレーキディスクには絶対にグリースや潤滑剤 を塗布しないでください。ブレーキ性能が失われるお それがあります。ディスクは非油性の溶剤で清掃して ください。

| 洗浄、雨、湿気などにより、ヘッドランプレン ズにくもりが生じることがあります。レンズ内の結露 はランプを点灯すると短時間で消えます。

ABS システムが効率よく作動するように、フォニック ホイールを入念に清掃してください。フォニックホイ ール、センサー、ホイール等を傷めますので、強力な 洗剤や溶剤の使用は避けてください。

インストルメントパネルのクリアカバーにオイ ルや燃料が直接付着しないようにしてください。シミ や損傷の原因となり情報を読み取りにくくなるおそれ があります。この部分の清掃にはアルコール系洗剤、 溶剤や研磨剤入りの洗剤を使用しないでください。表 面の硬いザラついたスポンジや布はキズが付くおそれ がありますので使用しないでください。

[']ンストルメントパネルのクリアカバーは、や わらかい布を使用して水と中性洗剤、もしくはクリア プラスチック部品専用の洗剤で清掃してください。

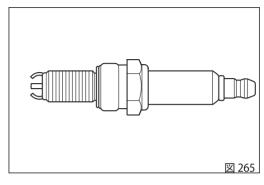
◇ 参考インストルメントパネルの清掃には、アルコー ルやアルコール由来の製品を使用しないでください。

ドライブチェーンの清掃や潤滑は、「ドライブチ エーンの潤滑」を参照してください。

スパークプラグの清掃と交換

スパークプラグはエンジンの重要な部品ですので、定期的な点検が必要です。

スパークプラグの交換は、Ducati正規ディーラーまた はサービスセンターで実施してください。



長期間の保管

車両を長期間使用しない場合は、保管する前に以下の 作業を行うようお薦めします。

- 車両を清掃します。
- 燃料タンクを空にします。
- 車両をスタンドに立てかけて停車します。
- 接続を切り離し、バッテリーを取り外します。バッテリーメンテナーで定期的に充電してください ("バッテリーの充電" 参照)。
- 結露を防止し塗装を保護するため、車体はカバーで覆います。車体カバーは Ducati Performance にて取り扱っております。

重要注意事項

国によっては (フランス、ドイツ、イギリス、ヨーロッパ、スイス等) 排気ガス、騒音規制の基準を設けている場合があります。

法律で義務付けられている定期点検を実施し、交換が必要な部品については各国の規制に適合する Ducati 純正パーツと交換してください。

車載されている様々な電子コンポーネントには、車両の状態、イベント、故障に関する技術情報を一時的または永続的に保存するデータメモリがあります。 通常、これらの情報は、ひとつのコンポーネント、モジュール、システム、または環境の状態を記録しています。

- システムコンポーネントの動作状態(例:排出ガス 制御システム)
- 2) 車両と個別コンポーネントの状態のメッセージ (例:車輪回転速度、エンジン回転数、挿入ギアな ど)
- 3) システムの重要コンポーネントの不具合と故障 (例: ライト、ブレーキなど)
- 4) 特定の運転状況での車両レスポンス (例: トラクションコントロールシステムなど)
- 5) 環境条件(例:気温など)

これらのデータは技術的な性質のものであり、故障を 特定・修正して、車両の機能を最適化するために使用 されます。修理、メンテナンス作業、保証対象作業、品質保証などのサービスを実施する際、アシスタンスネットワーク(製造メーカーを含む)のスタッフは、特別な診断ツールを使用して、イベントや故障データメモリからこれらの技術情報を読み取ることができます。故障が解消されれば、故障メモリの情報を徐々に消去または上書きすることができます。

車両データは、お客様から要請されたサービスや契約に基づいて車両に実施されるサービスの際に収集されます。これらのサービス環境において、お客様の個人情報は、サポートの効率を高めるというDucatiの正当な利益に基づき、また最終的な法的義務(例:修理・メンテナンスに関する情報義務)を果たすために、現行の個人データ保護規則に従って取り扱われます。必要に応じて、個人データの読み取りが行われ、車両識別番号と併せて使用されます。

当社のコントロールユニットが位置情報データを収集 することはありません。

メンテナンスプログラム

メンテナンスプログラム: ディーラーでおこなうメンテナンス

入 警告

このメンテナンスプログラムは Superleggera の公道での使用を想定しています。サーキットで使用する場合、競技でなくても車両のすべてのシステムに多大な負荷がかかりますので、定期点検をより頻繁におこなう必要があります。

Superleggera を競技で使用するためのパーソナルアドバイスをお受けになられたい場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

カーボンファイバー製の構造部品 (フレーム、リアサブフレーム、フォーク、ホイールリム) に損傷が見られる場合は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターで損傷程度の評価を受けてください。

A 警告

■■ 転倒してもカーボン部品は変形しませんが、内部構造に損傷を受けている場合があります。こうした損傷は裸眼では確認できないため、Ducati正規ディーラーまたはサービスセンターで損傷程度の評価を受けてください。

定期サ	ービ	ス*	₩	
DESMO 走行距離サービ	`ス*	→	_	
OIL 走行距離サービス*	احظة			
1000 走行距離サービス*				
DDS 2.0 による不具合メモリーの読み取り、DSC から技術アップデートとリコールキャンペーンの有無の確認	•			12
エンジンオイルおよびフィルターの交換	•	•		12
エアフィルターの点検と清掃		•		12
エアフィルターの交換			•	
バルブクリアランスの点検または調整、アルミスクリューの交換			•	
セカンダリーエアリードバルブの点検			•	
スパークプラグの交換			•	
クーラントの交換			•	48
DDS 2.0 による可変長エアインテークファンネル (VIS) のリセット			•	
フロントフォークオイルの交換				36
フロントフォーク、リアショックアブソーバーのシーリング部品の目視点検	•	•		12
クラッチプレートパックの厚み点検と交換		•	•	
クラッチハウジングの点検			•	
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検	•	•		12

定期サ	—Ľ	`ス*	曲	
DESMO 走行距離サービ	`ス*	→		
OIL 走行距離サービス*	احتة			
1000 走行距離サービス*				
ブレーキ/クラッチフルードの交換				24
フロント/リアブレーキパッドおよびディスクの摩耗点検				12
ステアリングヘッド、ボトムヨーク、フォークボトムのスクリュー締め付け点検				12
フロント/リアブレーキキャリパースクリュー、フロントブレーキディスクスクリューの締め付け点検		•		12
フロント、リアホイールナットの締め付け、リアスプロケットナットの締め付け点検		•		12
エンジン、スイングアーム、リアショックアブソーバーへのフレーム固定の締め付け点検		•		12
スイングアームとスイングアームシャフトサポートスクリューの締め付け点検				12
ホイールハブベアリングの点検				12
リアスプロケットのクッシュドライブダンパー点検、リアホイールシャフトの潤滑			•	
ファイナルドライブチェーン、チェーンスライダー、リアスプロケット、フロントスプロケットの摩耗点検 ファイナルドライブチェーンの張力、潤滑、伸びの点検				
警告 ファイナルドライブチェーンキットは、走行距離 20,000km/3,000mi を超える前に交換してください。	•	•		12

定期サービス*			₩	
DESMO 走行距離サービ	`ス*	→		
OIL 走行距離サービス*	4			
1000 走行距離サービス*				
ステアリングチューブベアリングの遊び点検		•		12
サイドスタンドの作動、締め付け点検	•	•		12
目視できるすべてのカバーやフレキシブルホース (燃料供給、ブレーキ、クラッチ、冷却システムのフレキシブルホース、ブリーザーホース、ドレンホースなど) に亀裂や漏れなどがなく、正しく取り回されていることを点検する	•	•		12
リアブレーキペダルの遊び点検、ハンドルレバーおよびペダルコマンドの潤滑	•	•		12
カーボン製ホイールリムの目視点検	•	•		12
タイヤ空気圧、磨耗点検	•	•		12
電気安全装置の作動点検 (サンドスタンドとクラッチセンサー、フロント/リアブレーキスイッチ、エンジン停止スイッチ、ギア/ニュートラルセンサー)	•	•		12
ランプ類、ターンインジケーター、警告ホーン、コマンド類の動作点検	•	•		12
DDS 2.0 を介した可変長エアインテークファンネル (VIS - Variable Intake System) のリセット			•	
エキゾーストバルブオープニングボーデンケーブルの DDS 2.0 による調整	•	•		12
安全装置 (ABS、DTC など)、エレクトリックファン、アイドリングの機能点検を兼ねた路上での走行テスト	•	•	•	12

定期サ	ービ	ス*	曲	
DESMO 走行距離サービス* 🦟				
OIL 走行距離サービス* 🖦				
1000 走行距離サービス*				
クーラントレベルの目視点検、回路の密閉状態の点検	•	•	•	12
車両のソフトクリーニング、DDS 2.0 による定期点検の登録とインストルメントパネルのサービス警告灯のリセット、定期点検実施の車載書類 (サービスブック) への記入	•	•	•	12

^{* 1000} 走行距離サービスは、慣らし運転 1,000 km/600 mi 終了後に実施します。

^{*} OIL 走行距離サービスは、 ❤️ 12,000 km/7,500 mi ごとに実施します。

^{*} DESMO 走行距離サービスは、 **→** 24,000 km/15,000 mi ごとに実施します。

^{*} 定期サービスは、 曲 12 カ月ごとに実施します。

メンテナンスプログラム: お客様がおこなうメンテナンス

▲ 重要

▲ ぬかるみや乾燥したほこりっぽい環境など過酷な状況でモーターサイクルを使用すると、トランスミッション、ブレーキシステム、エアフィルター等の部品の摩耗を早める可能性があります。エアフィルターが汚れていると、エンジンが損傷するおそれがあります。そのため規定されている定期点検の間隔より早く、定期点検や摩耗しやすい部品の交換が必要な場合があります。

Km x1000	0.5
メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *) マイル x1000	0.3
月	6
エンジンオイルレベルの点検	•

	Km x1000	1
メンテナンス項目/作業内容 (km/mile 毎、または経過時間 *)	マイル x1000	0.6
	月	6
ブレーキ / クラッチフルードレベルの点検		•
タイヤ空気圧、磨耗点検		•
チェーン張力の点検と潤滑		•
ブレーキパッドの点検必要であれば、ディーラーにて交換してください。		•

^{*} 走行距離 (km、mi) または経過時間(月)のうち、どちらか先に到達した時点で点検を実施してください。

テクニカル仕様

重量

車両重量 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 - 93/93/CE ガイドラインに準拠): 180 kg (396.83 lb) 車両重量、レーシングキット装着 (燃料 90% を含むすべての液体類を装備 - 93/93/CE ガイドラインに準拠): 173.2 kg (381.84 lb)

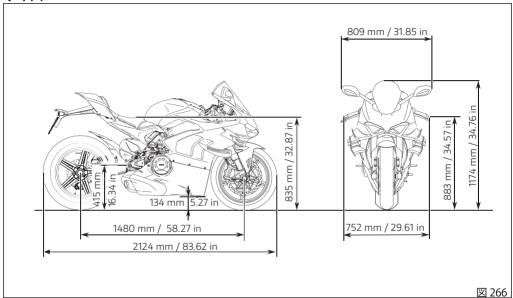
車両重量 (液体類およびバッテリーを除く): 159 kg (350.53 lb)

車両重量、レーシングキット装着 (液体類およびバッテリーを除く): 152.2 kg (335.54 lb) 車両総重量 (最大負荷): 320 kg (705.48 lb)

| 警告

▼・・・ 重量制限を遵守しない場合、操縦性と性能の低下を招き、車両のコントロールを失う原因となります。

サイズ



補給

補給	タイプ	
燃料タンク、リザーブ 4.5 リットル (0.99 UK ガロン) を含む	オクタン価が 95 以上の無鉛ガソリン SHELL V-Power を使用してください。	. 16 リットル (3.52 UK ガロン)
エンジンクランクケースおよびフィルター	ドゥカティ社推奨オイルは SHELL Advance 4T Ultra 15W-50 (JASO: MA2、API:SN) です。	3.8 リットル (0.83 UK ガロン)
フロント/リアブレーキシステム、クラッチ	DOT 4	_
電極保護液	電気系統の保護スプレー	-
フロントフォーク	SHELL Donax TA	140 mm (5.51 in) 454±4 cm ³ (27.7±0.24 cuin)
冷却システム	不凍液 ENI Agip Permanent Spezial (薄めずに使用)	2.05 リットル (0.45 UK ガロン)

重要燃料、潤滑液等には絶対に添加剤を加えないでください。このような燃料を使用すると、エンジンや車両

警告 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエン ジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10% 以上のガソリンを使用した 場合は保証の対象外になります。

エンジン

デスモセディチ・ストラダーレ:90°、V型4気筒、 逆回転クランクシャフト、シリンダーごと4バルブの デスモドロミックタイミングシステム、水冷式。

ボア:81 mm (3.19 in)

ストローク: 48.4 mm (1.91 in)

総排気量:998 cm³ (60.6 cuin)

圧縮比: 14.0 ± 0.5:1

クランクシャフト最高出力、規制 (EU) No. 134/2014

添付 X、kW /HP:

(基準適合 / EU バージョン)

165 kW/224 HP / 15250 rpm

(基準適合/フルレーシングエキゾースト装着の EU バ

ージョン)

174 kW/234 HP / 15500 rpm

クランクシャフト最大トルク、規制(EU) No. 134/2014 添付 X:

(基準適合 / EU バージョン)

116 Nm / 11.8 kgm / 11750 rpm

(基準適合/フルレーシングエキゾースト装着の EU バ ージョン

119 Nm / 12.0 kgm / 11750 rpm

最高回転数、rpm: 16,000 rpm / 16,500 rpm (6 速ギ ア)

参考 エンジンがアイドリング中でスロットルグリッ - *** 「CUL+リアバンクの2本 プが完全に戻っている時に、ECUはリアバンクの2本 のシリンダーを停止します。この停止は、特にエンジ ン温度、ギア位置、クラッチレバー(ギアがニュート ラル以外に入っている場合はクラッチを切っている必 要がある)の状態に応じ、一定の条件を満たした場合 にのみ実行されます。このストラテジーはライダーの サーマルコンフォートと燃費の点で有利に働きます。

ま行中いかなる状況においても、決して最高回 転数を超えてはいけません。

記載されている出力/トルクデータは、基準適合 規則に従って静的テストベンチを使用して測定された もので、認証時に測定され車両登録証に記載されてい るデータと同じになります。

潤滑システム

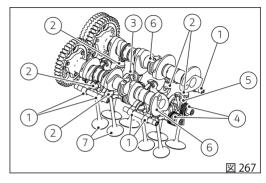
バイパスバルブ内蔵トロコイド式オイルデリバリーポ ンプと2つのトロコイド式回収オイルポンプ。 オイルクーラー。

タイミングシステム

シリンダーごとに 4 バルブのデスモドロミックタイミ ングシステム

デスモドロミックタイミングシステム

- 1) オープニング (アッパー) ロッカーアーム
- 2) オープニングロッカーシム
- 3) クロージング (ロア) ロッカーシム
- 4) ロッカーアームリターンスプリング
- 5) クロージング (ロア) ロッカーアーム
- 6) カムシャフト
- 7) バルブ



性能データ

各ギアにおける最高速度は、決められた慣らし期間を 正しく守り、適切な定期点検整備を受けた場合にのみ 出すことができるようになります。

人 重要

これらの条件が守られなかった結果としてのエンジンの損傷や寿命の短縮について、Ducatiモーターホールディング社は一切責任を負うものではありません。

スパークプラグ

メーカー:NGK タイプ:LMDR10A-JS

燃料供給

電子制御式燃料噴射装置、誘導放電式、可変長ダクト によるエアインテークシステム

スロットルボディ:フルライドバイワイヤシステムと エアロダイナミックスロットルバルブ搭載楕円型(相 当径):

56 mm (2.2 in)。

可変長ダクトによるエアインテークシステム シリンダーごとのインジェクター数:2 ガソリン燃料:95-98 RON

▲ 警告

2.1 この車両にはエタノール含量が 10% 以下の燃料 (E10) のみ使用することができます。

エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用することは禁じられています。こうした燃料を使用するとエンジンや車両の部品に重大な損傷をきたす恐れがあります。エタノール含量が 10%以上のガソリンを使用した場合は保証の対象外になります。

ブレーキ

各ブレーキのアンチロックシステムは、両タイヤに装備されたホール効果センサーで制御されます。ABSの解除が可能です。

フロント

穴付きセミフローティングダブルディスクブレーキシュー材質:ステンレススチールハウジング材質:アルミニウムとアルミニウム合金ディスク径:330 mm (12.99 in)。ブレーキディスク厚:5 mm (0.2 in)。ブレーキディスク厚 (摩耗限界):4.5 mm (0.18 in)。ディスクブレーキ面積:264 cm² (40.92 in²)右側ハンドルレバーによる油圧コントロールマスターシリンダーレバー間隔調整:19-20-21 mm (0.75-0.79-0.83 in)

ブレーキキャリパーメーカー:BREMBO

タイプ:Stylema (R) R モノブロックラジアルマウント (コーナリング ABS FVO)

キャリパーのピストン数:4 ブレーキパッド材質:BRM10H

ポンプシリンダー径:16 mm (0.63 in)。

ポンプタイプ: MCS PR16/19-21 リモートアジャスタ ーによる問隔調整機構

リア

穴あき固定ディスク、スチール製

ディスク径: 245 mm (9.6 in)。

ブレーキディスク厚:5 mm (0.2 in)。

ブレーキディスク厚 (摩耗限界): 4.5 mm (0.18 in)。

ディスクブレーキ面積: 219 cm² (33.95²)。 車体右側ペダルによる油圧コントロール

キャリパーメーカー: BREMBO

タイプ:P34e (Bosch コーナリング ABS EVO)

キャリパーのピストン数:2 ピストン径:34 mm (1.34 in)。 コーナリング ABS 標準装備

ブレーキパッド材質: Toshiba TT2172

ポンプタイプ: PS 13

ブレーキキャリパーポンプ径:13 mm (0.51 in)。

ブレーキフルードは腐食性があります。 万一目に入ったり肌に触れたりした場合は、流水でし っかりと洗い流してください。

トランスミッション

スリッパークラッチ機構付き油圧制御乾式クラッチ、 左側ハンドルのアジャスタブルレバーによる操作。 エンジンとギアボックスメインシャフト間の駆動伝 達。

一次減速比:180·1

一次減速比:フロントスプロケット/リアスプロケッ

ト比 30/54

6 速ギア、ドゥカティクイックシフト (DOS) UP/

DOWN EVO2、車体左側ペダルによる操作

ギアスプロケット/リアスプロケット比: 15/42

変速比: 1 谏 38/14

2 谏 36/17 3 谏 33/19

4 谏 32/21

5 谏 30/22

6 谏 30/24

チェーンによるギアボックスとリアホイール間の駆動

伝達

メーカー: REGINA 520 ORAW2

リンク数:116

▲ 重要

上記のギア比は認可時の値ですので、いかなる ことがあっても変更してはいけません。

この車両を競技用に仕様変更を望まれるお客様に、 Ducati モーターホールディング社から特別なギア比に 関する情報を提供することが可能です。 Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせくだ さい。

★ 警告

リアスプロケットの交換は、Ducati 正規ディーラーまたはサービスセンターにお問い合わせください。

この部品の誤った交換は、ライダーの安全に深刻な危険をもたらし、車両に修復不能な損傷を与えるおそれがあります。

フレーム

フルカーボンファイバー製シャーシ キャスター角:24.5° ステアリングアングル:左側 25°/右側 25° トレール: 100 mm (3.94 in)。

ホイール

フロント

5本スプリットスポーク、カーボン製

寸法:MT3.50x17"

リア

5本スプリットスポーク、カーボン製

寸法:MT6.00x17"

タイヤ

フロント

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Supercorsa SP

寸法: 120/70 ZR17 M/C (58W) V3

リア

チューブレスラジアルタイヤ Pirelli Diablo Supercorsa SP

寸法: 200/60 ZR17 M/C (80W) V3

サスペンション

フロント

ÖHLINS 製 NPX 25/30 加圧式、TiN コーティング、43 mm (1.69 in) フルアジャスタブル倒立フォーク、ビレットアルミニウム製フォークボトム。

ホイールトラベル: 120 mm (4.72 in)_o

リア

ÖHLINS 製TTX36 フルアジャスタブルショックアブソ ーバー、チタン製 GP バルブおよびスプリング搭載 カーボン製片持ち式スイングアーム ストローク:65 mm (2.56 in)。 ホイールトラベル: 130 mm (5.12 in)_o

ステアリングダンパー ÖHLINS 製ステアリングダンパー

エキゾーストシステム

"4-2-1-2" レイアウト: 4 in 2 in 1 in 2 構造のエキゾー ストシステム ラムダセンサー2個、触媒コンバーター2個 排気ガス規制と燃費規制:規制 Euro 4/燃費 Euro 4

カラーバリエーション



┛カーボン部品の表面に色の変化が見られる場合 がありますが、これは素材の劣化を示すものではあり ません。

ヘッドライトフェアリングとテールガードのカラー構 成

パウダークリアー: Tiger 250/00113 ホワイトプライマー: Palinal 873AC001

ベース トリコロールホワイト: Palinal 929D 398

ベース GP19 レッド: PPG 0084 グロッシークリアー: Lechler 96230

マットクリアー:96598

フューエルタンクカバーのカラー構成

パウダークリアー: Tiger 250/00113 ホワイトプライマー: Palinal 873AC001

ベース トリコロールホワイト: Palinal 929D 398

ベース GP19 レッド: PPG 0084 グロッシークリアー: Lechler 96230

ロアフェアリングとアッパーフェアリングのカラー構 成

パウダークリアー: Tiger 250/00113 ホワイトプライマー: Palinal 873AC001 ベース トリコロールホワイト: Palinal 929D.398

ベース GP19 レッド: PPG 0084

ベース GP19 ダークレッド: Palinal 929.VX423

グロッシークリアー: Lechler 96230

マットクリアー:96598

エレクトリカルシステム

主要構成部品は以下の通りです。

ヘッドライト

LED Luxeon Altilon 1 個 + LED Luxeon F Plus (ロービーム) 2 個

LED Luxeon Altilon (ハイビーム) 1個

LED Luxeon F ES (LED パーキングライト / DRL) 4個

ハンドル上スイッチ

LED フロントターンインジケータータイプ:

LED OSRAM LYE65F 15 個

LED リアターンインジケーター (ヨーロッパバージョン) タイプ:

LED PHILIPS LXM2-PL01 1個

リアターンインジケーター電球 (USA バージョン) タイ プ:

RY10W (12V-10W) オレンジ色 1個

テールライト

テールライト:

LED OSRAM LAA67F 18 個

LED ストップランプタイプ:

LED OSRAM LAE6SF 18 個

LED ナンバープレートランプタイプ:

LED CREE CLA1A-WKW 3個

警告ホーン

ストップランプスイッチ リチウムイオンバッテリー: 12.8V - 4Ah (LiFePO4 バッテリー) ジェネーター:

14V - 425W

電子レギュレーターは、バッテリー横のスターターコンタクター上に設けられた30Aヒューズで保護されています。

スターターモーター:

Denzo BA06 12V - 0.6kW インストルメントパネル/ダッシュボード:5 カラー TFT ディスプレイを備えるデジタル式

○ 参考

■ 電球の交換は、"ハイ/ロービーム電球の交換"を 参照してください。

ヒューズ

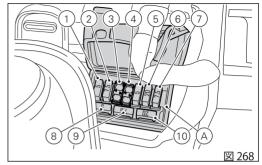
電装品の保護ヒューズはフロントヒューズボックス内に12個、スターターコンタクター上に1個あります。各ヒューズボックス内には予備ヒューズが1個あります。

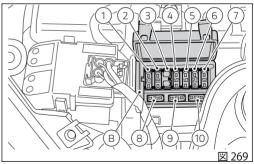
ヒューズが保護する装置、アンペア値については表を 参照してください。

左フロントヒューズボックス (A、および右フロントヒューズボックス (B、は、バッテリー上に配置されています。

ヒューズの作業を行うには、"バッテリーの充電"の記載に従いタンクカバーを取り外します。

ヒューズを交換するには、ヒューズボックスの保護力 バーを持ち上げます。保護カバーには各ヒューズの配 置と定格が表記されています。





Ž	左ヒューズボックス凡例 (A)				
配置	保護装置	容量			
1	EMS / ABS / IMU	5 A			
2	DASH / BBS / SMEC	7.5 A			
3	_	_			
4		_			
5	アクセサリー (SW)	5 A			
6	インジェクションリレ	20 A			
	_				
7	診断 / 充電	7.5 A			
8	スペア	5 A			
9	スペア	7.5 A			
10	スペア	20 A			

\dashv	6	ABS 1
-	7	ABS 2
-	8	スペア
	9	スペア スペア スペア
	10	スペア
_		
\neg		

4

5

右ヒューズボックス凡例 (B) インストルメントパネ

Black Box システム

(BBS)

15 A

15 A

25 A

10 A

10 A

15 A

25 A

10	スペア	20 A
4	ちヒューズボックス凡(列 (B)
配置	保護装置	容量
1	EMS 負荷リレー	25 A
2	燃料ポンプリレー	10 A
3	_	-

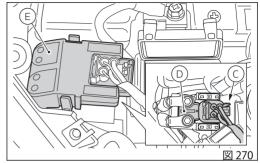
メインヒューズ (C) はヒューズボックス (B、右側、スターターコンタクター (D) 上に設置されています。ヒューズで作業を行うには、タンクカバー ("バッテリーの充電" の記載に従いタンクカバーを取り外します)と保護キャップ (E) を取り外す必要があります。切れたヒューズは、インナーフィラメント (F) が溶断しているかどうかで確認することができます。

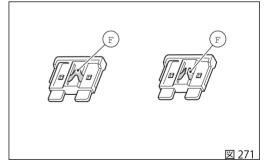
▲ 重要

● 回路のショートを防止するために、ヒューズ交換の前にイグニッションキーを OFF にしてください。

警告

基 表示されている規定以外のヒューズは決して使用しないでください。上記事項を守らなかった場合、エレクトリカルシステムの損傷や火災を引き起こすおそれがあります。





定期点検メモ

定期点検メモ

キロ	マイル	ドゥカティサービス名	走行距離	日付
1,000	600			
12,000	7,500			,
24,000	15,000			,
36,000	22,500			,
48,000	30,000			,
60,000	37,500			





Ducati Motor Holding spa

Via Cavalieri Ducati, 3 40132 Bologna, Italy Ph. +39 051 6413111 Fax +39 051 406580 A Sole Shareholder Company A Company subject to the Management and Coordination activities of AUDI AG